

粕屋町
第5次総合計画策定に係る
アンケート調査結果報告書

〈住民アンケート調査〉

平成27年2月

粕屋町

目 次

I	調査の概要	1
1.	調査の目的	2
2.	調査概要	2
3.	報告書の見方	2
II	調査結果	3
1.	回答者や回答者の家のことについて	4
2.	粕屋町の住みやすさについて	17
3.	粕屋町の誇りやイメージについて	40
4.	今後のまちづくりの重点課題について	49
5.	協働のまちづくりについて	60
6.	回答者の幸福感について	82

I 調査の概要

1. 調査の目的

この調査は、「粕屋町第5次総合計画」の策定にあたり、住民の状況や意見を把握し、粕屋町における、よりよいまちづくりの実施に向けた参考資料とすることを目的に実施したものです。

2. 調査概要

- ・調査地域 : 粕屋町全域
- ・調査対象者 : 粕屋町在住の20歳以上の方3,000名を無作為抽出
- ・調査期間 : 平成26年8月下旬～9月中旬
- ・調査方法 : 郵送による配布・回収

配布数 (A)	回収数	有効回収数 (B)	有効回収率 (B/A)
3,000	1,246	1,241	41.4%

3. 報告書の見方

- 回答結果の割合「%」は有効サンプル数に対して、選択肢ごとの回答数の割合を小数点以下第2位で四捨五入したものです。このため、単数回答（複数の選択肢から1つの選択肢を選ぶ方式）であっても合計値が100.0%にならない場合があります。
- 複数回答（複数の選択肢から2つ以上の選択肢を選ぶ方式）の設問の場合、回答は選択肢ごとの有効回答数に対するそれぞれの割合を示しています。そのため、合計が100.0%を超える場合があります。
- 図表中の「不明・無回答」とは、回答が示されていない、または回答の判別が困難なものです。
- 図表中の「N」（サンプル数）は、有効標本数（集計対象者総数）、あるいは分類別の該当対象者数を示しています。
- 本文中の設問の選択肢について、文字数が多いものは簡略化している場合があります。
- その他回答について、個人が特定される可能性のある場合など、必要に応じて若干の加筆・修正をしている場合があります。

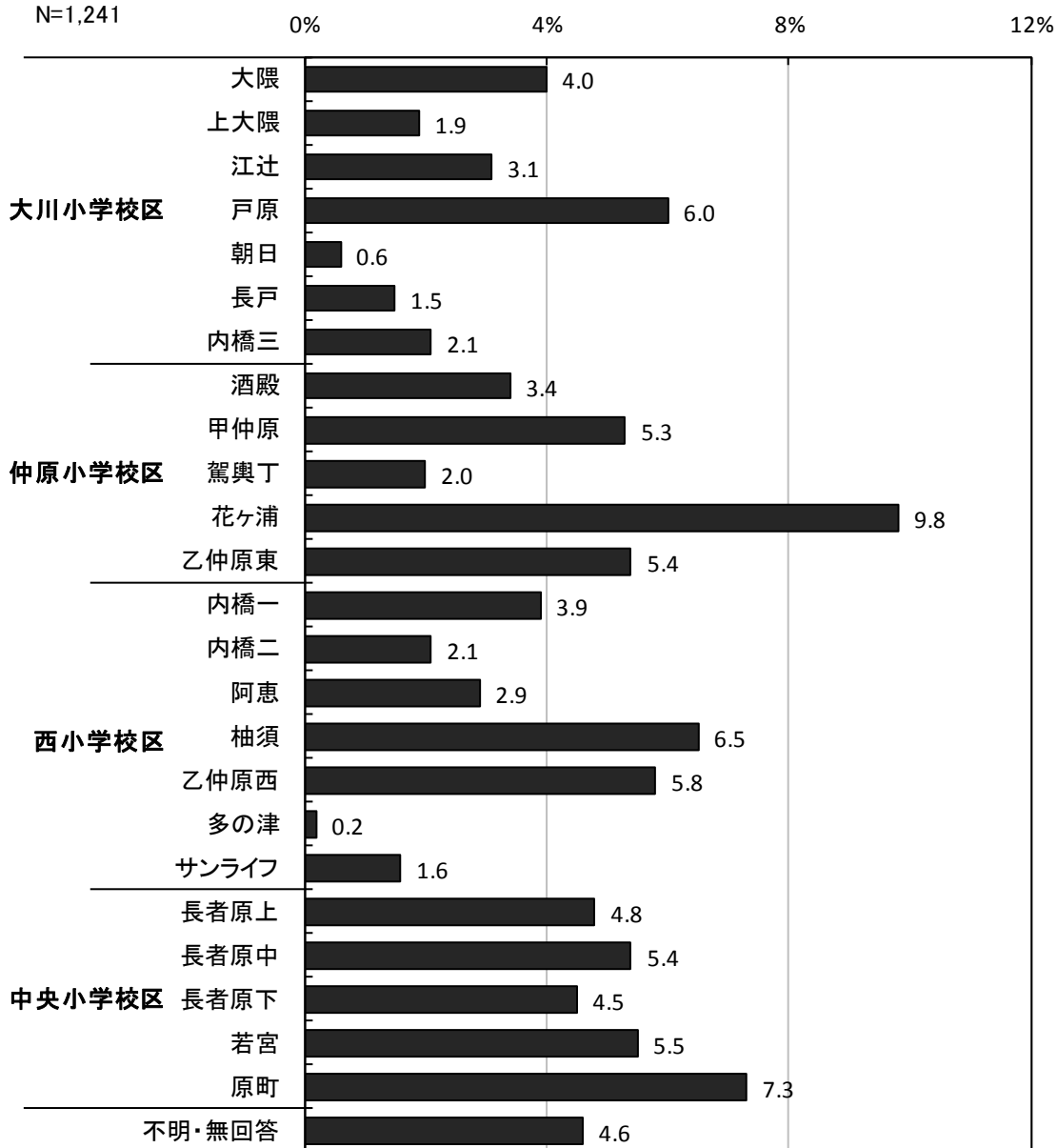
III 調査結果

1. 回答者や回答者の家のことについて

問1 あなたはどの地区にお住まいですか。(1つに〇)

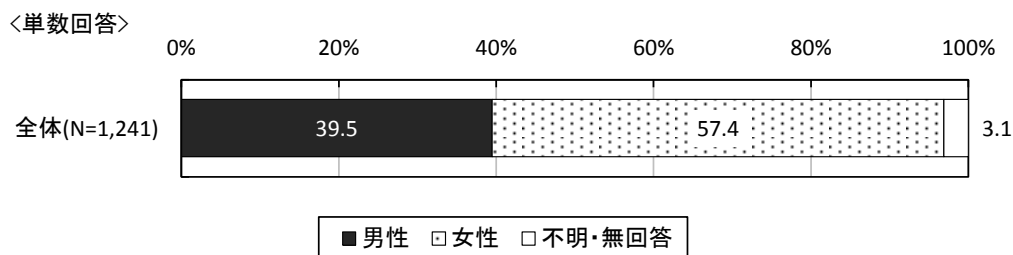
<単数回答>

N=1,241



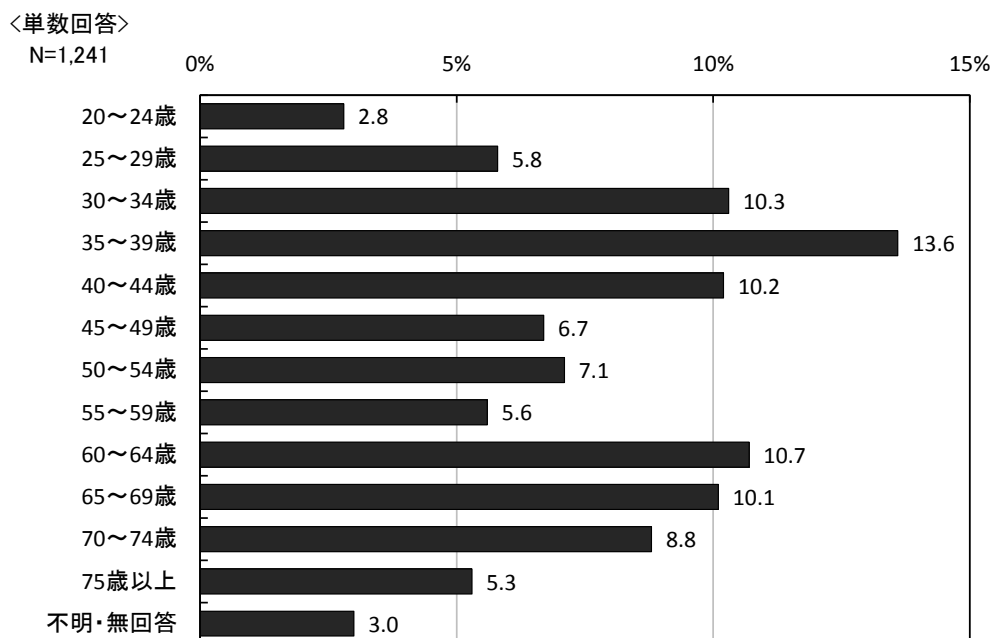
居住地区についてみると、以上の通りとなっています。

問2 あなたの性別をお答えください。(いずれかに○)



性別についてみると、「女性」が57.4%、「男性」が39.5%となっています。

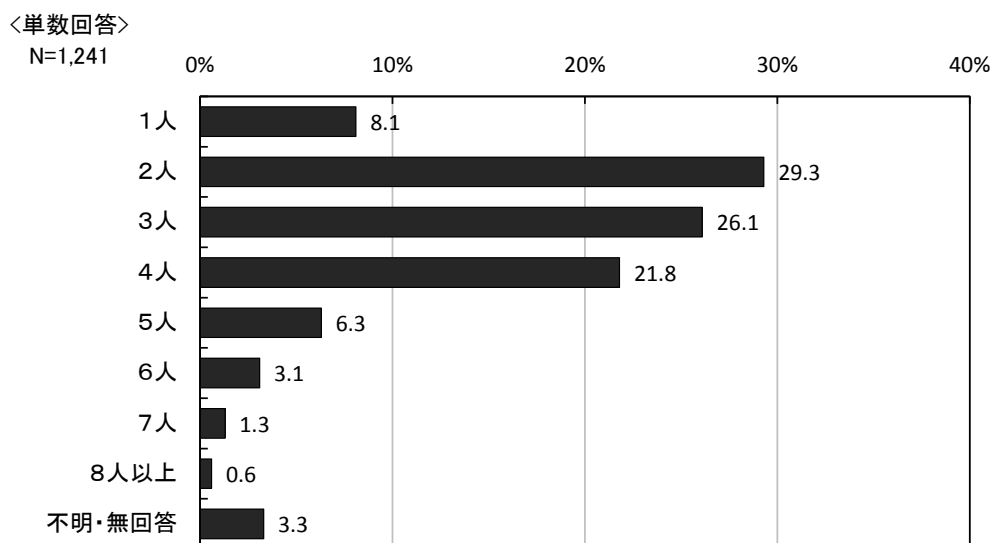
問3 あなたの年齢をお答えください。(1つに○)



年齢についてみると、「35～39歳」が13.6%、「60～64歳」が10.7%、「30～34歳」が10.3%となっています。

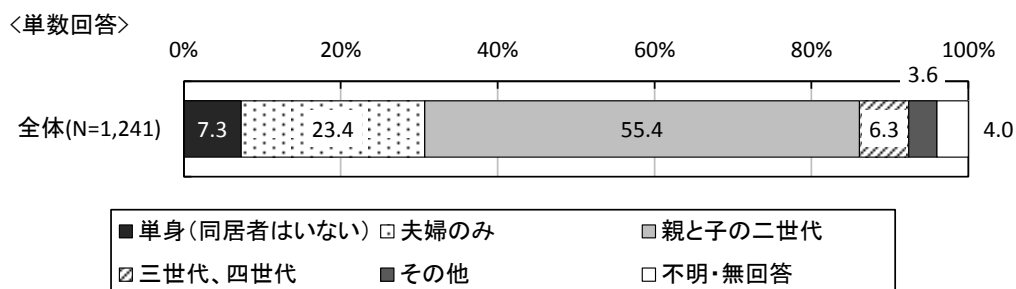
1. 回答者や回答者の家のことについて

問4 現在一緒にお住まいの家族人数を、あなたも含めた人数でお答えください。
(1つに○)

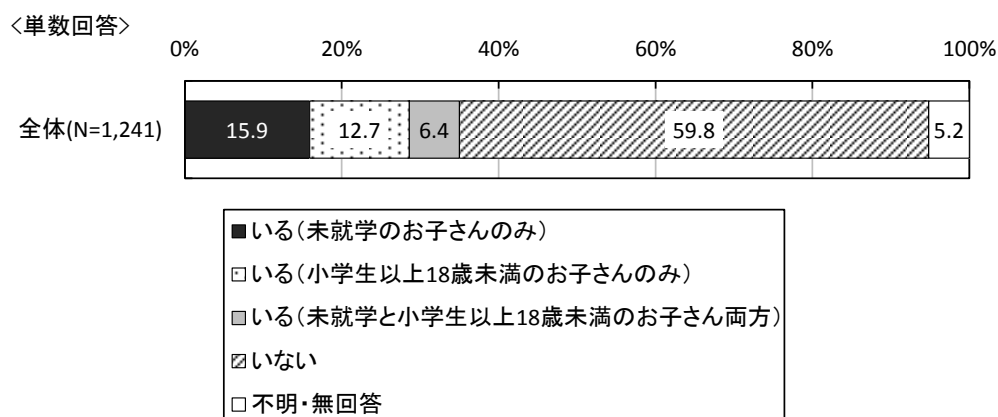


同居している家族の人数についてみると、「2人」が29.3%と最も高く、次いで、「3人」が26.1%、「4人」が21.8%となっています。

問5 現在一緒にお住まいの家族構成をお答えください。(1つに○)

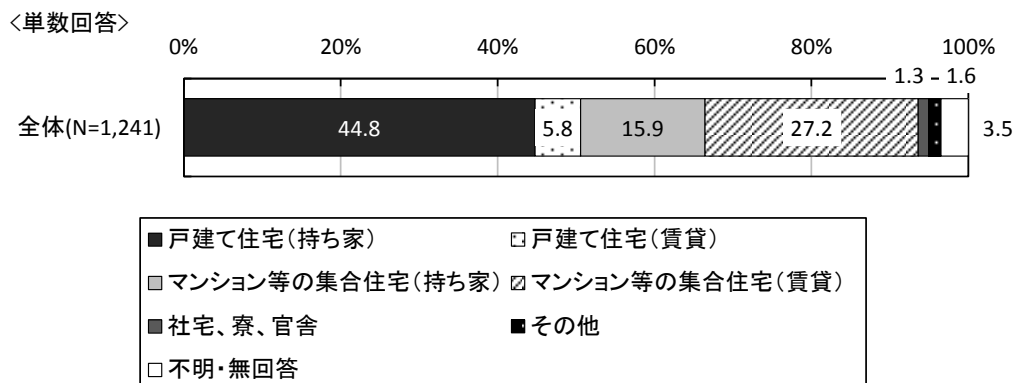


家族構成についてみると、「親と子の二世帯」が55.4%と最も高く、次いで、「夫婦のみ」が23.4%、「単身(同居者はいない)」が7.3%となっています。

問6 現在一緒にお住まいの家族のなかに、「未就学」又は「小学生以上18歳未満」のお子さんがいますか。(1つに○)

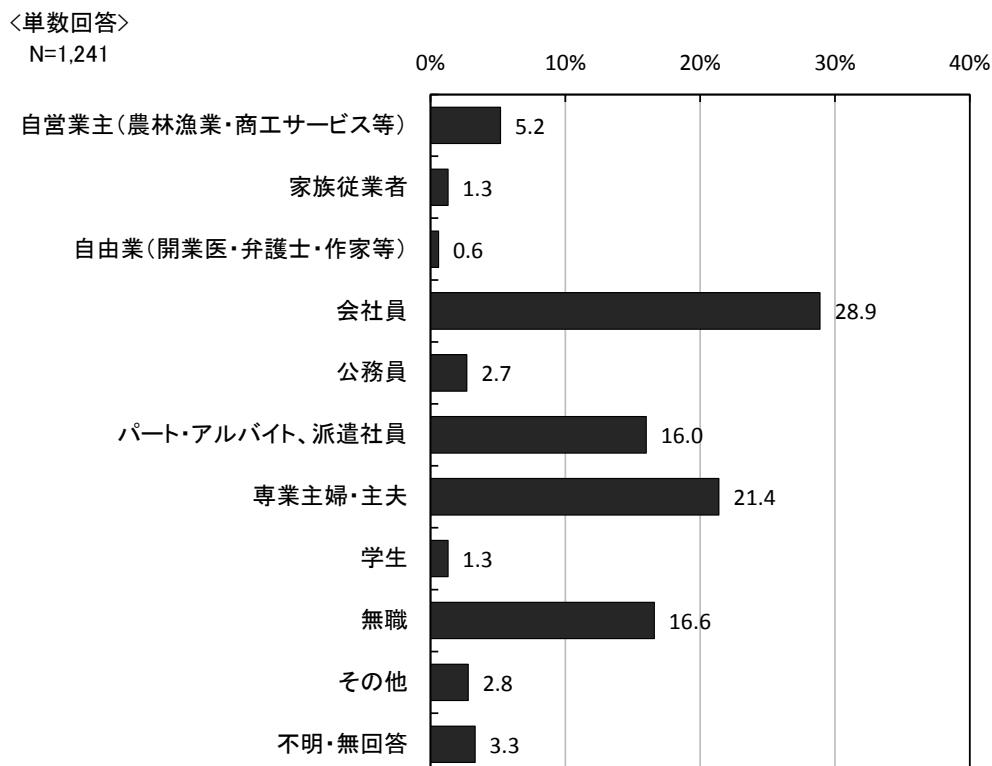
同居家族に「未就学」又は「小学生以上18歳未満」の子どもがいるかについてみると、「いない」が59.8%と最も高く、次いで、「いる(未就学のお子さんのみ)」が15.9%、「いる(小学生以上18歳未満のお子さんのみ)」が12.7%となっており、約6割の家庭で18歳未満の子どもがいない状況となっています。

問7 現在お住まいの種類は次のどれにあたりますか。(1つに○)



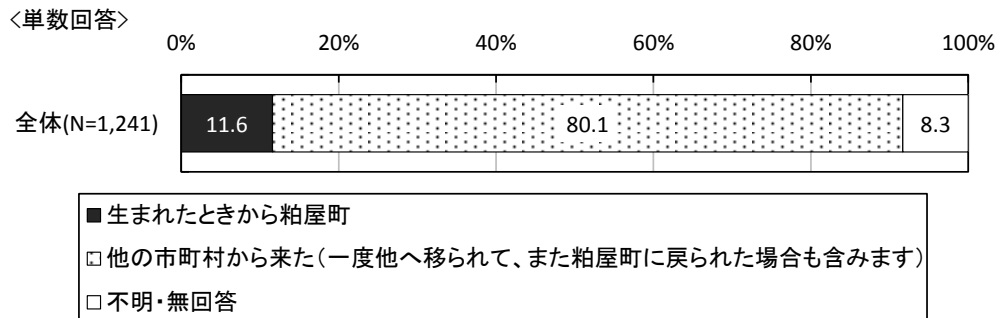
住まいの種類についてみると、「戸建て住宅（持ち家）」が44.8%と最も高く、次いで、「マンション等の集合住宅（賃貸）」が27.2%、「マンション等の集合住宅（持ち家）」が15.9%となっています。

問8 あなたの職業をお答えください。(1つに○)



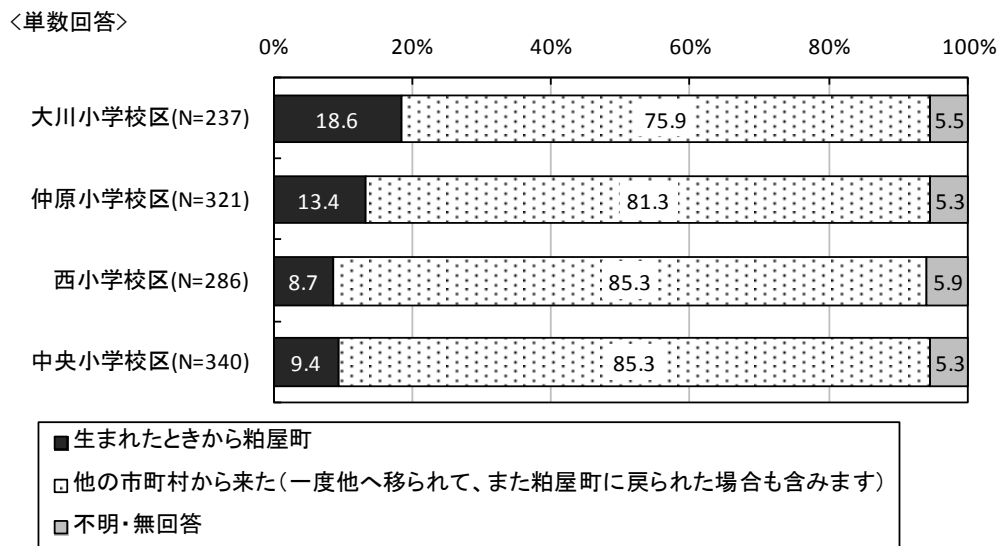
職業についてみると、「会社員」が28.9%と最も高く、次いで、「専業主婦・主夫」が21.4%、「無職」が16.6%となっています。

**問9 粕屋町にずっとお住まいですか。それとも他から移って来られましたか。
(1つに〇)**



粕屋町にずっと住んでいたか、それとも他から移って来たかについてみると、「他の市町村から来た(一度他へ移られて、また粕屋町に戻られた場合も含まます)」が80.1%、「生れたときから粕屋町」が11.6%となっており、ずっと粕屋町に在住している人は約1割程度となっています。

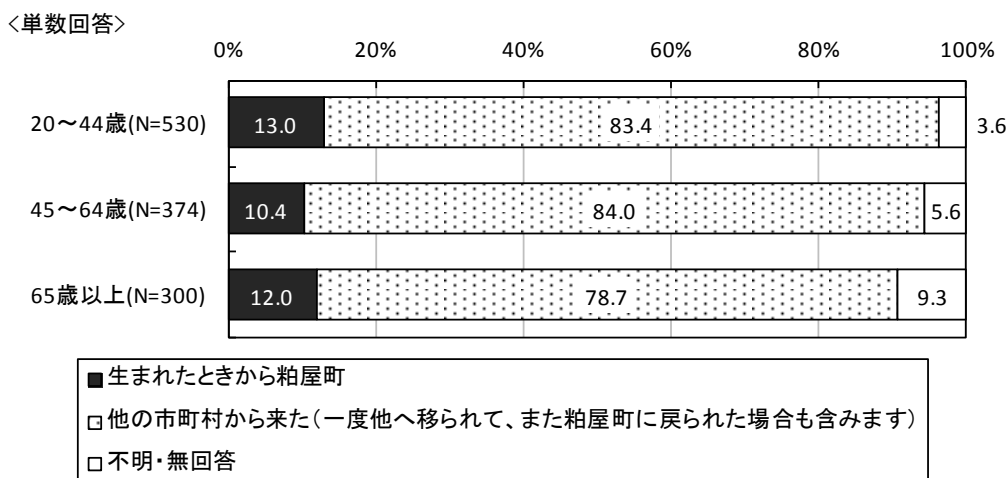
【小学校区別グラフ】



小学校区別でみると、大川小学校区では「生れたときから粕屋町」が他の小学校区と比較して高くなっています。

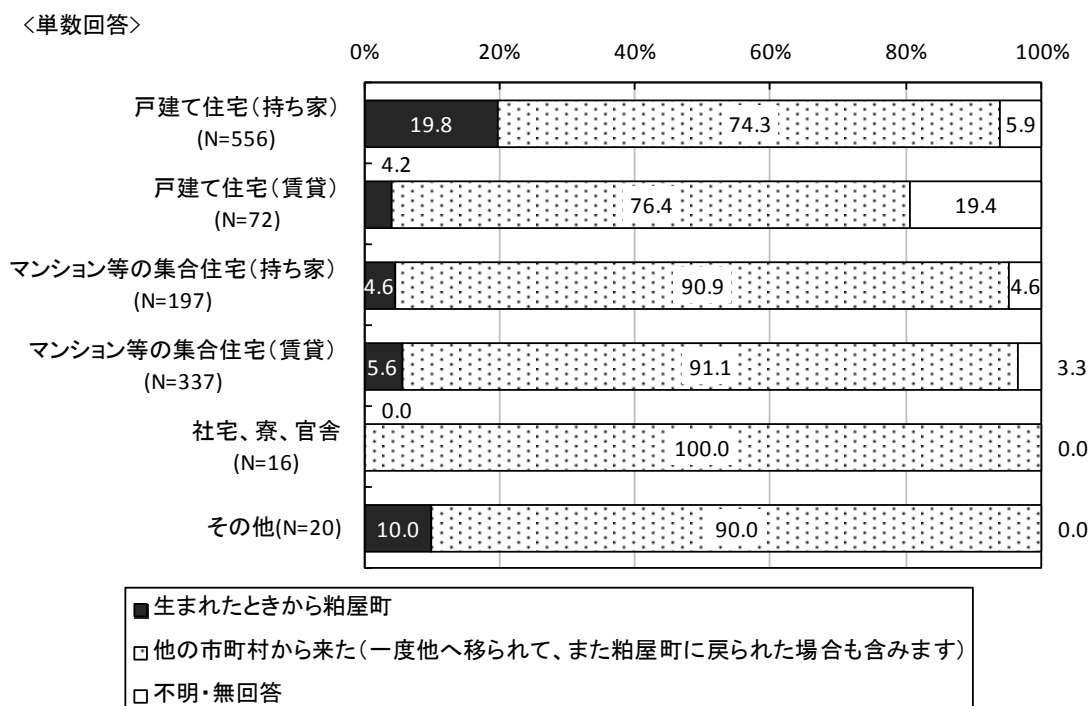
1. 回答者や回答者の家のことについて

【年齢別グラフ】



年齢別でみると、年齢が下がるほど「他の市町村から来た（一度他へ移られて、また粕屋町に戻られた場合も含まます）」の割合がおおむね高くなる傾向が見られます。

【住居別グラフ】



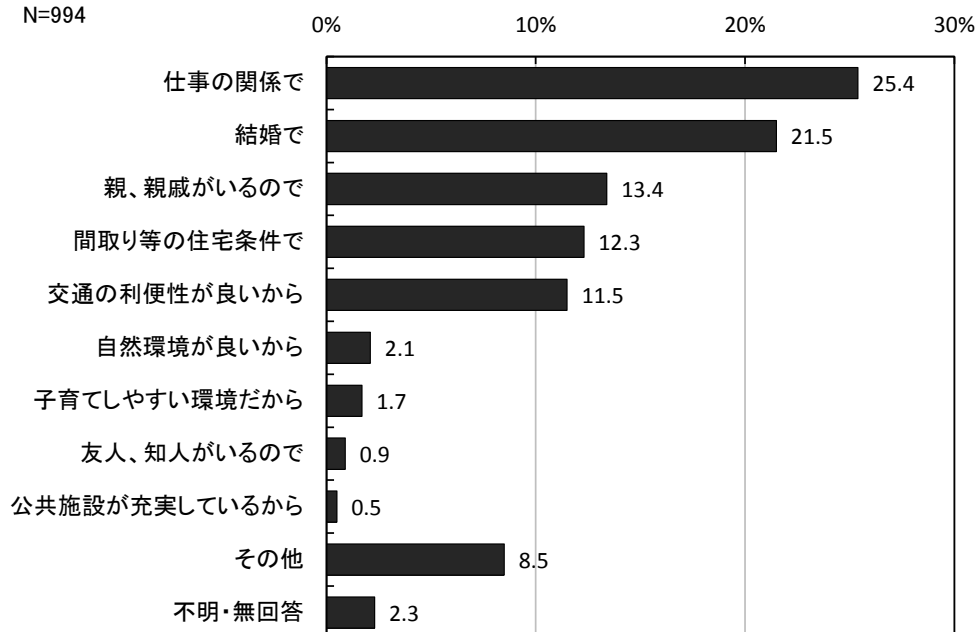
住居別でみると、戸建て住宅（持ち家）では「生まれたときから粕屋町」が他の住居と比較して高くなっています。

(問9で「2. 他の市町村から来た」と回答した方のみ)

問10 粕屋町に移って来られた主な理由を選んでください。(1つに○)

<単数回答>

N=994

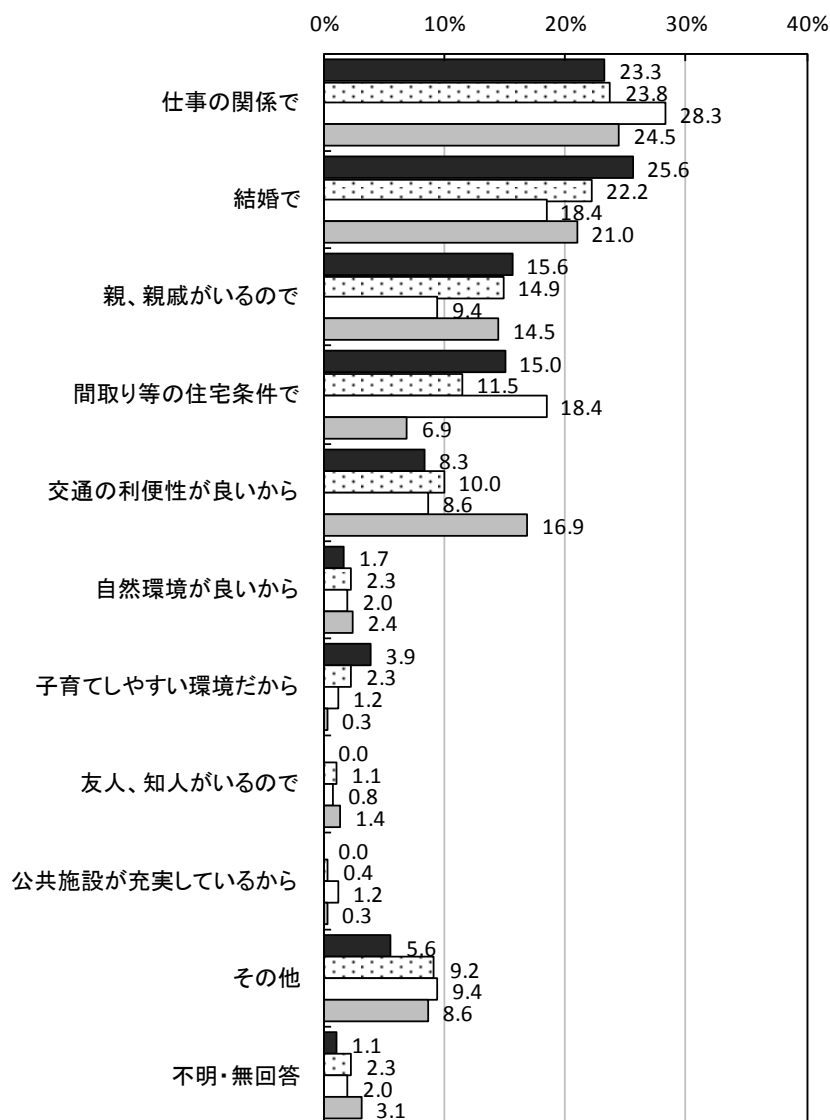


粕屋町に移って来た主な理由についてみると、「仕事の関係で」が25.4%と最も高く、次いで、「結婚で」が21.5%、「親、親戚がいるので」が13.4%となっています。

1. 回答者や回答者の家のことについて

【小学校区別グラフ】

<複数回答>

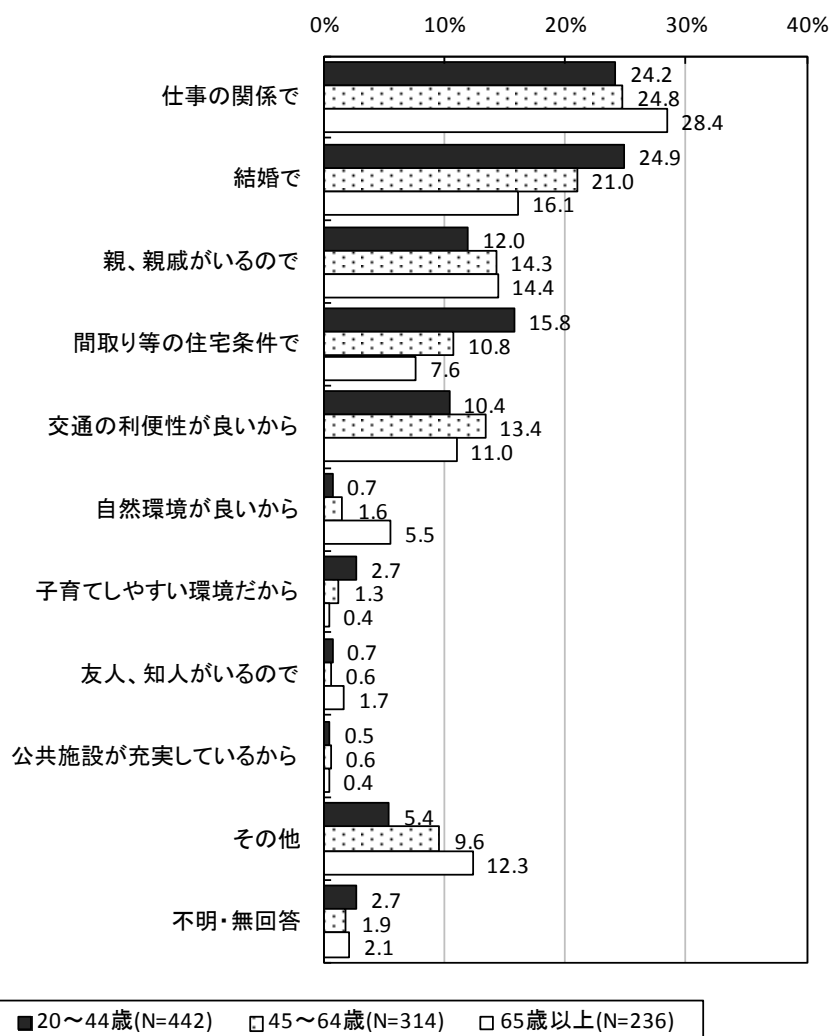


■大川小学校区(N=180) □仲原小学校区(N=261) □西小学校区(N=244) □中央小学校区(N=290)

小学校区別でみると、大川小学校区では「結婚で」が、西小学校区では「仕事の関係で」「間取り等の住宅条件で」が、中央小学校区では「交通の利便性が良いから」が、それぞれ他の小学校区と比較して高くなっています。

【年齢別グラフ】

〈複数回答〉



年齢別で見ると、年齢が下がるほど「結婚で」「間取り等の住宅条件で」の割合が高くなる傾向が見られます。

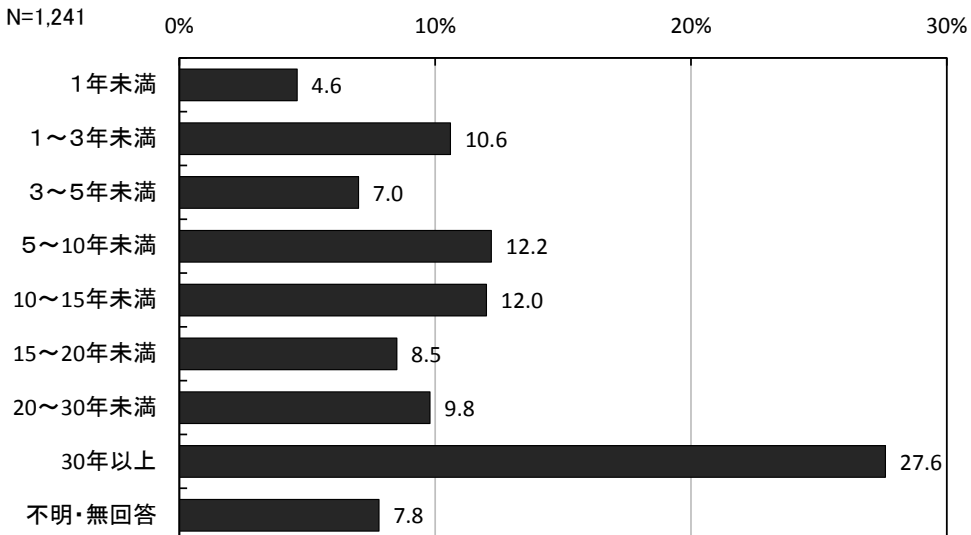
一方、年齢が上がるほど「仕事の関係で」「親、親戚がいるので」等の割合が高くなる傾向が見られます。

1. 回答者や回答者の家のことについて

問11 粕屋町にお住まいになられてからの年数はどのくらいですか。(1つに○)
(途中他の市町村へ移られた方は、戻って来られてからの年数でお願いします)

<単数回答>

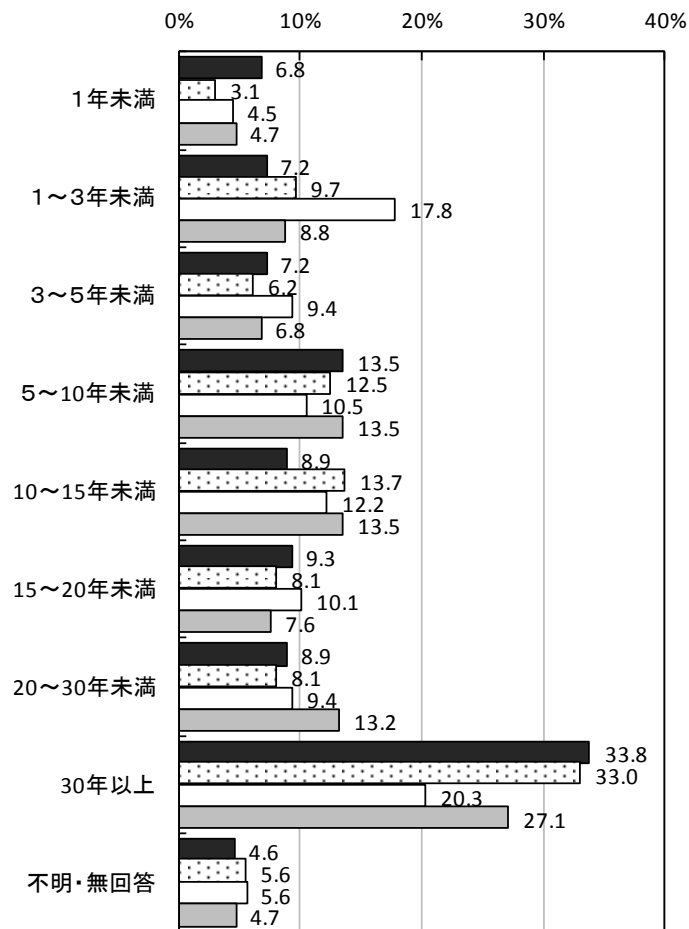
N=1,241



粕屋町での在住年数についてみると、「30年以上」が27.6%と最も高く、次いで、「5～10年未満」が12.2%、「10～15年未満」が12.0%となっています。

【小学校区別グラフ】

〈複数回答〉



■大川小学校区(N=237) □仲原小学校区(N=321) □西小学校区(N=286) □中央小学校区(N=340)

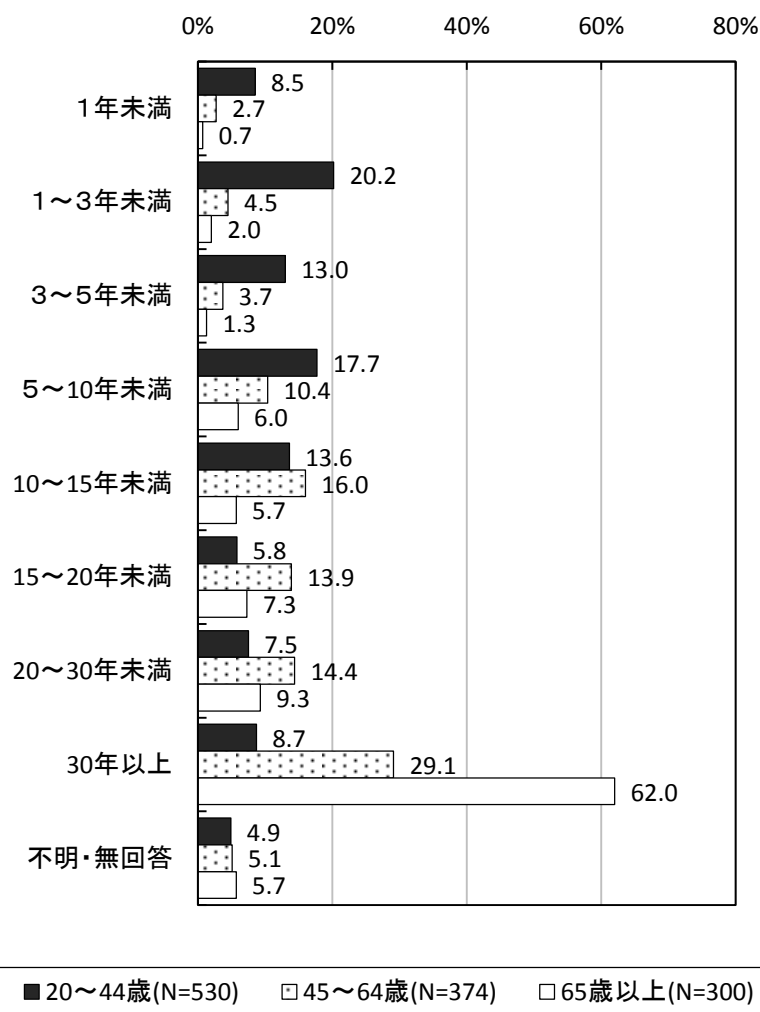
小学校区別でみると、大川小学校区、仲原小学校区では「30年以上」が他の小学校区と比較して高くなっています。

一方、西小学校区では「1～3年未満」が他の小学校区と比較して高くなっています。

1. 回答者や回答者の家のことについて

【年齢別グラフ】

〈複数回答〉

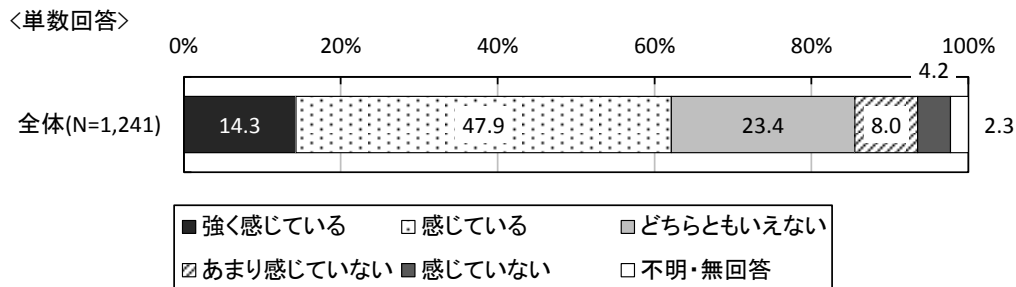


年齢別で見ると、年齢が下がるほど「1年未満」「1～3年未満」「3～5年未満」の割合がおおむね高くなる傾向が見られます。

2. 粕屋町の住みやすさについて

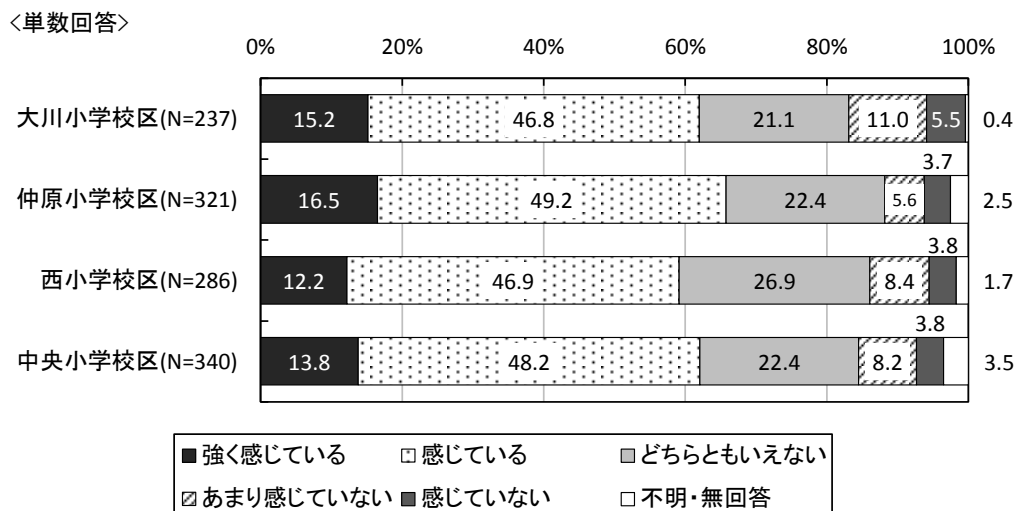
問12 粕屋町や自分の住む地区（小学校区、行政区）に、どのくらい愛着を感じますか。（1つに○）

① 粕屋町への愛着



粕屋町への愛着についてみると、「強く感じている」と「感じている」をあわせた、『愛着を感じている』が62.2%、「感じていない」と「あまり感じていない」をあわせた、『愛着を感じていない』が12.2%となっており、粕屋町に愛着を持っている人が多いことがうかがえます。

【小学校区別グラフ】

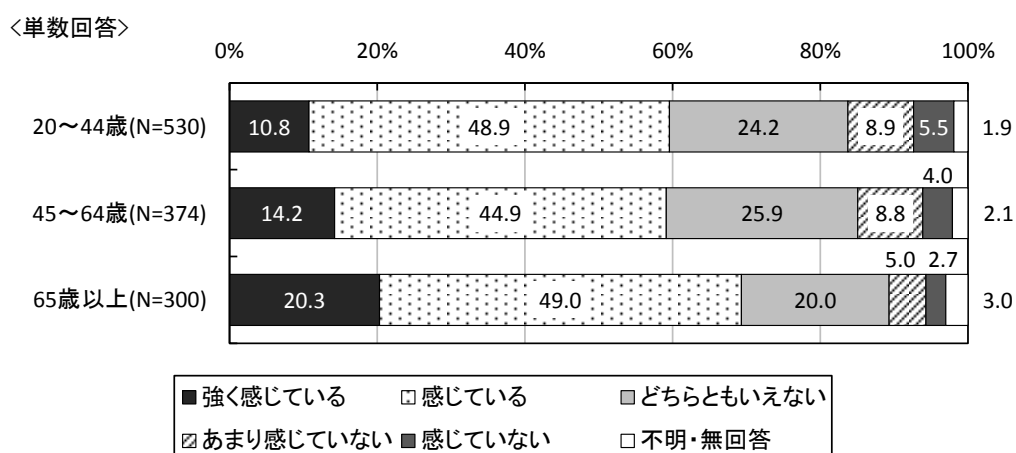


小学校区別でみると、仲原小学校区では「強く感じている」と「感じている」をあわせた、『愛着を感じている』が他の小学校区と比較して高くなっています。

一方、大川小学校区では「感じていない」と「あまり感じていない」をあわせた、『愛着を感じていない』が他の小学校区と比較して高くなっています。

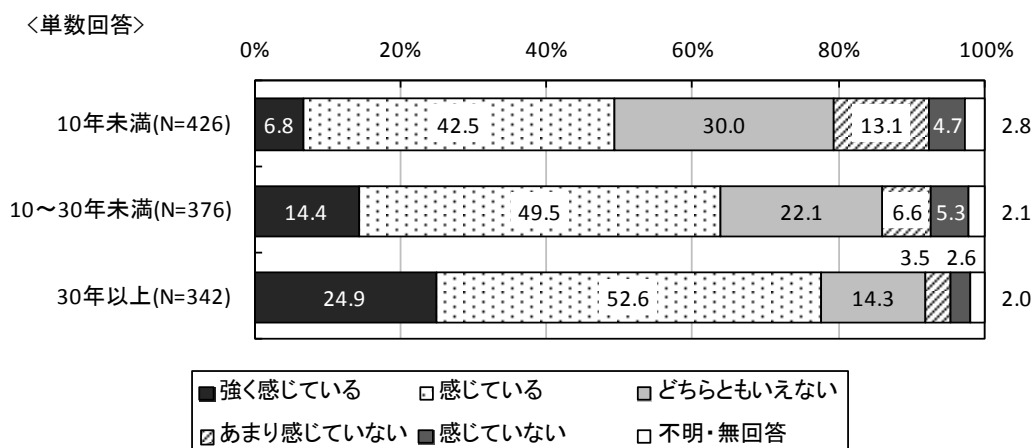
2. 粕屋町の住みやすさについて

【年齢別グラフ】



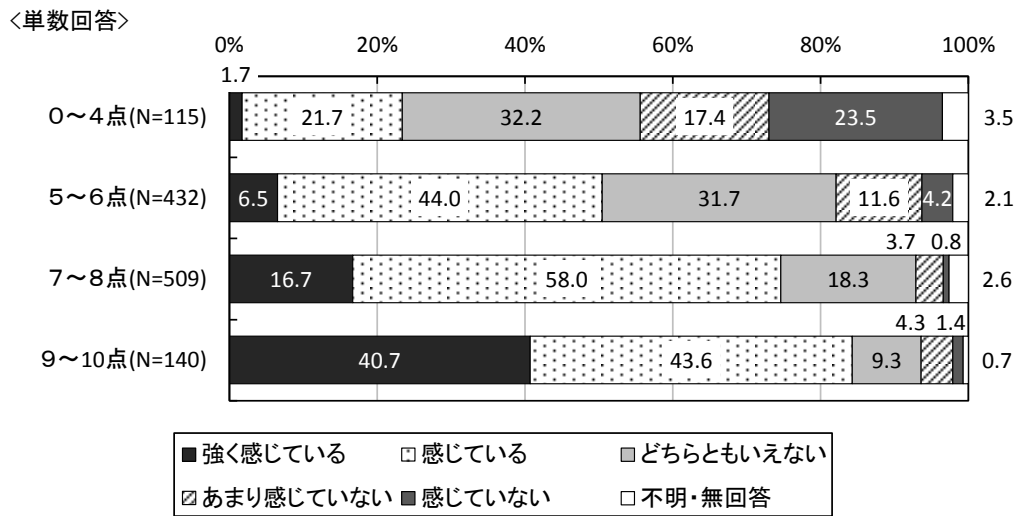
年齢別でみると、年齢が上がるほど「強く感じている」と「感じている」をあわせた、『愛着を感じている』の割合がおおむね高くなる傾向が見られます。

【居住年数別グラフ】



居住年数別でみると、年数が上がるほど「強く感じている」と「感じている」をあわせた、『愛着を感じている』の割合が高くなる傾向が見られます。

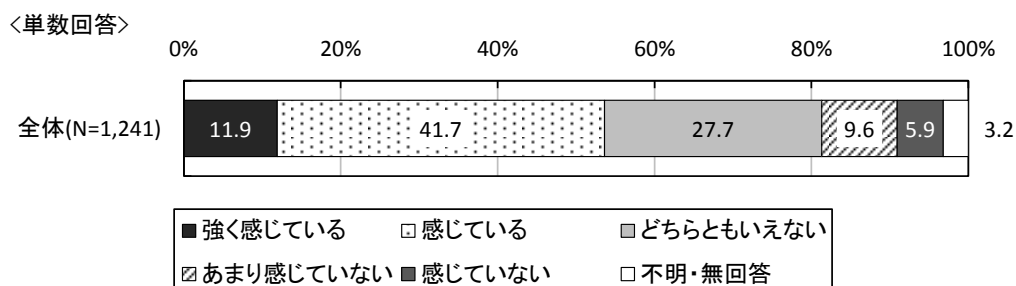
【幸福度別グラフ】



幸福度別でみると、点数が上がるほど「強く感じている」と「感じている」をあわせた、『愛着を感じている』の割合が高くなる傾向が見られます。

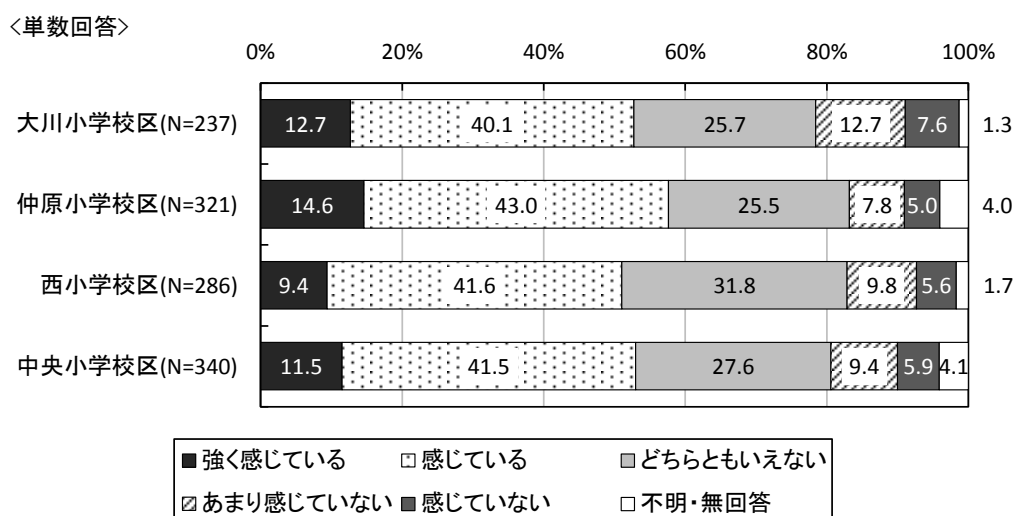
2. 粕屋町の住みやすさについて

② 自分の住む地区（小学校区、行政区）への愛着



自分の住む地区（小学校区、行政区）への愛着についてみると、「強く感じている」と「感じている」をあわせた、『愛着を感じている』が53.6%、「感じていない」と「あまり感じていない」をあわせた、『愛着を感じていない』が15.5%となっており、自分の住む地区に愛着を持っている人が多いことがうかがえます。

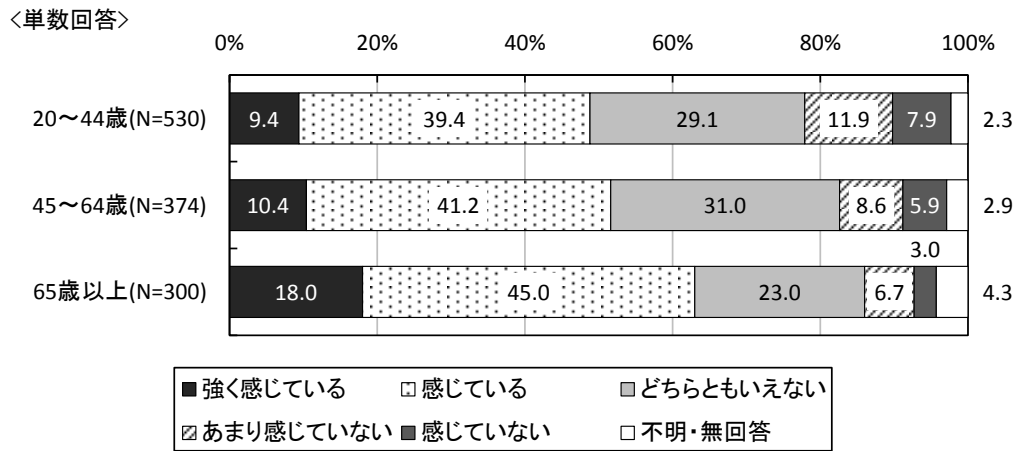
【小学校区別グラフ】



小学校区別でみると、仲原小学校区では「強く感じている」と「感じている」をあわせた、『愛着を感じている』が他の小学校区と比較して高くなっています。

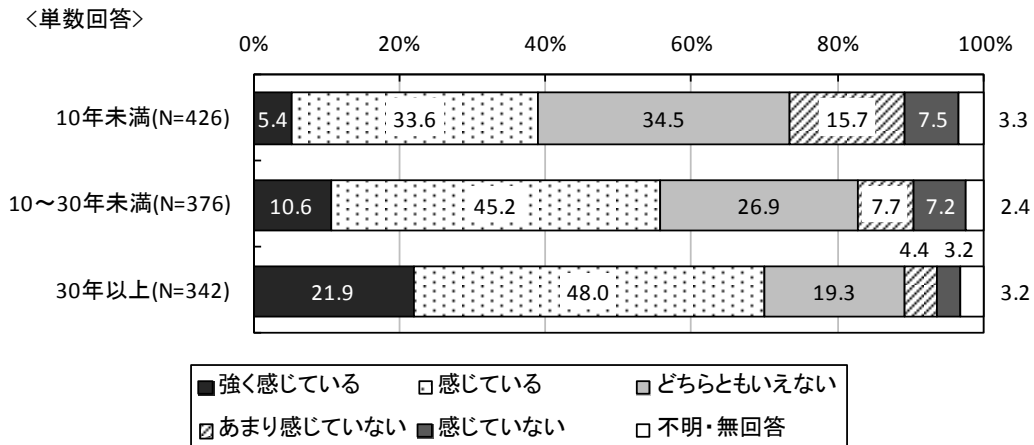
一方、大川小学校区では「感じていない」と「あまり感じていない」をあわせた、『愛着を感じていない』が他の小学校区と比較して高くなっています。

【年齢別グラフ】



年齢別でみると、年齢が上がるほど「強く感じている」と「感じている」をあわせた、『愛着を感じている』の割合が高くなる傾向が見られます。

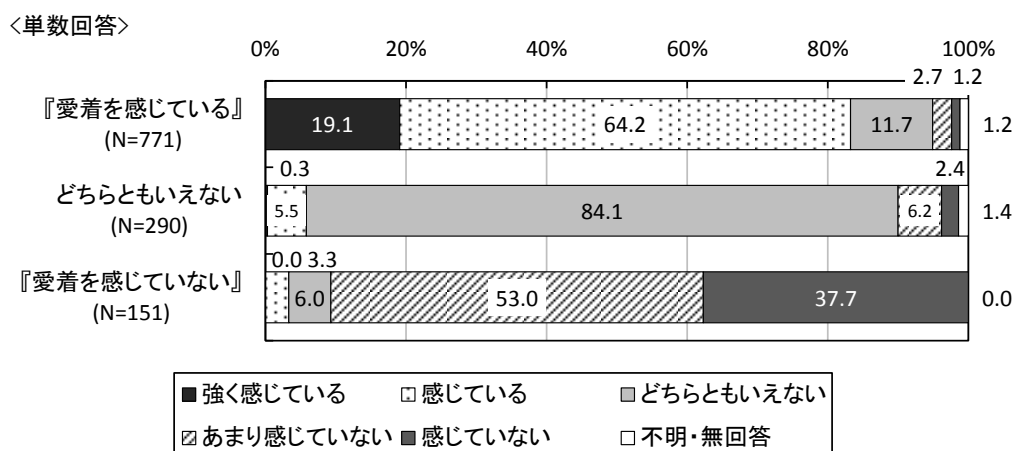
【居住年数別グラフ】



居住年数別でみると、年数が上がるほど「強く感じている」と「感じている」をあわせた、『愛着を感じている』の割合が高くなる傾向が見られます。

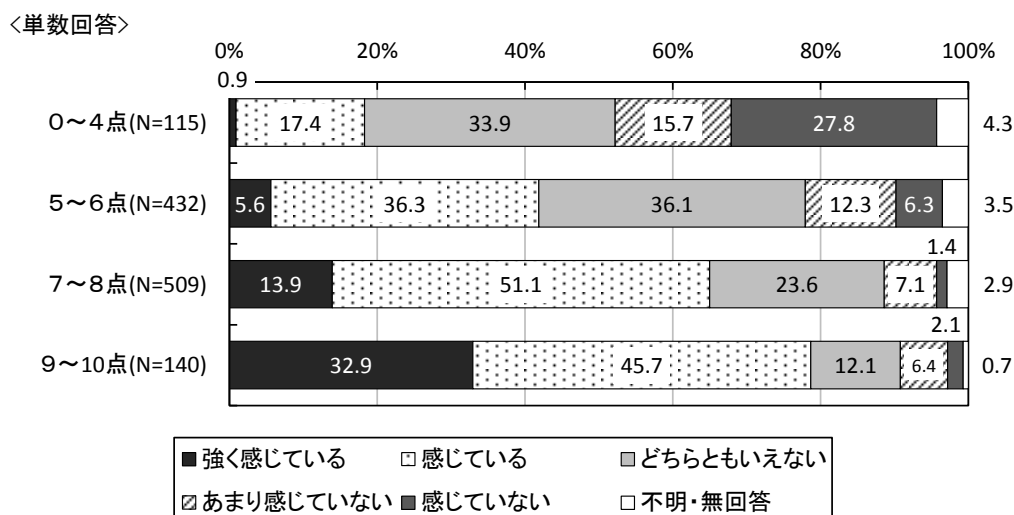
2. 粕屋町の住みやすさについて

【町への愛着度別グラフ】



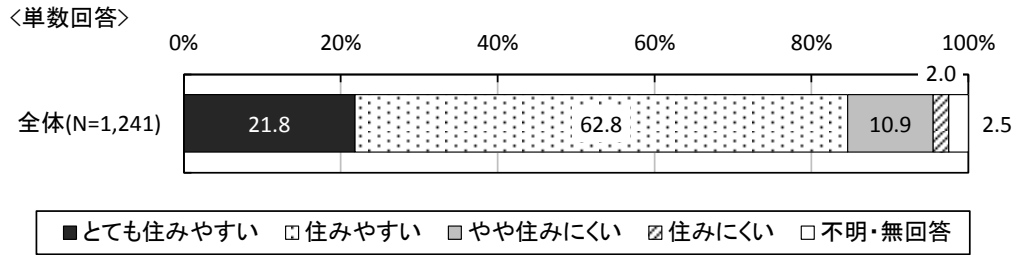
町への愛着度別でみると、粕屋町に愛着を感じている人ほど、自分の住む地区にも「強く感じている」と「感じている」をあわせた、『愛着を感じている』の割合が高くなる傾向が見られます。

【幸福度別グラフ】



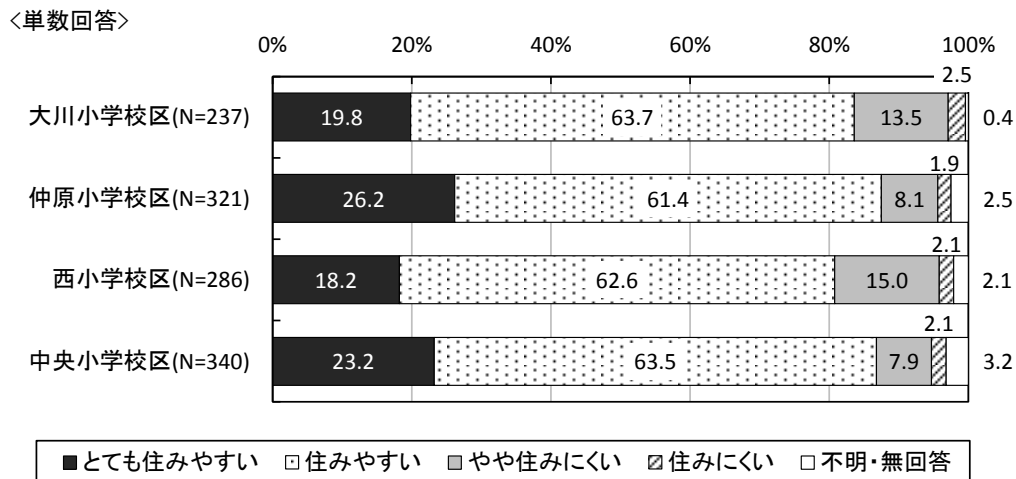
幸福度別でみると、点数が上がるほど「強く感じている」と「感じている」をあわせた、『愛着を感じている』の割合が高くなる傾向が見られます。

問13 粕屋町は、住みやすいと思いますか。(1つに〇)



粕屋町が住みやすいと思うかについてみると、「とても住みやすい」と「住みやすい」をあわせた、『住みやすい』が84.6%、「住みにくい」と「やや住みにくい」をあわせた、『住みにくい』が12.9%となっており、粕屋町が住みやすいと思っている人が多いことがうかがえます。

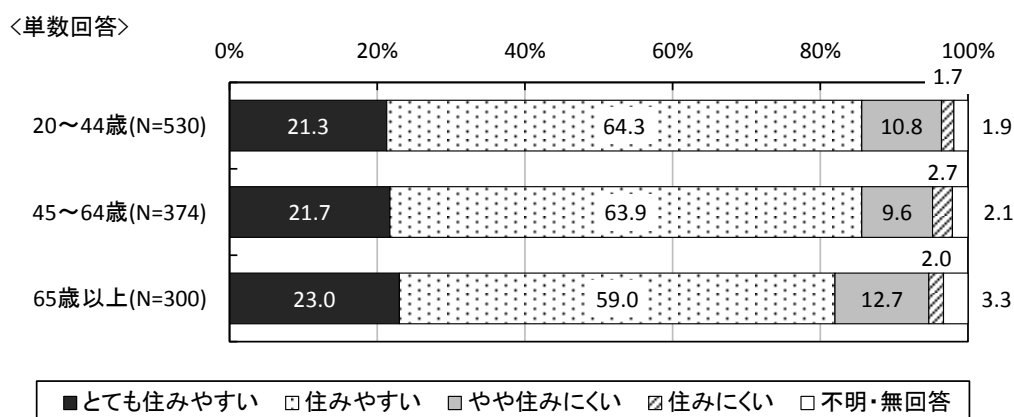
【小学校区別グラフ】



小学校区別でみると、仲原小学校区では「とても住みやすい」と「住みやすい」をあわせた、『住みやすい』の割合が他の小学校区と比較して高くなっています。

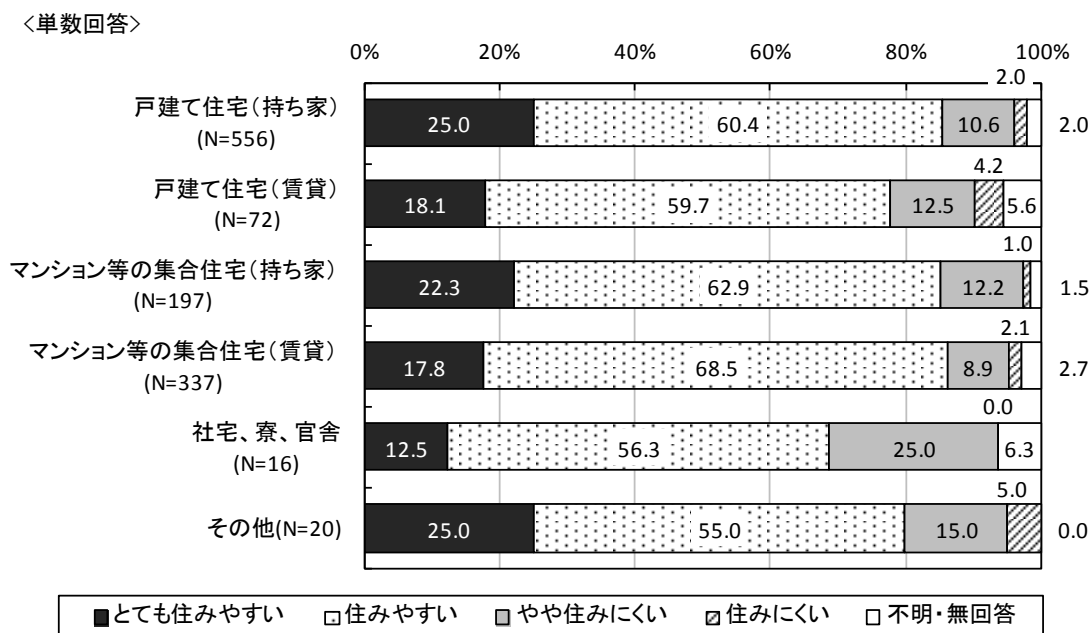
2. 粕屋町の住みやすさについて

【年齢別グラフ】



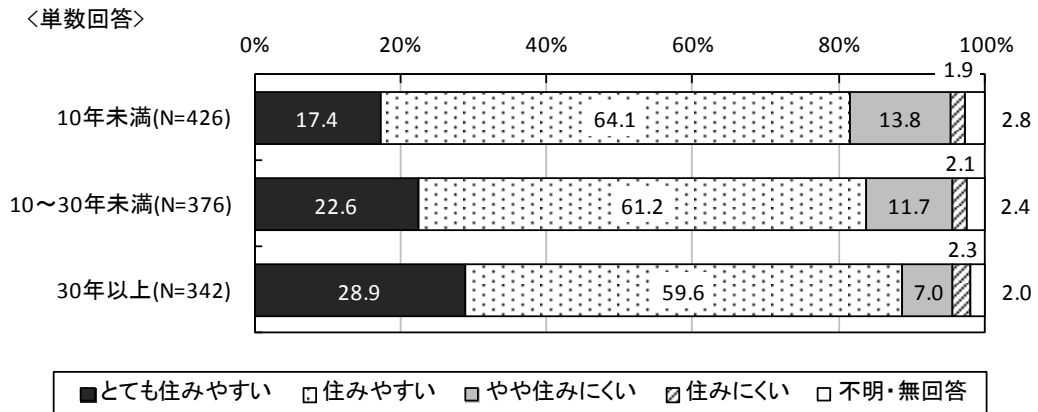
年齢別でみると、年齢が上がるほど「とても住みやすい」と「住みやすい」をあわせた、『住みやすい』の割合がおおむね低くなる傾向が見られます。

【住居別グラフ】



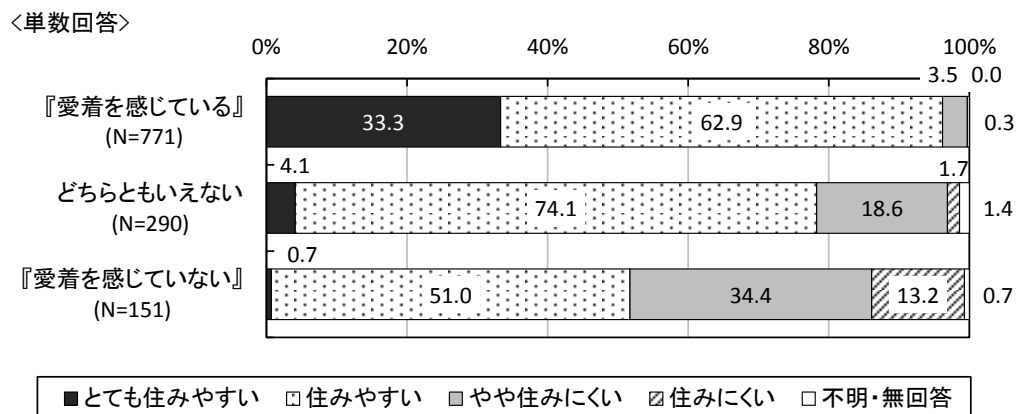
住居別でみると、戸建て住宅（持ち家）では「とても住みやすい」が他の住居と比較して高くなっています。

【居住年数別グラフ】



居住年数別でみると、年数が上がるほど「とても住みやすい」と「住みやすい」をあわせた、『住みやすい』の割合が高くなる傾向が見られます。

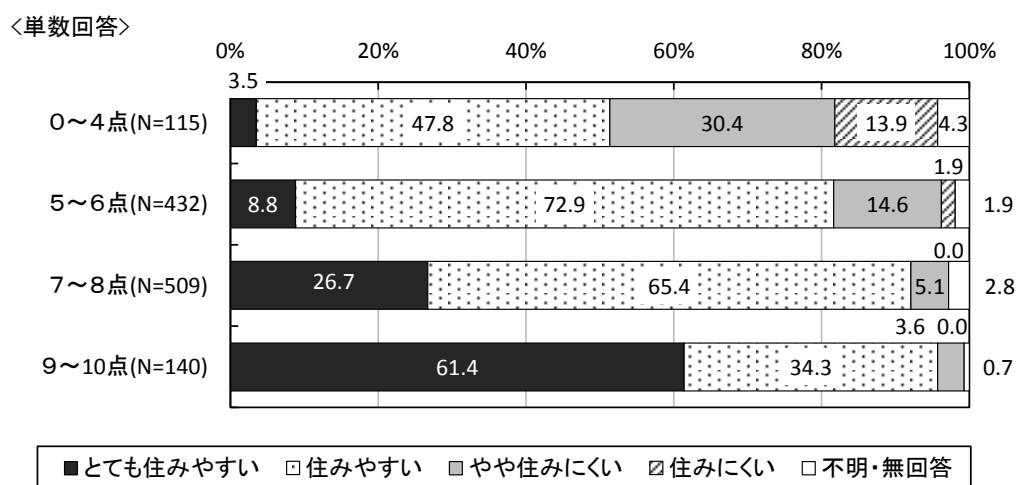
【町への愛着度別グラフ】



町への愛着度別でみると、粕屋町に愛着を感じている人ほど「とても住みやすい」と「住みやすい」をあわせた、『住みやすい』の割合が高くなる傾向が見られます。

2. 粕屋町の住みやすさについて

【幸福度別グラフ】



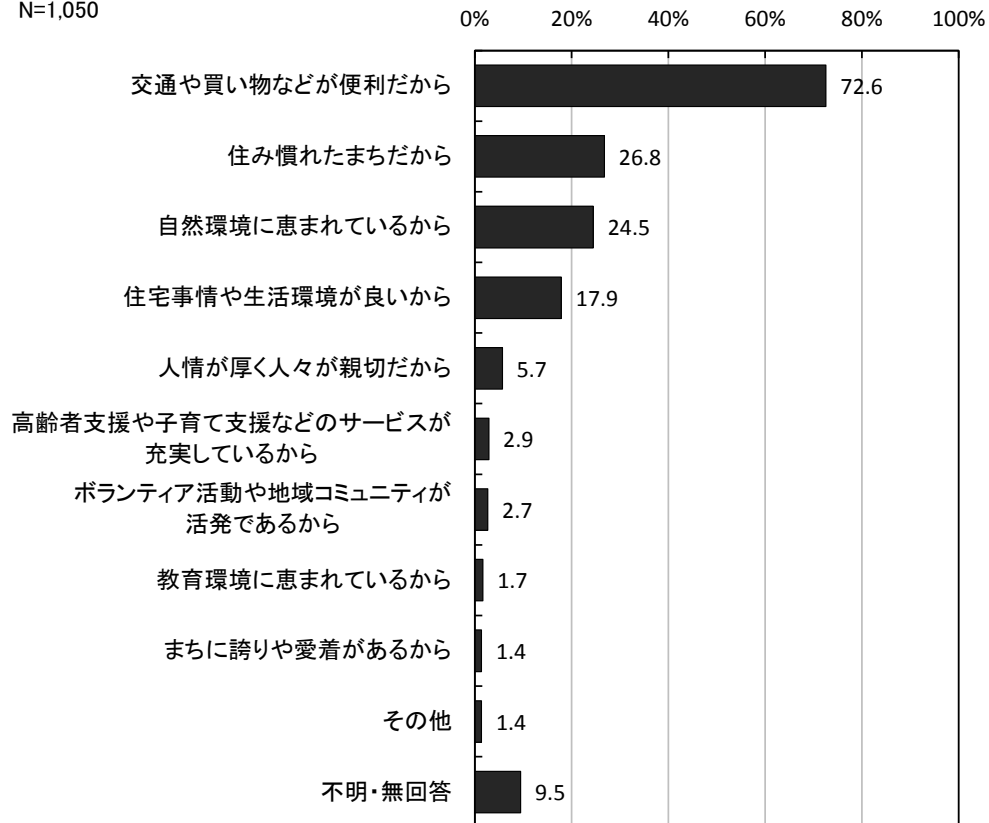
幸福度別でみると、点数が上がるほど「とても住みやすい」が高くなる傾向が見られます。

問14 問13で粕屋町が住みやすい（住みにくい）と回答した理由として適当なものを選んでください。（2つまでに○）

（問13で「1. とても住みやすい」、「2. 住みやすい」と回答した方のみ）

○ 住みやすい理由

〈複数回答〉
N=1,050

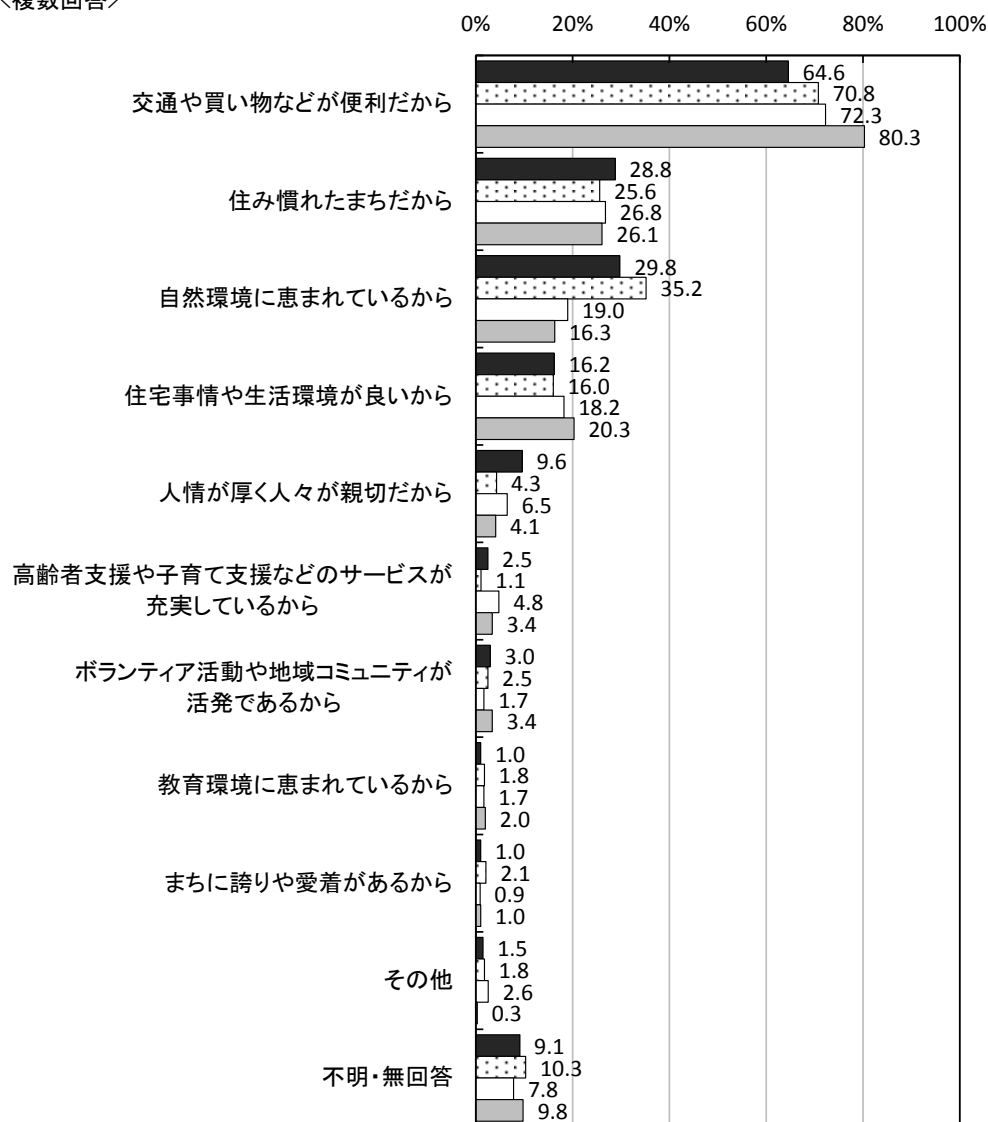


粕屋町に住みやすい理由についてみると、「交通や買い物などが便利だから」が72.6%と最も高く、次いで、「住み慣れたまちだから」が26.8%、「自然環境に恵まれているから」が24.5%となっています。

2. 粕屋町の住みやすさについて

【小学校区別グラフ】

〈複数回答〉

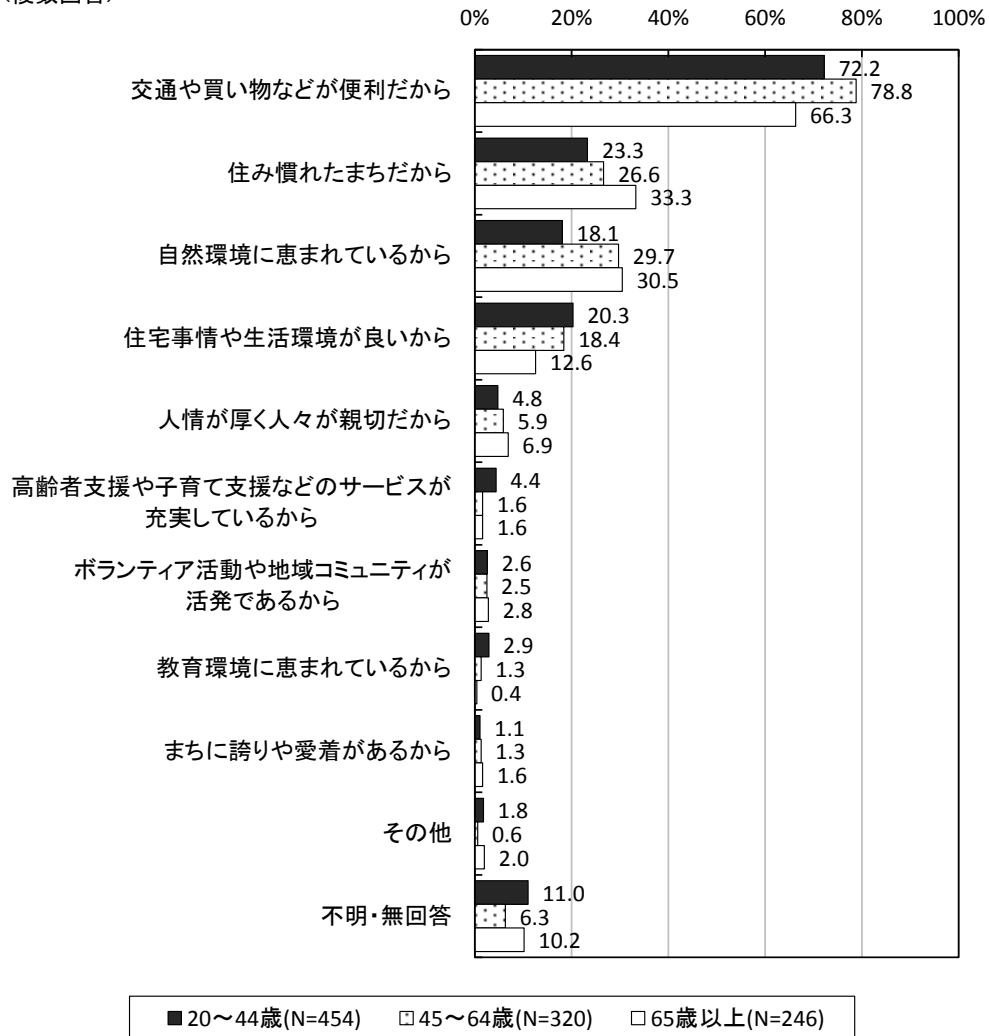


■大川小学校区(N=198) □仲原小学校区(N=281) □西小学校区(N=231) ■中央小学校区(N=295)

小学校区別でみると、中央小学校区では「交通や買い物などが便利だから」が他の小学校区と比較して高い一方、「自然環境に恵まれているから」については、他の小学校区と比較して低くなっています。

【年齢別グラフ】

<複数回答>



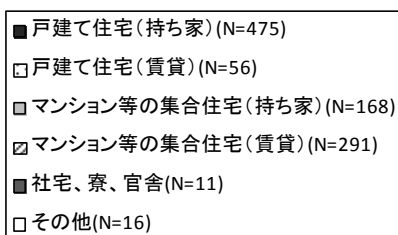
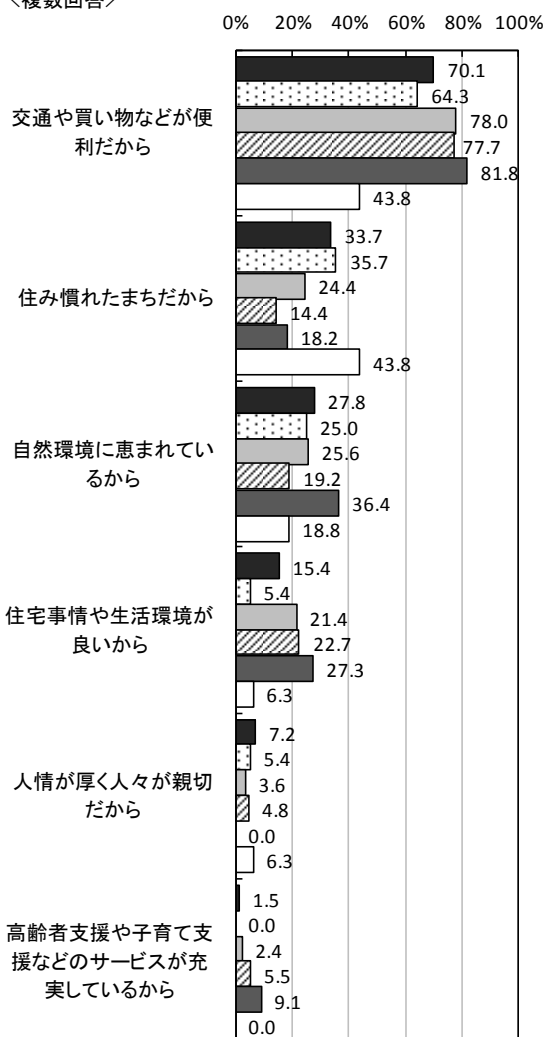
年齢別で見ると、年齢が下がるほど「住宅事情や生活環境が良いから」の割合が高くなる傾向が見られます。

一方、年齢が上がるほど「住み慣れたまちだから」「自然環境に恵まれているから」の割合が高くなる傾向が見られます。

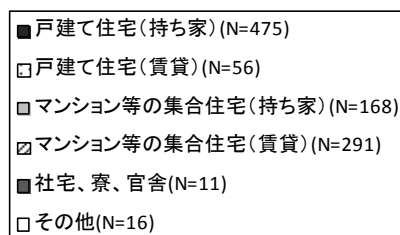
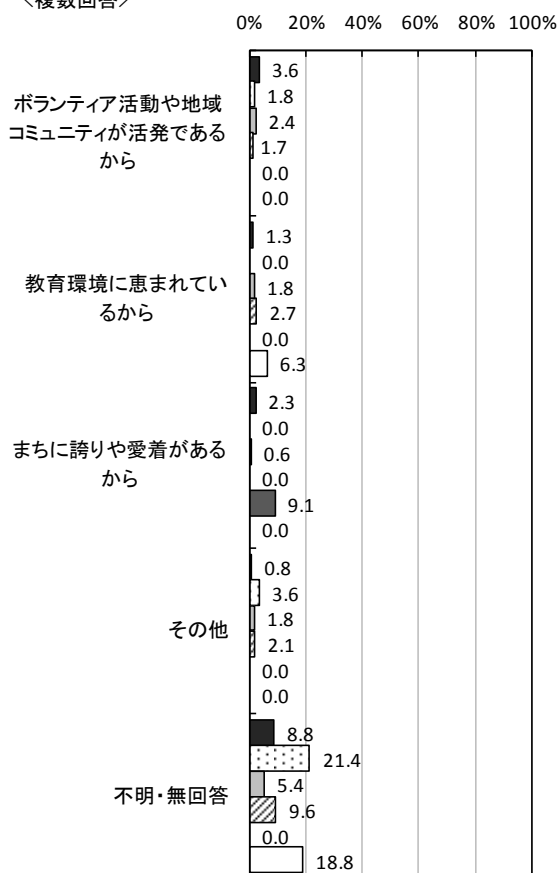
2. 粕屋町の住みやすさについて

【住居別グラフ】

＜複数回答＞



＜複数回答＞

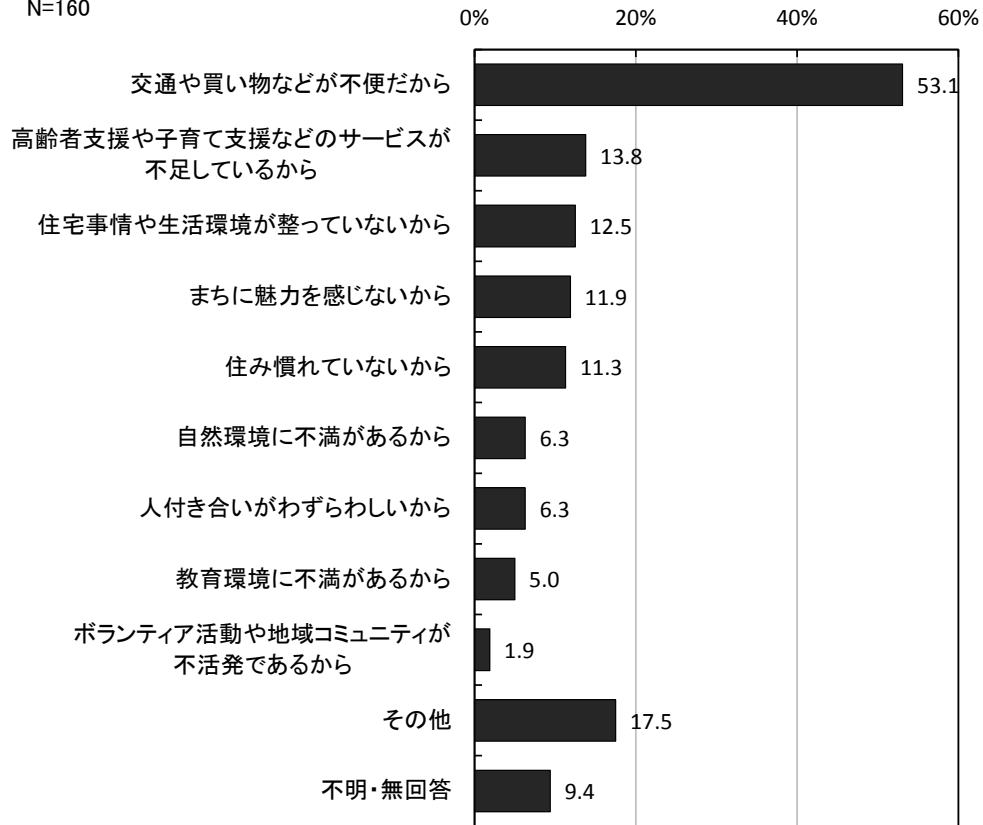


住居別でみると、マンション等の集合住宅（持ち家）（賃貸）では「交通や買い物などが便利だから」「住宅事情や生活環境が良いから」が戸建て住宅（持ち家）（賃貸）と比較して高い傾向が見られます。

(問13で「3. やや住みにくい」、「4. 住みにくい」と回答した方のみ)

○ 住みにくい理由

<複数回答>
N=160

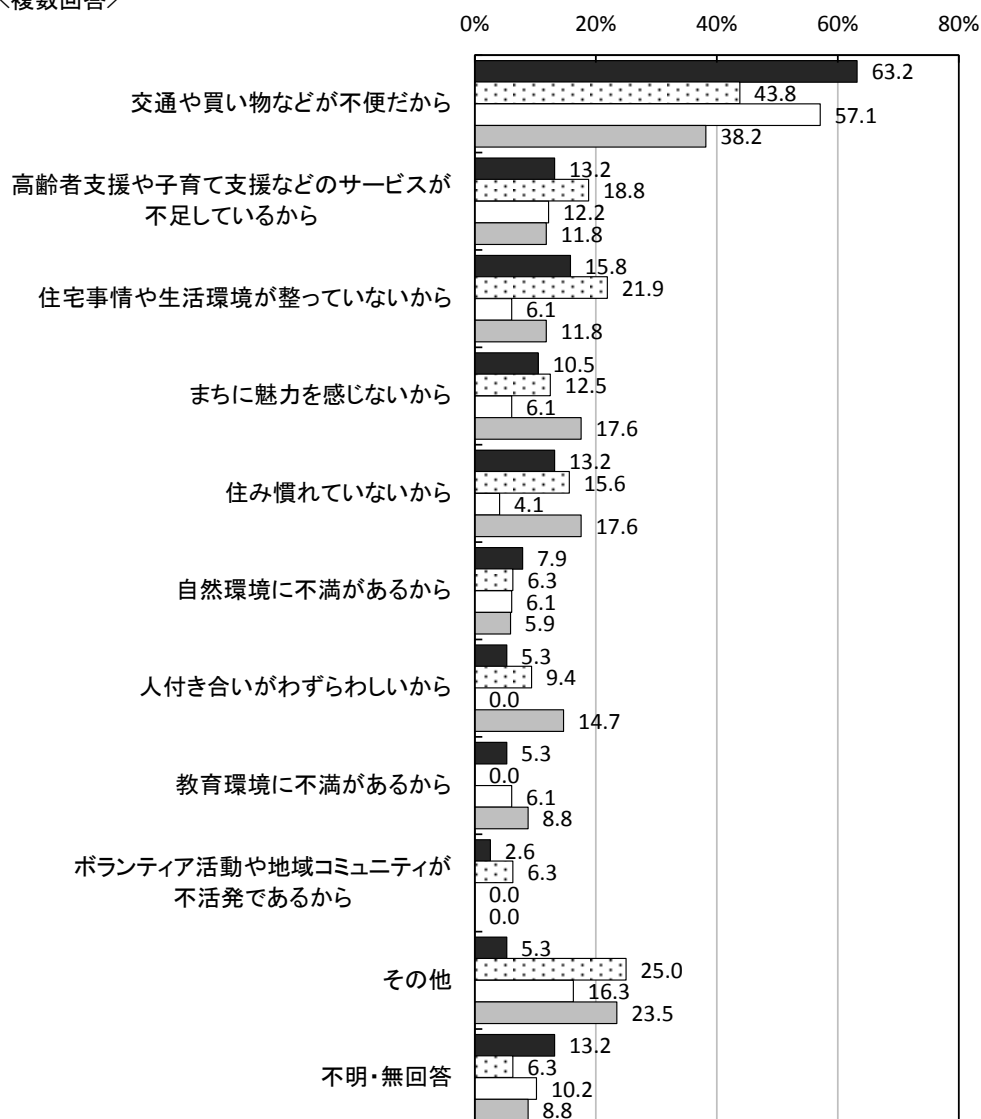


粕屋町に住みにくい理由についてみると、「交通や買い物などが不便だから」が53.1%と最も高く、次いで、「その他」が17.5%、「高齢者支援や子育て支援などのサービスが不足しているから」が13.8%となっています。

2. 粕屋町の住みやすさについて

【小学校区別グラフ】

<複数回答>

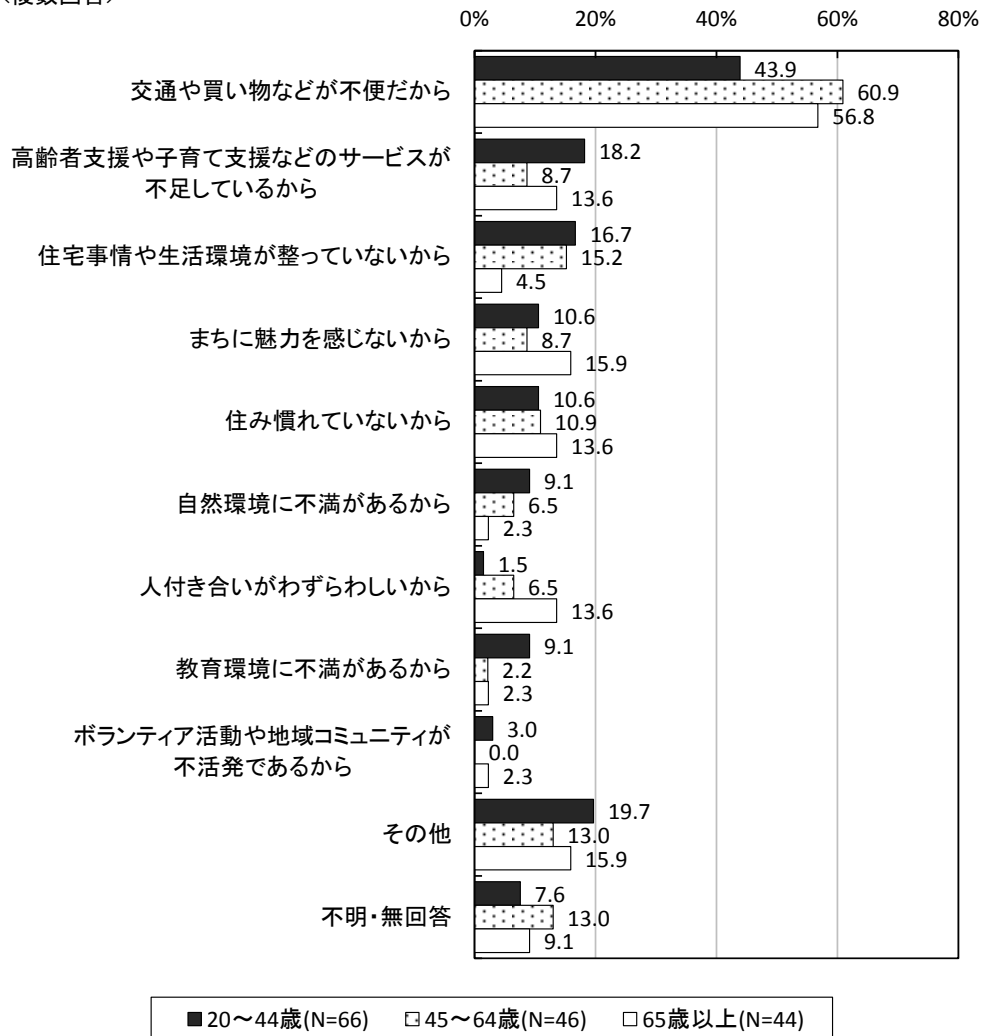


■ 大川小学校区(N=38) □ 仲原小学校区(N=32) □ 西小学校区(N=49) ■ 中央小学校区(N=34)

小学校区別でみると、大川小学校区では「交通や買い物などが不便だから」が他の小学校区と比較して高くなっています。

【年齢別グラフ】

<複数回答>

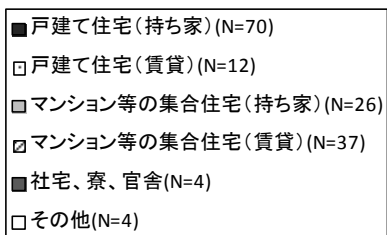
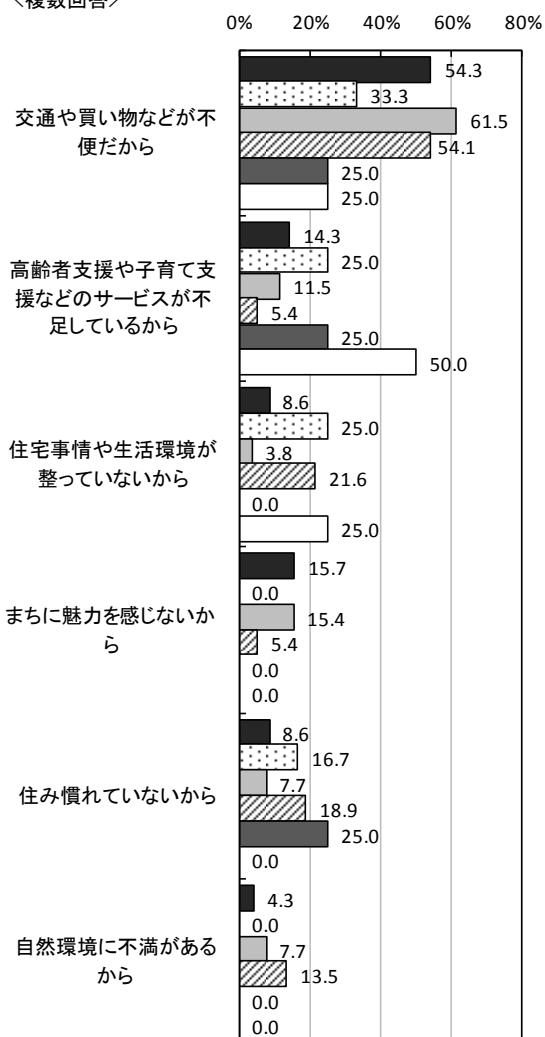


年齢別で見ると、年齢が上がるほど「交通や買い物などが不便だから」等の割合がおおむね高くなる傾向が見られます。

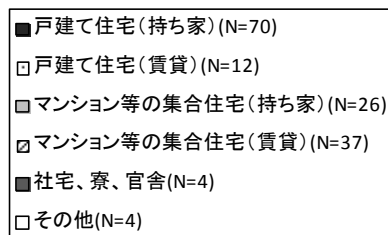
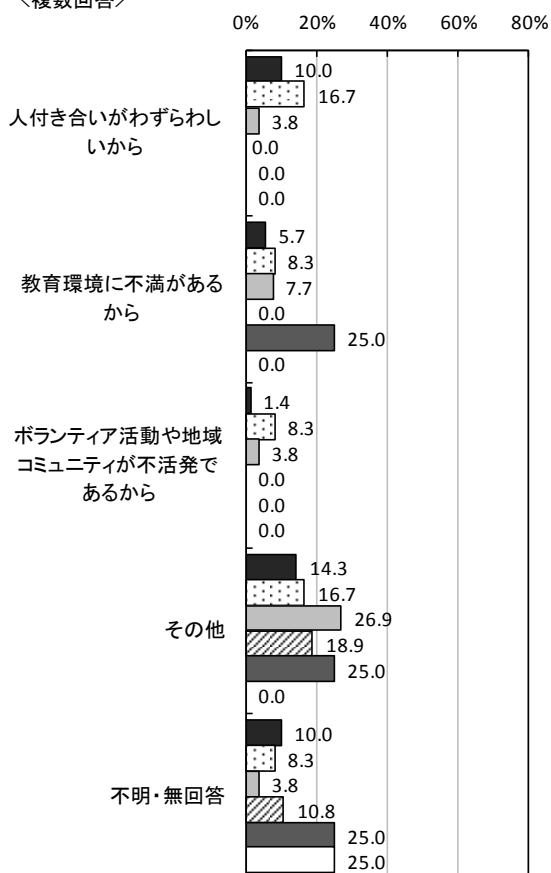
2. 粕屋町の住みやすさについて

【住居別グラフ】

<複数回答>

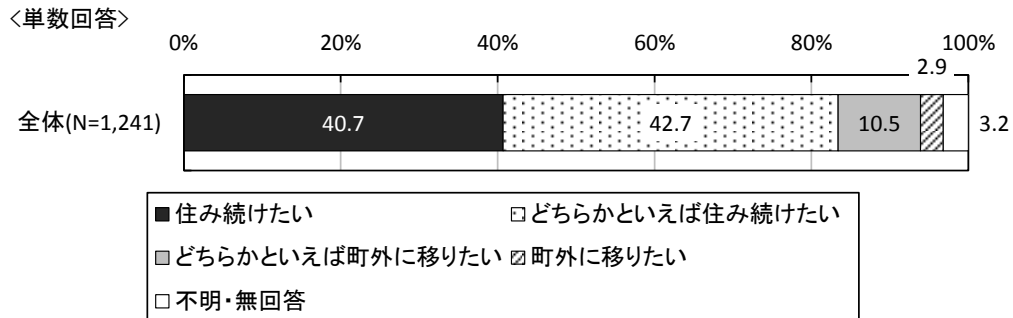


<複数回答>



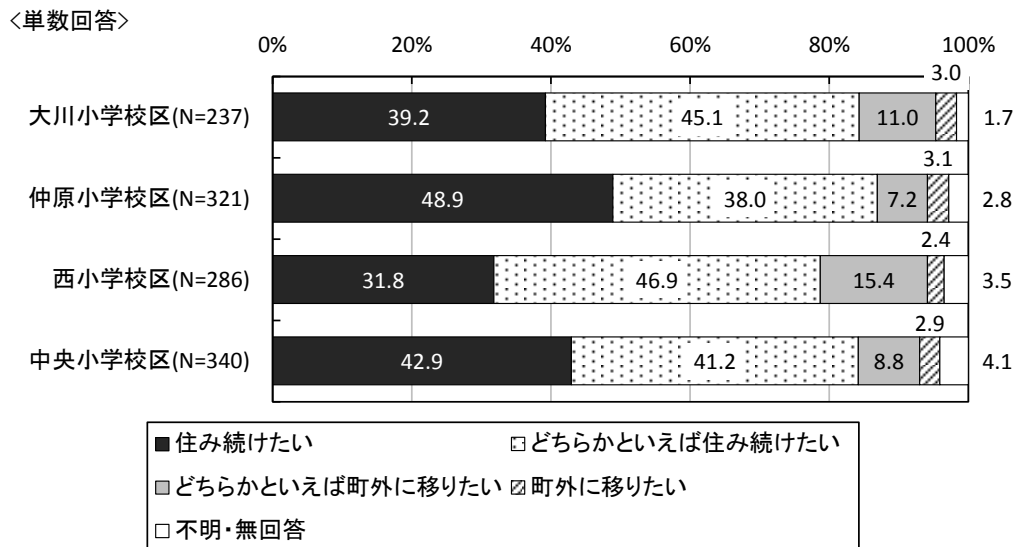
住居別で見ると、マンション等の集合住宅（持ち家）では「交通や買い物などが不便だから」が他の住居と比較して高くなっています。

問15 今後も粕屋町に住みたいと思いますか。(1つに〇)



今後も粕屋町に住み続けたいと思うかについてみると、「住み続けたい」と「どちらかといえば住み続けたい」をあわせた、『住み続けたい』が83.4%、「町外に移りたい」と「どちらかといえば町外に移りたい」をあわせた、『町外に移りたい』が13.4%と、今後も粕屋町に住み続けたいと考えている人が多くなっています。

【小学校区別グラフ】

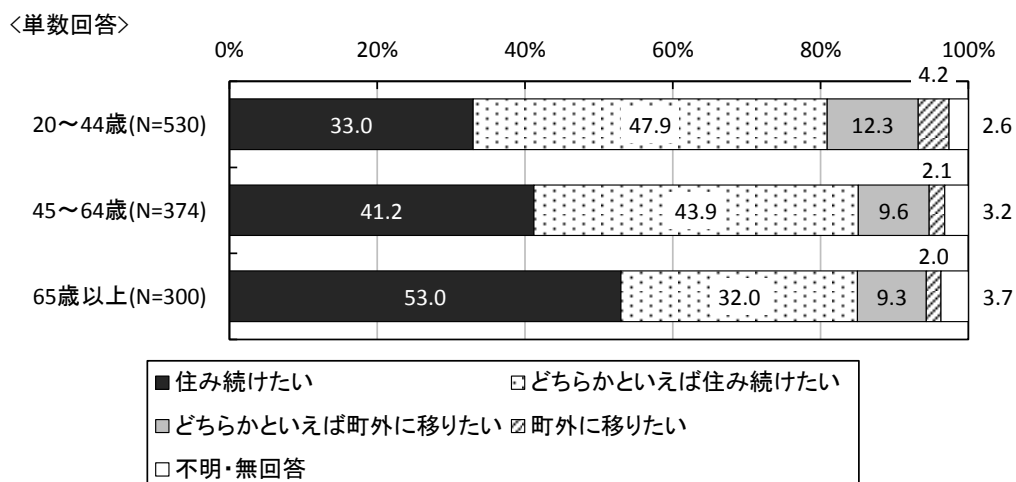


小学校区別でみると、仲原小学校区では「住み続けたい」と「どちらかといえば住み続けたい」をあわせた、『住み続けたい』が他の小学校区と比較して高くなっています。

一方、西小学校区では「町外に移りたい」と「どちらかといえば町外に移りたい」をあわせた、『町外に移りたい』が他の小学校区と比較して高くなっています。

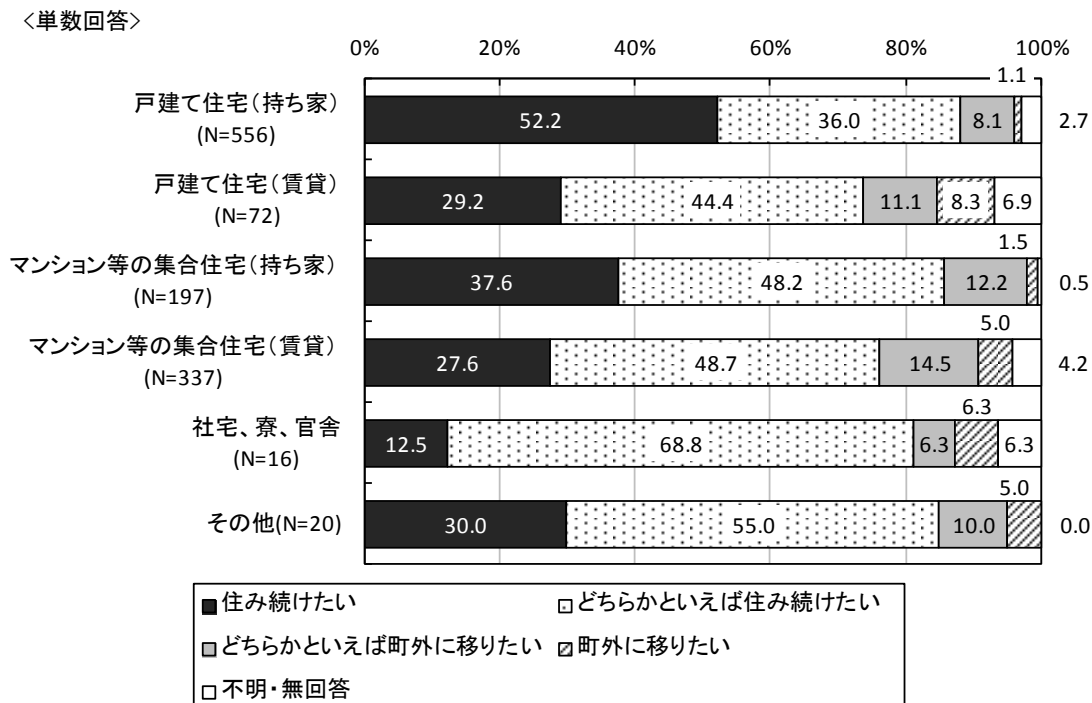
2. 粕屋町の住みやすさについて

【年齢別グラフ】



年齢別でみると、年齢が上がるほど「住み続けたい」と「どちらかといえば住み続けたい」をあわせた、『住み続けたい』の割合がおおむね高くなる傾向が見られます。

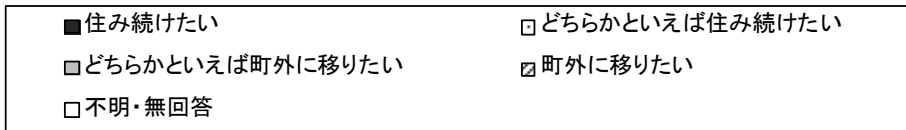
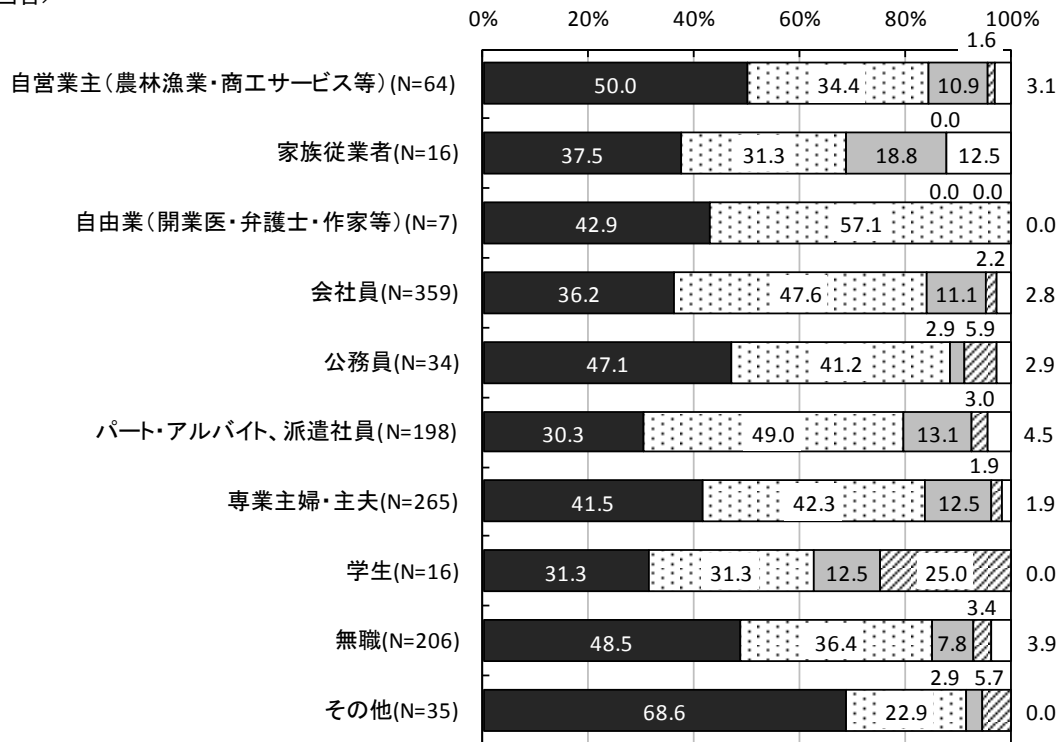
【住居別グラフ】



住居別でみると、戸建て住宅（持ち家）では「住み続けたい」と「どちらかといえば住み続けたい」をあわせた、『住み続けたい』が他の住居と比較して高くなっています。

【職業別グラフ】

<単数回答>

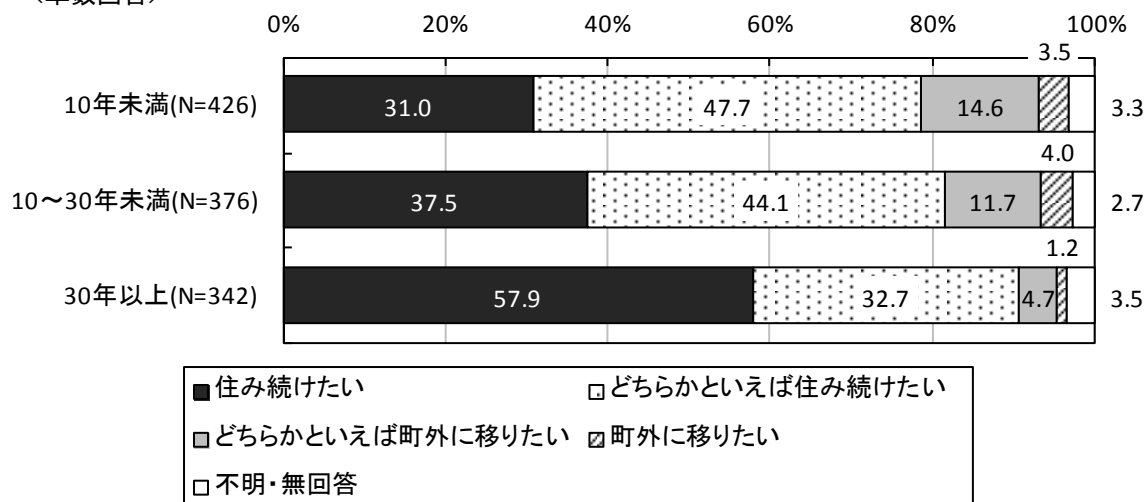


職業別でみると、自営業主（農林漁業・商工サービス等）、無職、公務員では「住み続けたい」が他の職業と比較して高い傾向が見られます。

2. 粕屋町の住みやすさについて

【居住年数別グラフ】

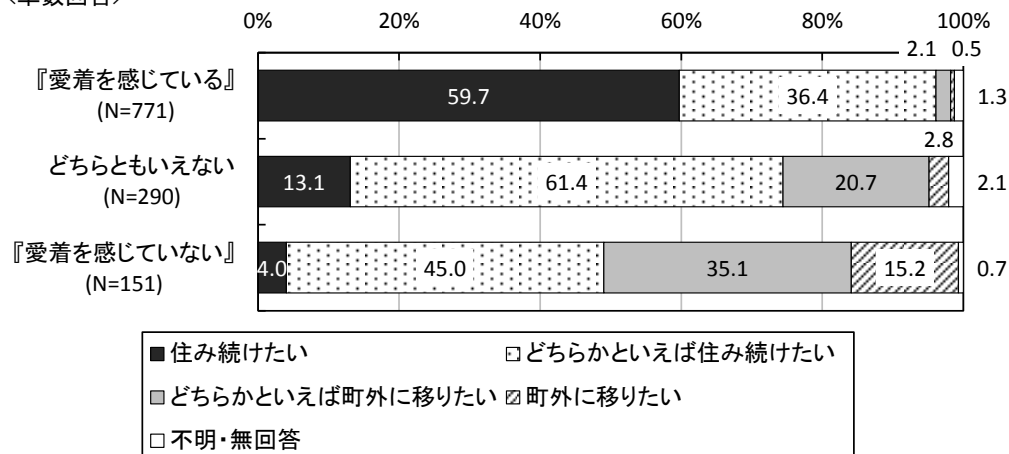
<単数回答>



居住年数別でみると、年数が上がるほど「住み続けたい」と「どちらかといえば住み続けたい」をあわせた、『住み続けたい』の割合が高くなる傾向が見られます。

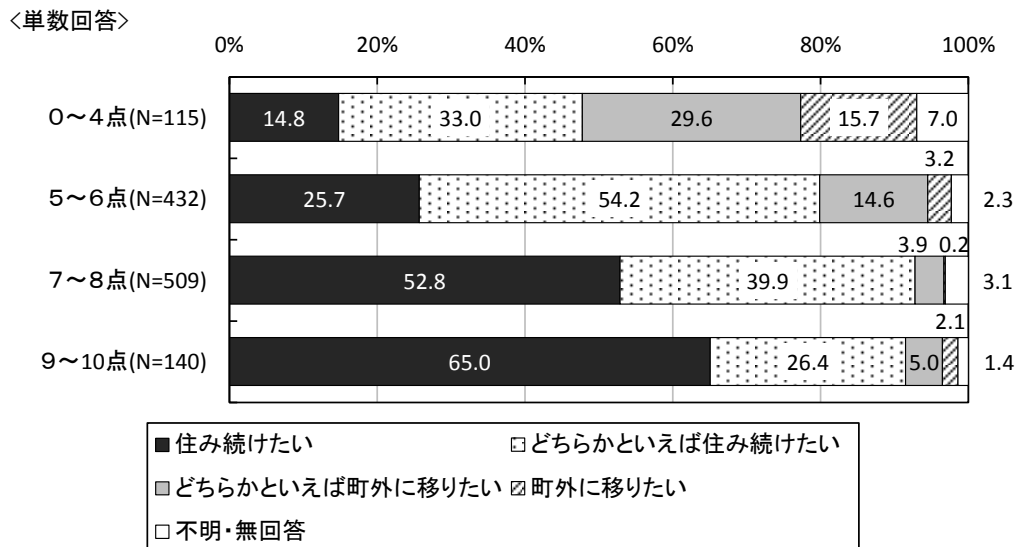
【町への愛着度別グラフ】

<単数回答>



町への愛着度別でみると、粕屋町に愛着を感じている人ほど、「住み続けたい」と「どちらかといえば住み続けたい」をあわせた、『住み続けたい』の割合が高くなる傾向が見られます。

【幸福度別グラフ】



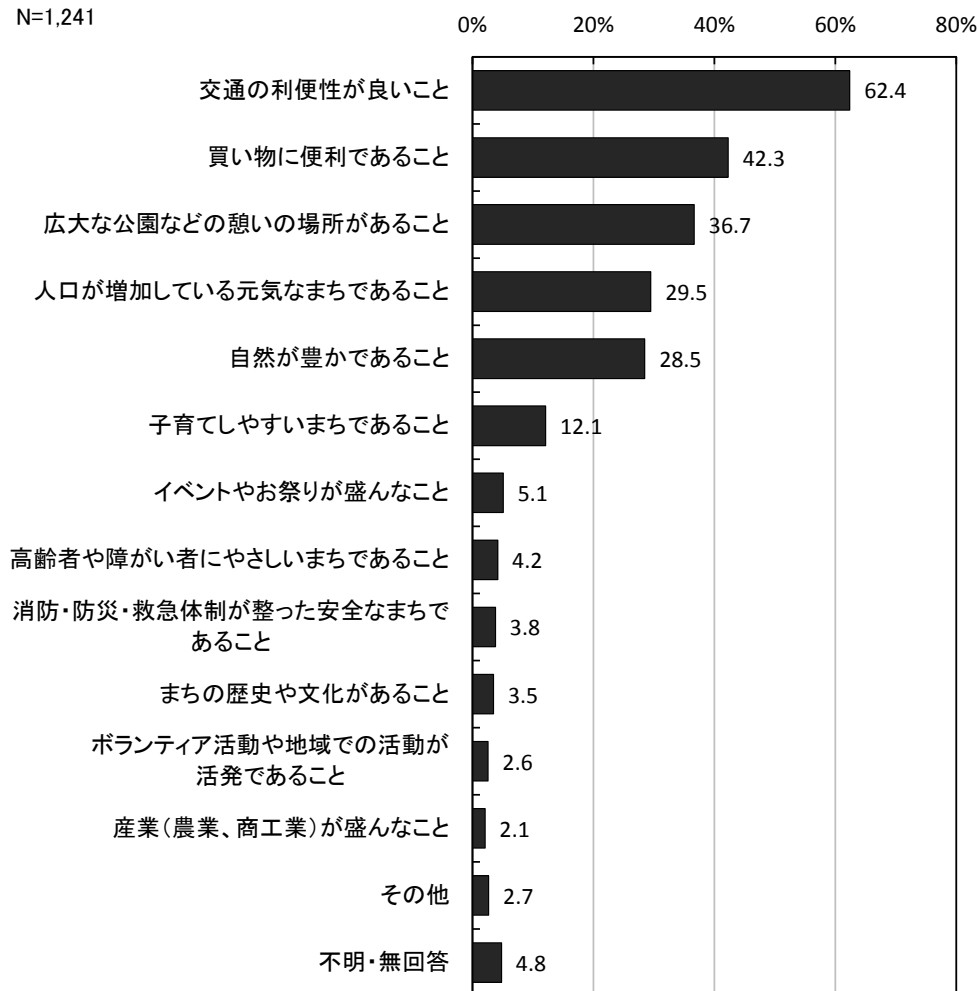
幸福度別でみると、点数が上がるほど「住み続けたい」と「どちらかといえば住み続けたい」をあわせた、『住み続けたい』がおおむね高くなる傾向が見られます。

3. 粕屋町の誇りやイメージについて

問16 あなたが思う、粕屋町の誇りはどのようなことですか。
(主なものを3つまでに○)

<複数回答>

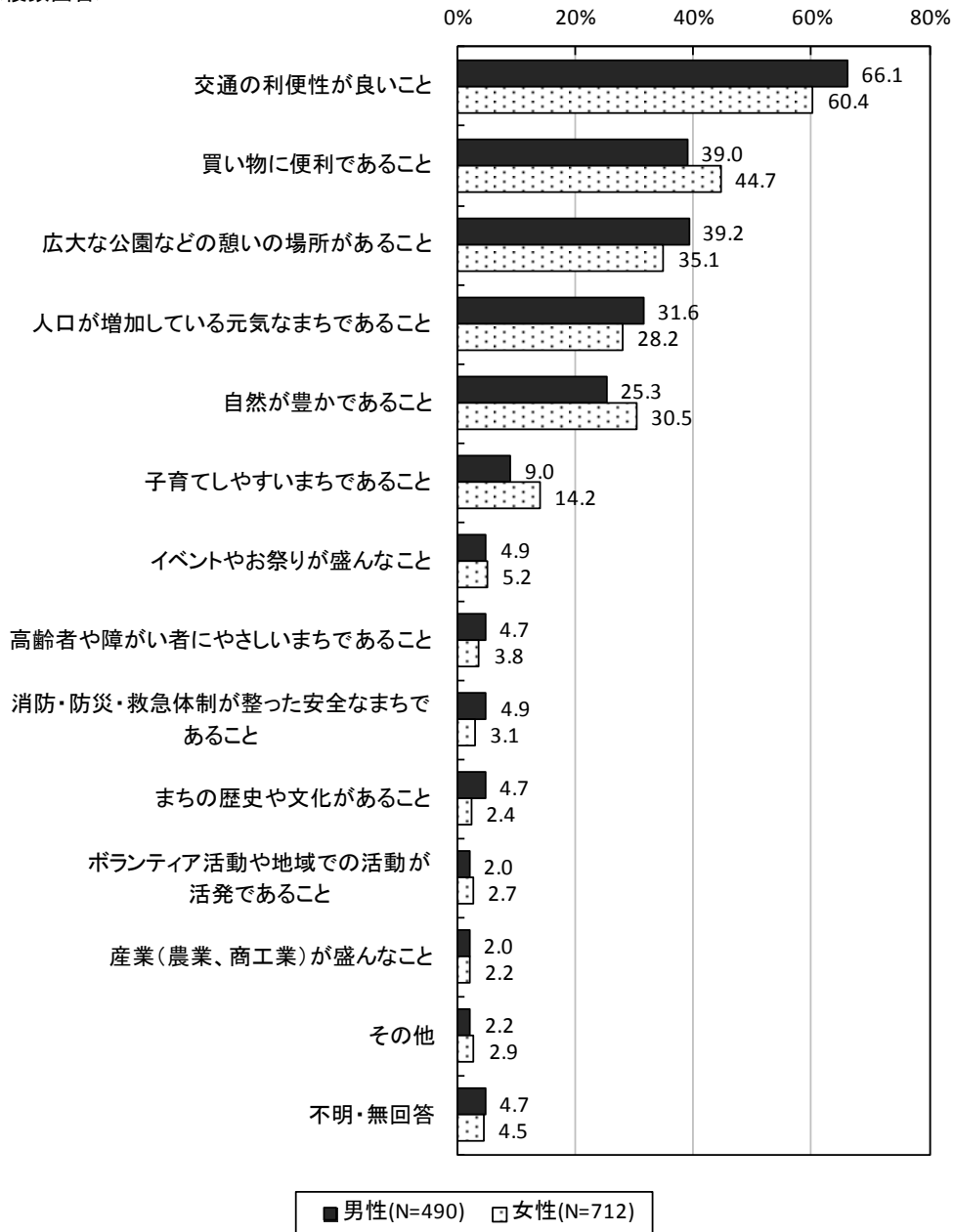
N=1,241



粕屋町の誇りについてみると、「交通の利便性が良いこと」が62.4%と最も高く、次いで、「買い物に便利であること」が42.3%、「広大な公園などの憩いの場所があること」が36.7%となっています。

【性別グラフ】

〈複数回答〉



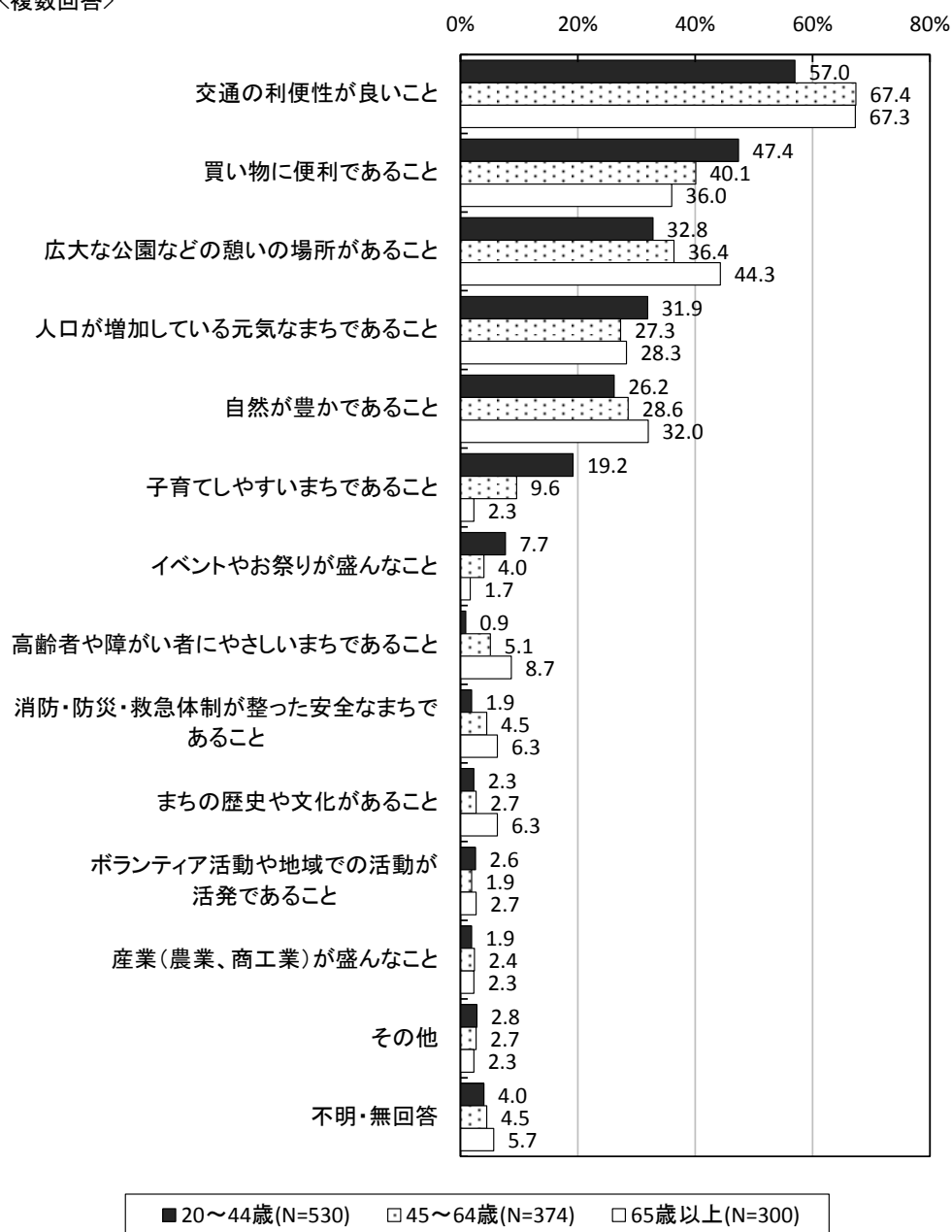
性別で見ると、男性では「交通の利便性が良いこと」「広大な公園などの憩いの場所があること」「人口が増加している元気なまちであること」等が女性と比較して高くなっています。

一方、女性では「買い物に便利であること」「自然が豊かであること」「子育てしやすいまちであること」等が男性と比較して高くなっています。

3. 粕屋町の誇りやイメージについて

【年齢別グラフ】

〈複数回答〉

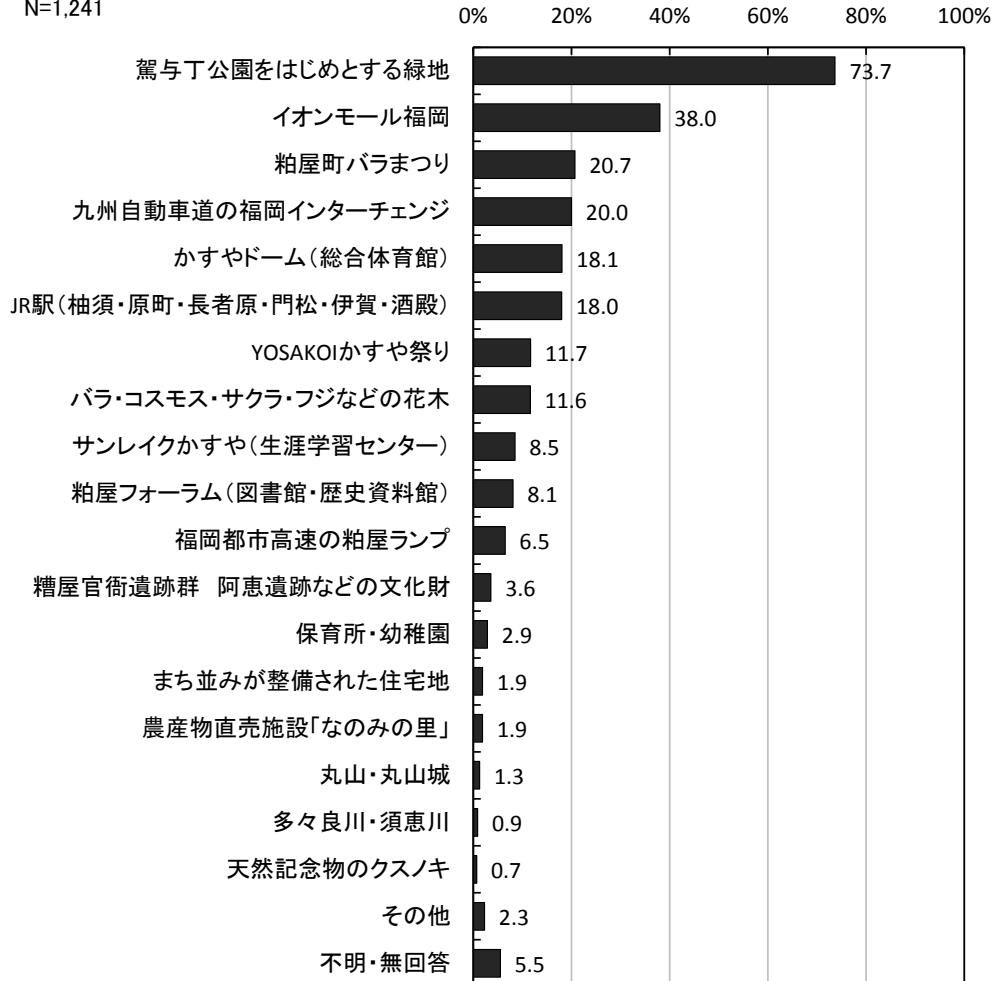


年齢別でみると、年齢が下がるほど「買い物に便利であること」「子育てしやすいまちであること」等の割合が高くなる傾向が見られます。

一方、年齢が上がるほど「交通の利便性が良いこと」「広大な公園などの憩いの場所があること」「自然が豊かであること」等の割合が高くなる傾向が見られます。

問17 「粕屋町」のイメージとして、町外の方へPRしたいものは何ですか。
(主なもの3つまでに○)

<複数回答>
N=1,241

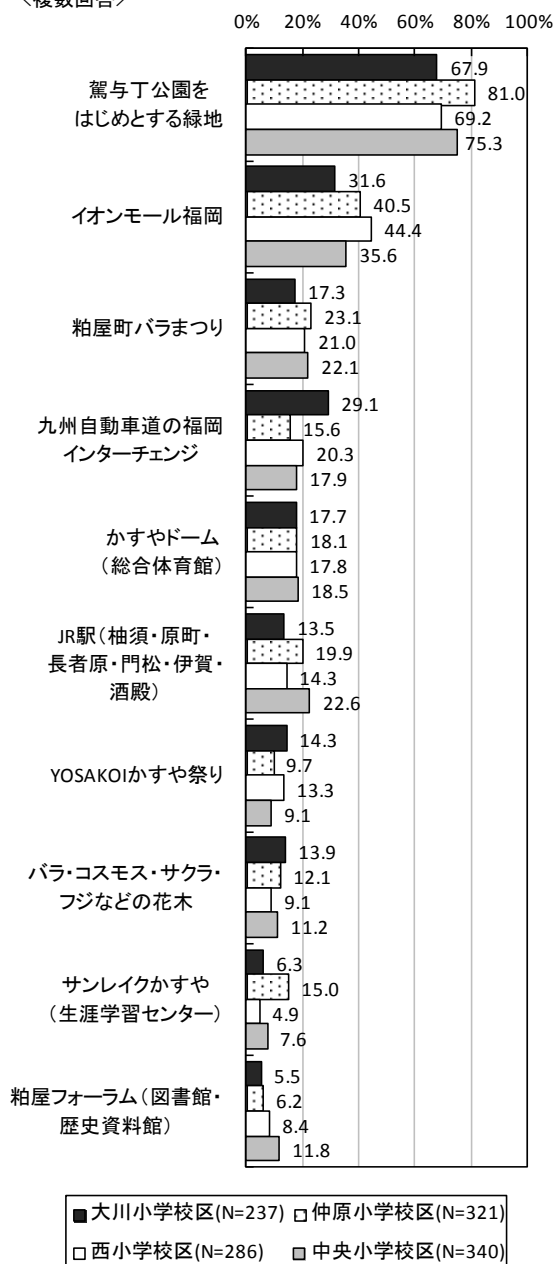


「粕屋町」のイメージとして、町外の方へPRしたいものについてみると、「駕与丁公園をはじめとする緑地」が73.7%と最も高く、次いで、「イオンモール福岡」が38.0%、「粕屋町バラまつり」が20.7%となっています。

3. 粕屋町の誇りやイメージについて

【小学校区別グラフ】

<複数回答>



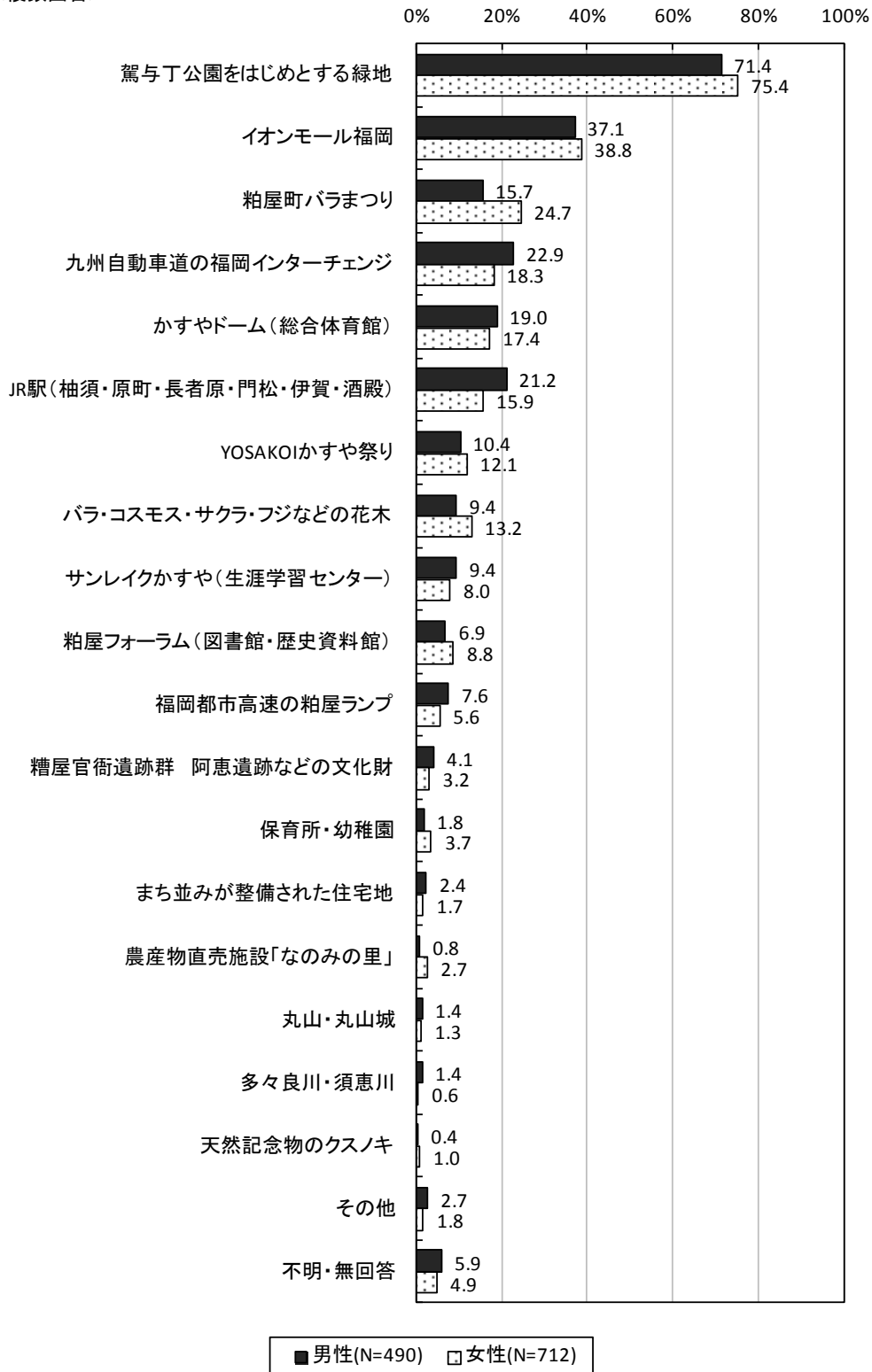
<複数回答>



小学校区別でみると、大川小学校区では「九州自動車道の福岡インターチェンジ」が、仲原小学校区では「鷲与丁公園をはじめとする緑地」「粕屋町バラまつり」が、西小学校区では「イオンモール福岡」が、中央小学校区では「JR駅(柚須・原町・長者原・門松・伊賀・酒殿)」が、それぞれ他の小学校区と比較して高くなっています。

【性別グラフ】

<複数回答>

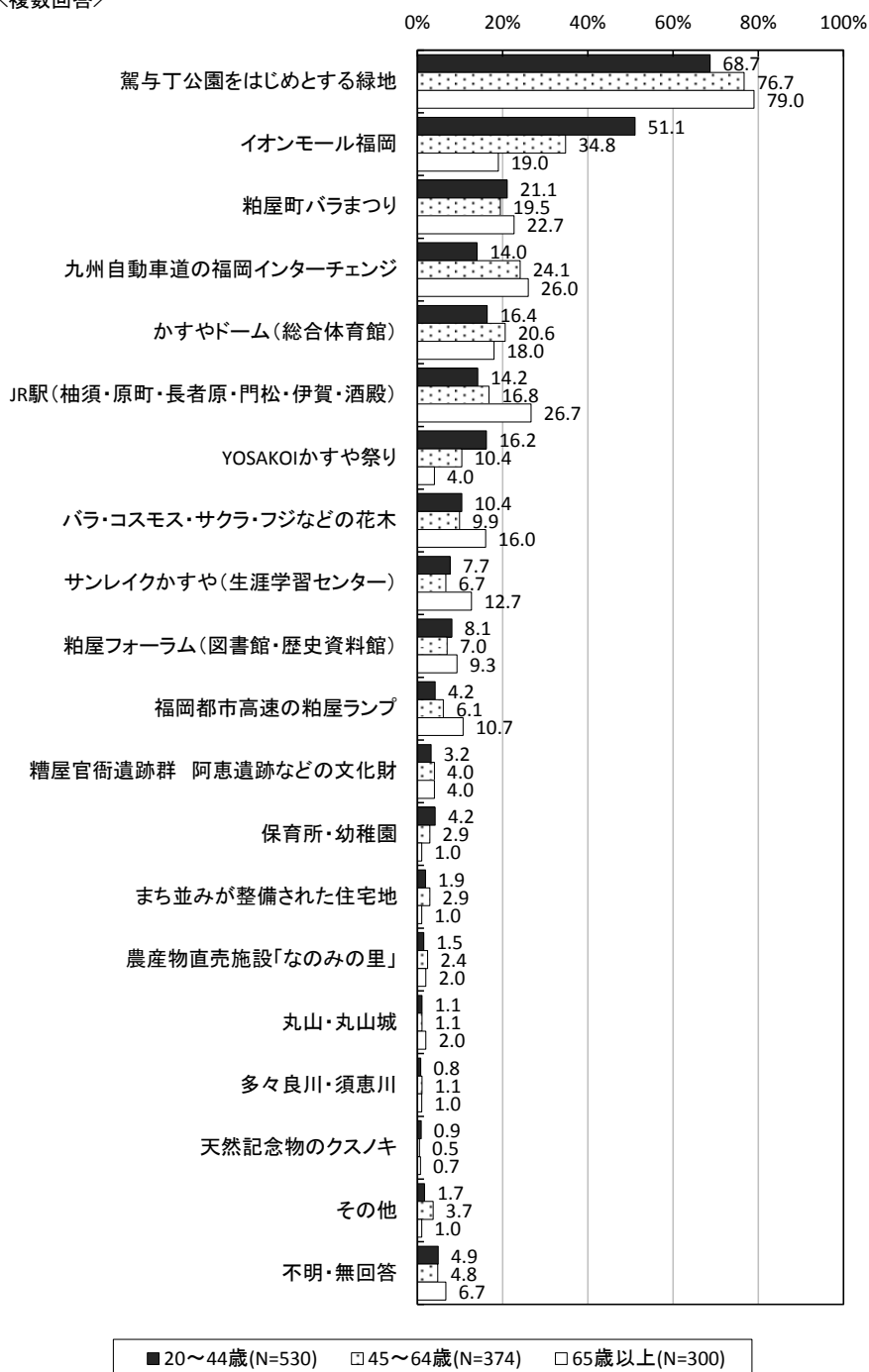


性別で見ると、男性では「JR駅（柚須・原町・長者原・門松・伊賀・酒殿）」等が女性と比較して高く、女性では「粕屋町バラまつり」等が男性と比較して高くなっています。

3. 粕屋町の誇りやイメージについて

【年齢別グラフ】

<複数回答>



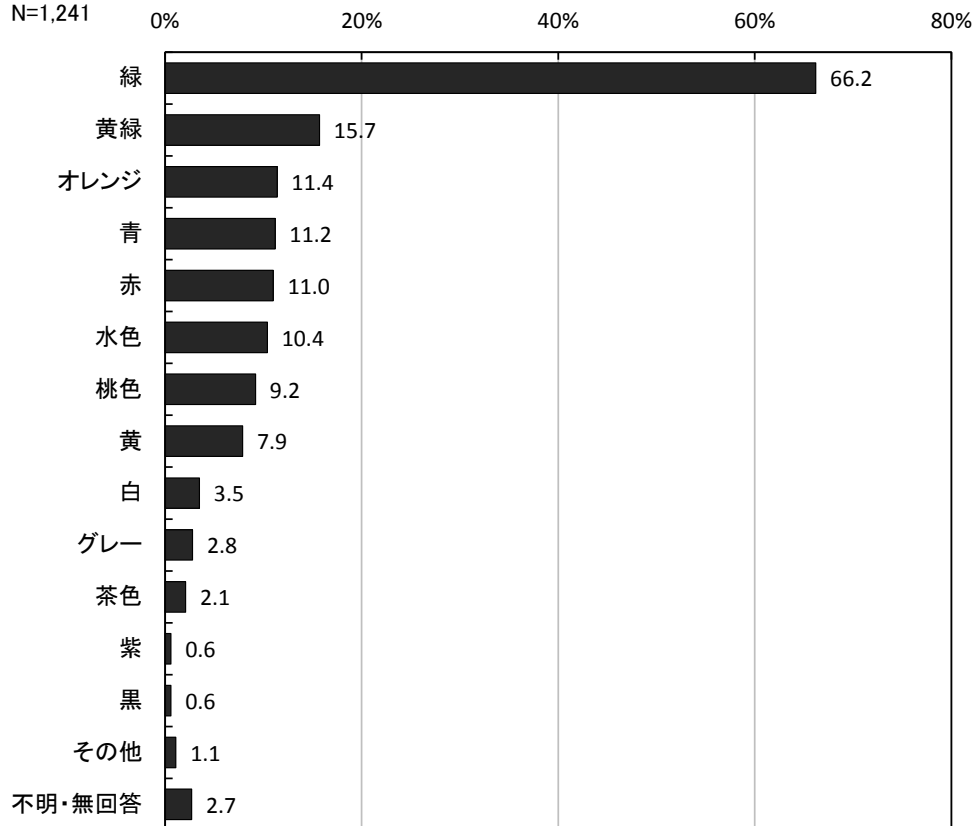
年齢別でみると、年齢が下がるほど「イオンモール福岡」の割合が高くなる傾向が見られます。

一方、年齢が上がるほど「駕与丁公園をはじめとする緑地」等の割合が高くなる傾向が見られます。

問18 「粕屋町」のイメージにあてはまる色は何色だと思いますか。(2つまでに○)

<複数回答>

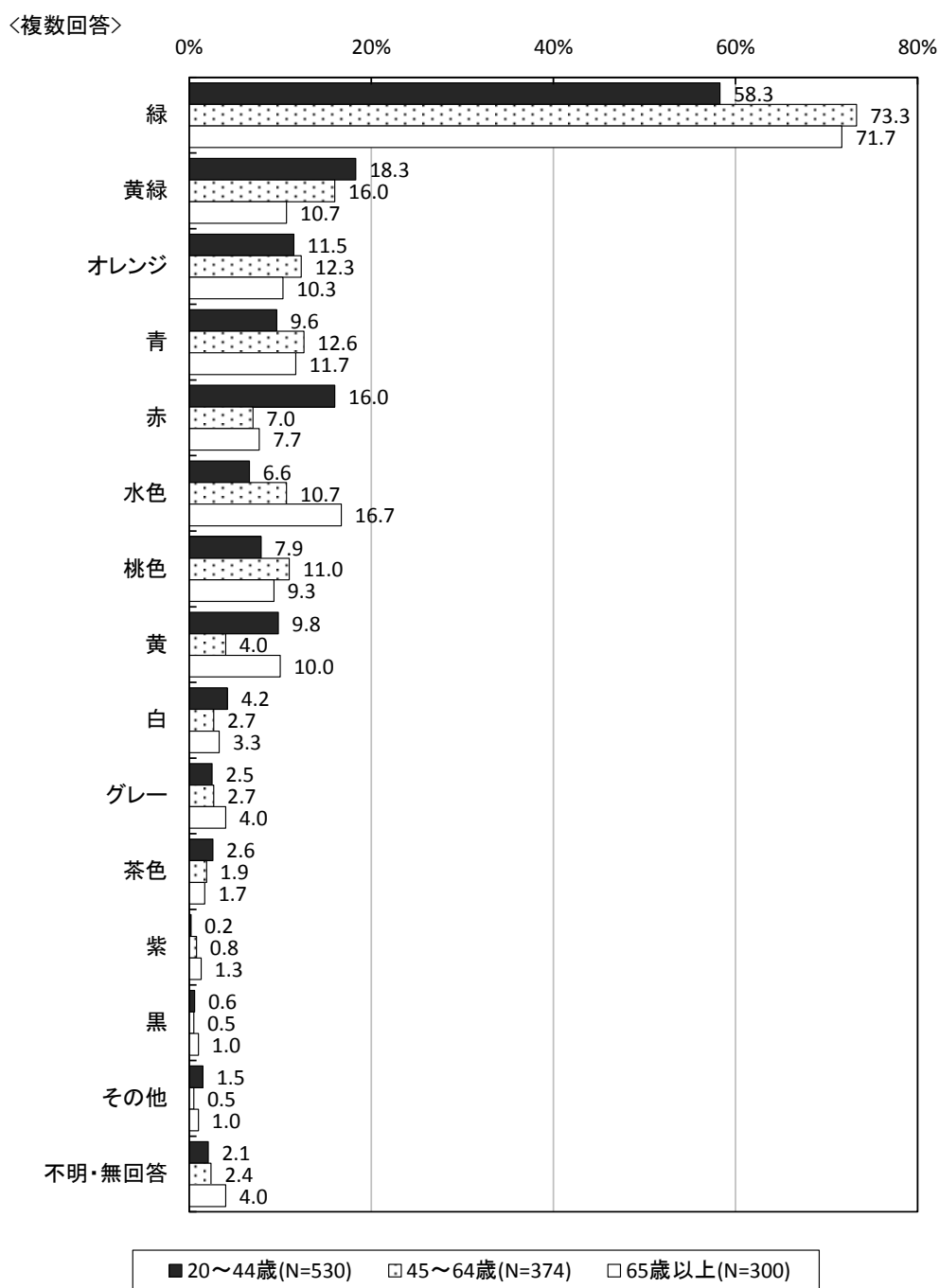
N=1,241



「粕屋町」のイメージにあてはまる色についてみると、「緑」が66.2%と最も高く、次いで、「黄緑」が15.7%、「オレンジ」が11.4%となっています。

3. 粕屋町の誇りやイメージについて

【年齢別グラフ】

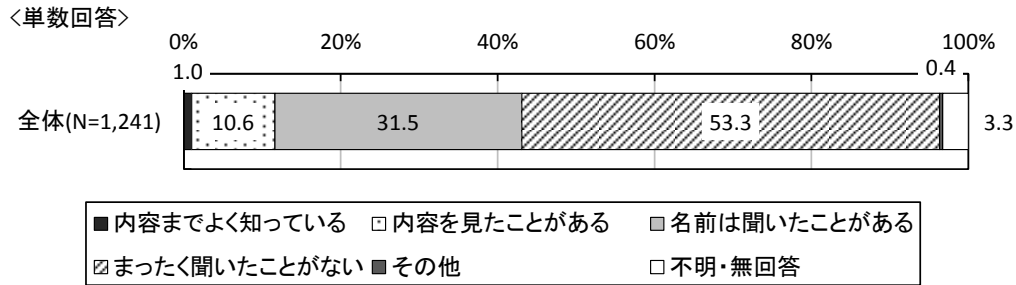


年齢別でみると、年齢が上がるほど「緑」「水色」等の割合がおおむね高くなる傾向が見られます。

一方、年齢が下がるほど「黄緑」「赤」等の割合がおおむね高くなる傾向が見られます。

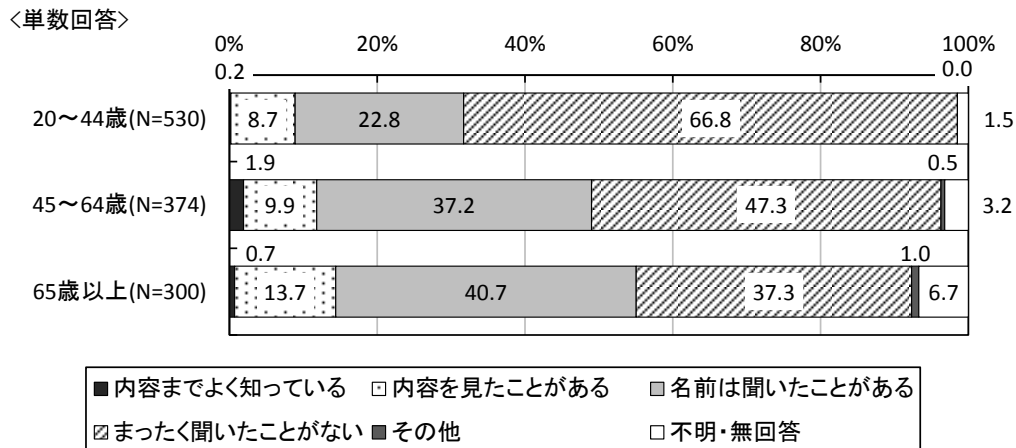
4. 今後のまちづくりの重点課題について

問19 粕屋町総合計画をご存知ですか。(1つに〇)



粕屋町総合計画を知っているかについてみると、「まったく聞いたことがない」が53.3%と最も高く、次いで、「名前は聞いたことがある」が31.5%、「内容を見たことがある」が10.6%となっています。また、「内容までよく知っている」と回答した人は1.0%と、1割未満となっており、総合計画の内容まで知っているという回答はほとんどみられませんでした。

【年齢別グラフ】



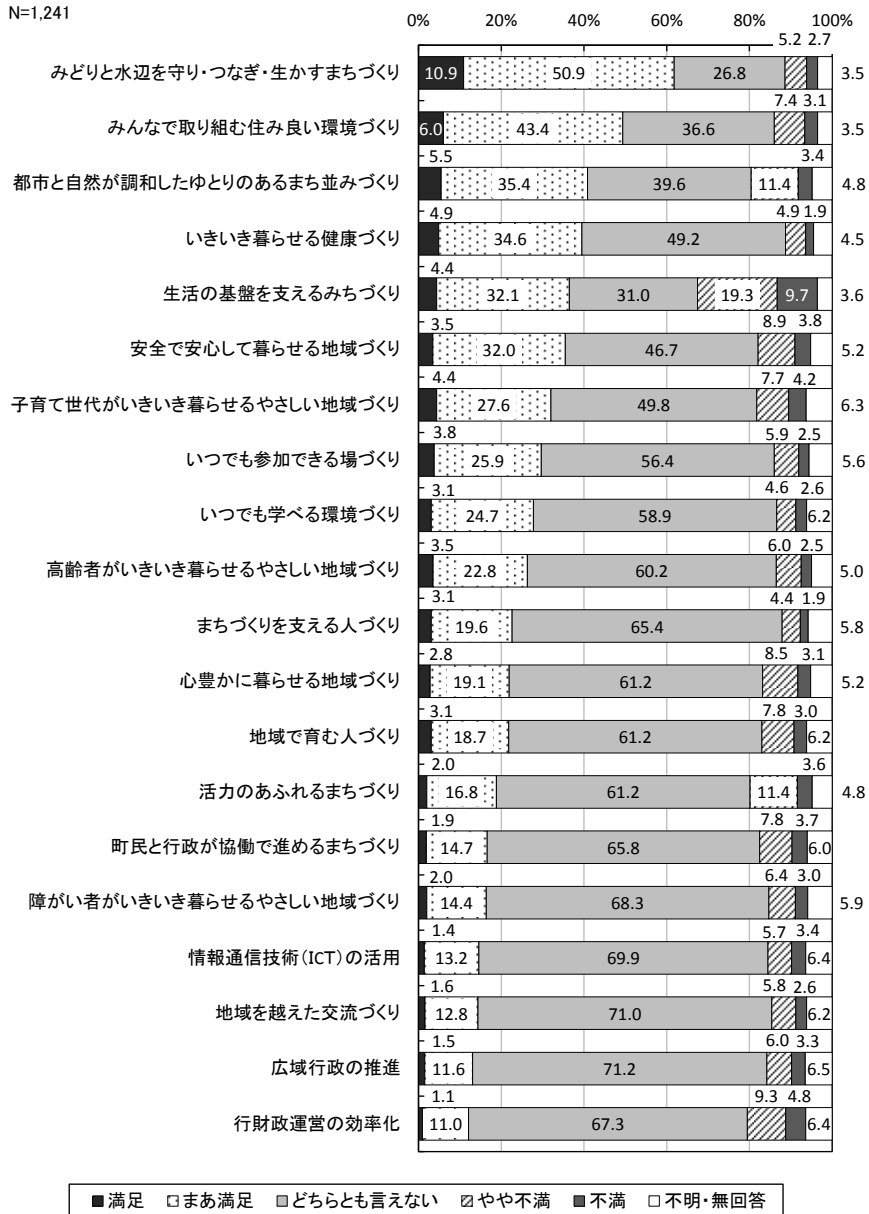
年齢別でみると、年齢が下がるほど「まったく聞いたことがない」の割合が高くなる傾向が見られます。

4. 今後のまちづくりの重点課題について

問20 粕屋町では、以下の施策について取り組んでいます。あなたのお考えに近いものを選んでください。(1～20の満足度、改善度それぞれ1つに○をつけてください)

○ 満足度：現在満足をしているか

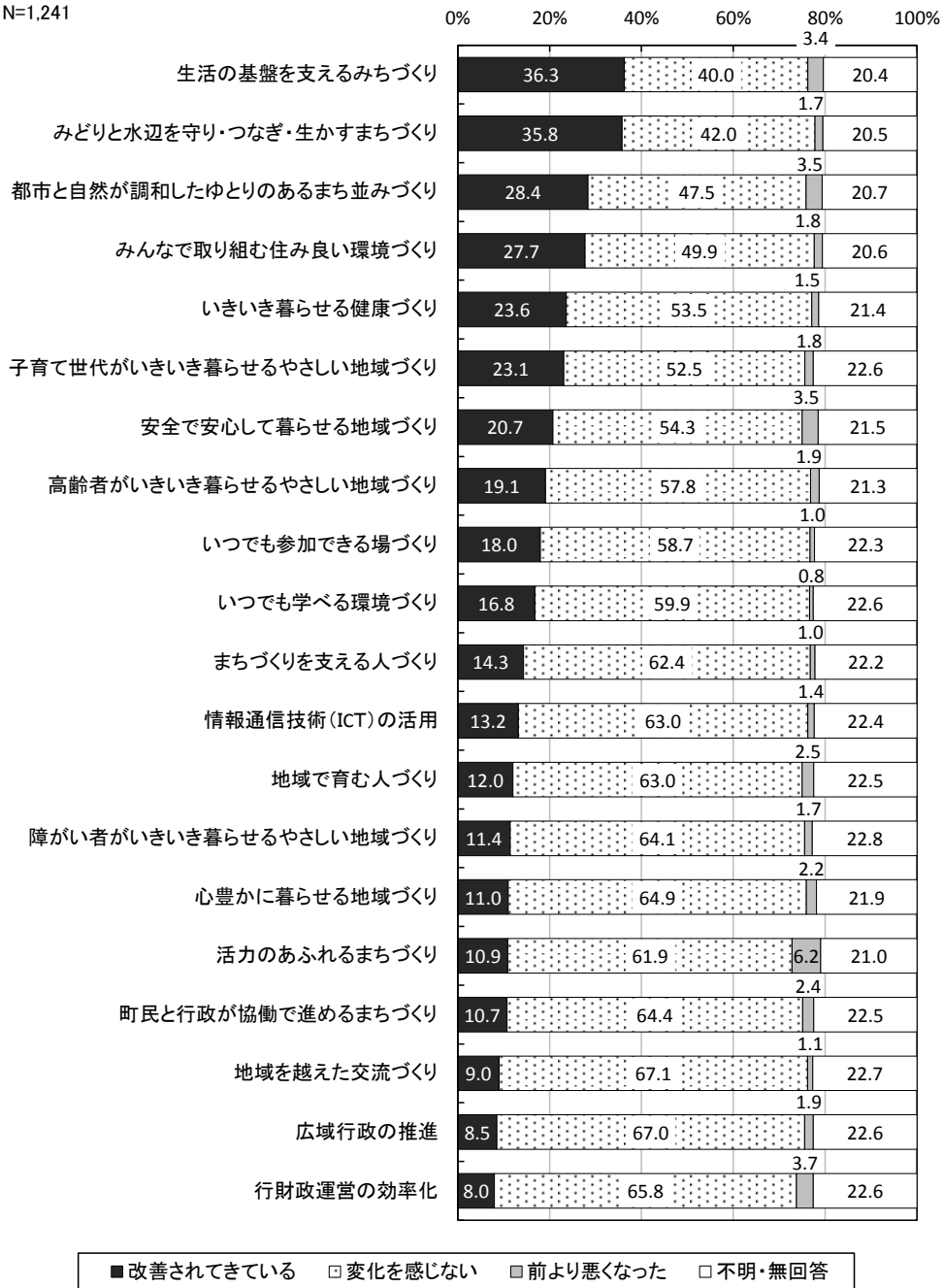
<単数回答>
N=1,241



粕屋町の施策に対する満足度についてみると、「満足」と「まあ満足」をあわせた割合が「みどりと水辺を守り・つなぎ・生かすまちづくり」で61.8%と最も高く、次いで、「みんなで取り組む住み良い環境づくり」で49.4%、「都市と自然が調和したゆとりのあるまち並みづくり」が40.9%となっています。一方、「不満」と「やや不満」をあわせた割合が「生活の基盤を支えるみちづくり」で29.0%と他の項目と比較して高くなっています。

○ 改善度：5年前と比べて改善されているか

<単数回答>
N=1,241



粕屋町の施策に対する改善度についてみると、「改善されてきている」の割合が〔生活の基盤を支えるまちづくり〕で36.3%と最も高く、次いで、〔みどりと水辺を守り・つなぎ・生かすまちづくり〕で35.8%、〔都市と自然が調和したゆとりのあるまち並みづくり〕で28.4%となっています。一方、「前より悪くなった」の割合が〔活力のあふれるまちづくり〕で6.2%と他の項目と比較してわずかに高くなっています。

4. 今後のまちづくりの重点課題について

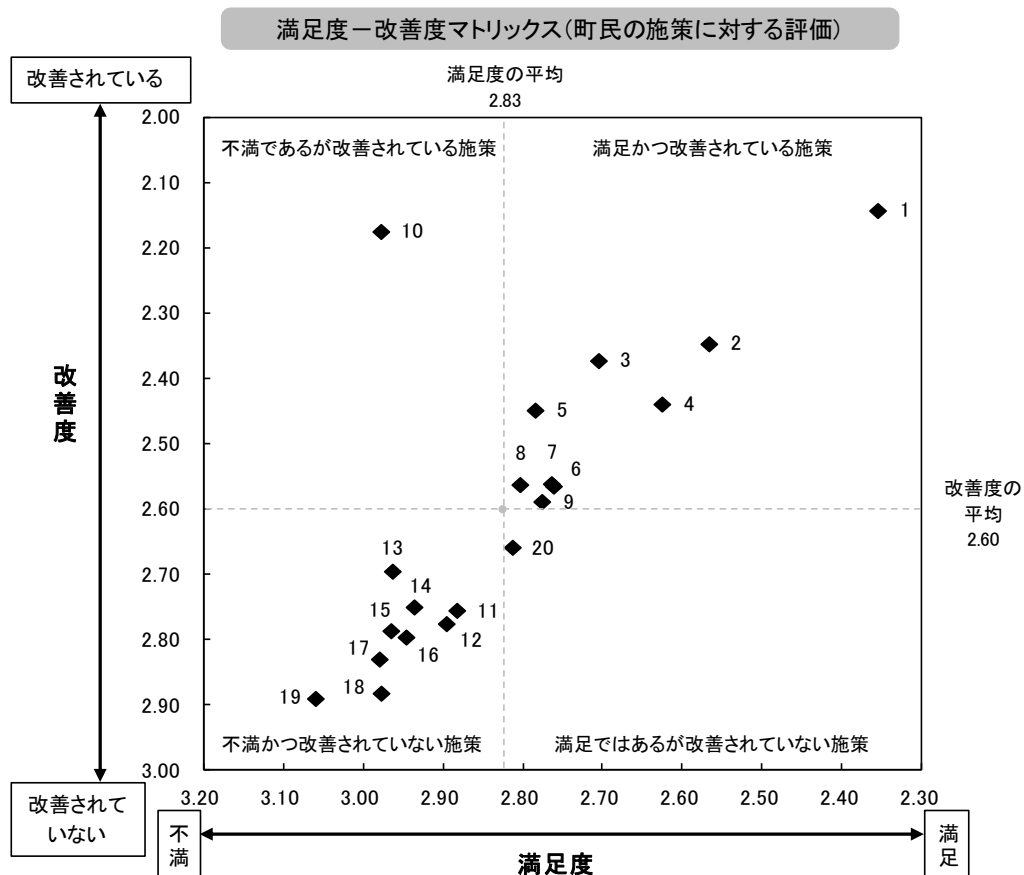
○ 満足度・改善度マトリックス

右の表に示す20の施策に対して、町民が考える「現在の満足度」と「現在の改善度」について、下記の5段階で評価する設問を設け、回答をもとに「満足度－改善度マトリックス」を作成し、分析しました。

現在の満足度	満足	まあ満足	どちらとも言えない	やや不満	不満
	1	2	3	4	5
現在の改善度	改善されてきている		変化を感じない		前より悪くなった
	1		3		5

アンケート回答から得られた「現在の満足度」の平均値2.83と「現在の改善度」の平均値2.60を基準値として、20の各施策に対する満足度・改善度の平均値を、下記のグラフ（満足度－重要度マトリックス）に点として表し、点の位置に応じて下記の通り分類しています。

基準値より満足度・改善度ともに小さい	→	満足かつ改善されている施策
基準値より満足度が小さく、改善度が大きい	→	不満であるが改善されている施策
基準値より満足度・改善度ともに大きい	→	不満かつ改善されていない施策
基準値より満足度が大きく、改善度が小さい	→	満足ではあるが改善されていない施策



※上の図中に示す番号は、施策項目の番号を示しており、右の表中の番号に対応しています。

4. 今後のまちづくりの重点課題について

施策分類	番号	施策項目
満足かつ改善されている施策	1	みどりと水辺を守り・つなぎ・生かすまちづくり(自然保護、公園・緑地)
	2	みんなで取り組む住み良い環境づくり(環境保全・ごみ、美化運動、上下水道)
	3	都市と自然が調和したゆとりのあるまち並みづくり(土地利用、都市景観)
	4	いきいき暮らせる健康づくり(健康づくり、保健)
	5	子育て世代がいきいき暮らせるやさしい地域づくり(子育て支援)
	6	いつでも参加できる場づくり(地域コミュニティ)
	7	安全で安心して暮らせる地域づくり(消防・防災、防犯・交通安全)
	8	高齢者がいきいき暮らせるやさしい地域づくり(高齢者福祉、元気高齢者)
	9	いつでも学べる環境づくり(生涯教育、地域文化)
不満であるが改善されている施策	10	生活の基盤を支えるみちづくり(道路・交通)
不満かつ改善されていない施策	11	地域で育む人づくり(学校教育、青少年教育)
	12	心豊かに暮らせる地域づくり(社会保障、平等な社会の実現)
	13	情報通信技術(ICT)の活用(情報化の推進)
	14	障がい者がいきいき暮らせるやさしい地域づくり(障がい者福祉)
	15	町民と行政が協働で進めるまちづくり(協働のまちづくりの推進)
	16	地域を越えた交流づくり(地域交流、国際交流)
	17	広域行政の推進(広域行政、広域サービス)
	18	活力のあふれるまちづくり(農業の振興、商工業の振興)
	19	行財政運営の効率化(行政運営の効率化、財政の健全化)
満足ではあるが改善されていない施策	20	まちづくりを支える人づくり(ボランティア・NPO)

『満足かつ改善されている施策』は、「みどりと水辺を守り・つなぎ・生かすまちづくり(自然保護、公園・緑地)」「みんなで取り組む住み良い環境づくり(環境保全・ごみ、美化運動、上下水道)」「都市と自然が調和したゆとりのあるまち並みづくり(土地利用、都市景観)」「いきいき暮らせる健康づくり(健康づくり、保健)」等があげられます。

『不満であるが改善されている施策』は、「生活の基盤を支えるみちづくり(道路・交通)」があげられます。

『不満かつ改善されていない施策』は、「行財政運営の効率化(行政運営の効率化、財政の健全化)」「活力のあふれるまちづくり(農業の振興、商工業の振興)」「広域行政の推進(広域行政、広域サービス)」等があげられます。

『満足ではあるが改善されていない施策』は、「まちづくりを支える人づくり(ボランティア・NPO)」があげられます。

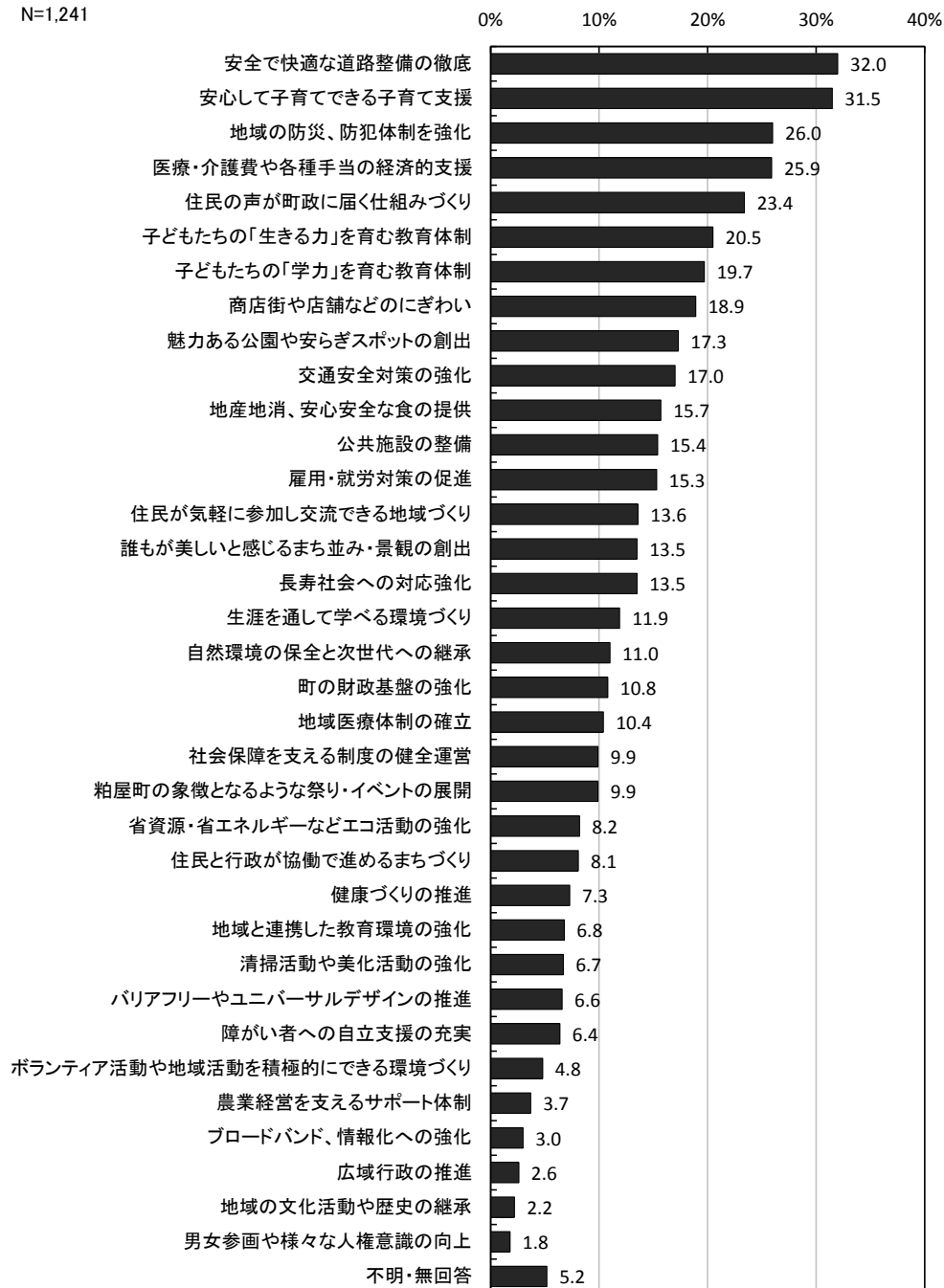
4. 今後のまちづくりの重点課題について

問21 今後のまちづくりを進めていくうえで、次に掲げる項目（1～35）のうち、**重点的に取り組む必要があると思うものを選んで番号を書いてください。**

（5つまで）

<複数回答>

N=1,241

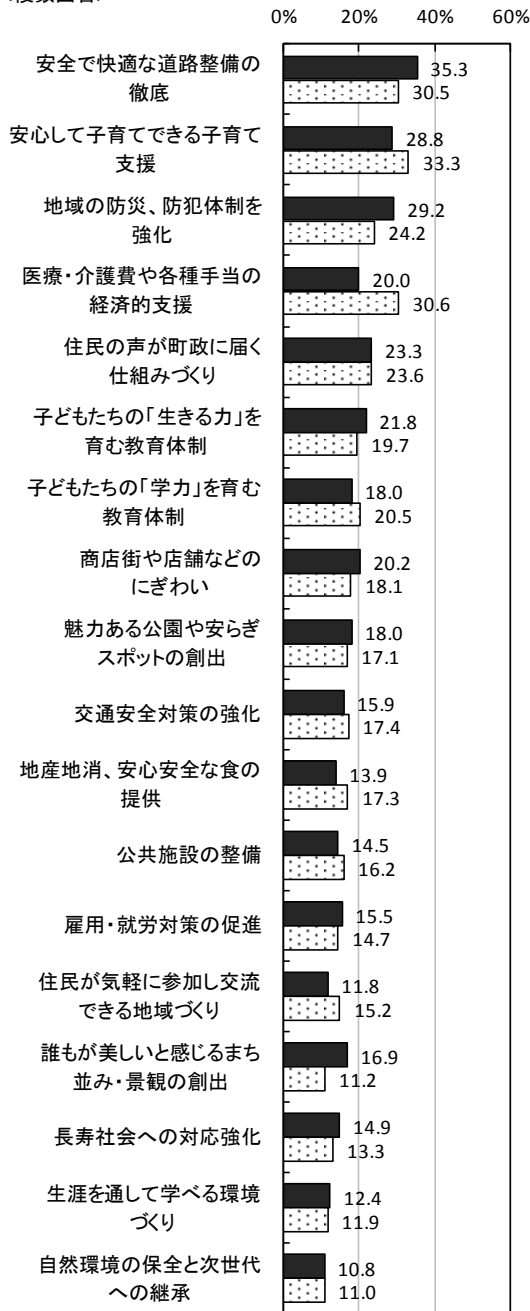


今後のまちづくりを進めていくうえで、重点的に取り組む必要があると思うものについてみると、「安全で快適な道路整備の徹底」が32.0%と最も高く、次いで、「安心して子育てできる子育て支援」が31.5%、「地域の防災、防犯体制を強化」が26.0%となっています。

4. 今後のまちづくりの重点課題について

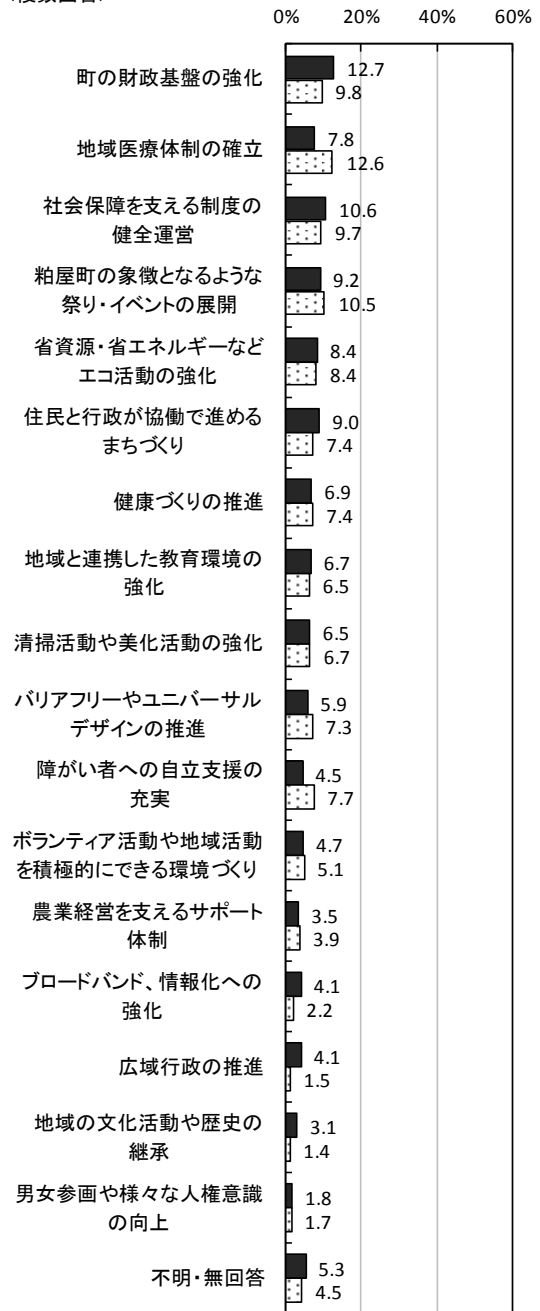
【性別グラフ】

<複数回答>



■ 男性(N=490) □ 女性(N=712)

<複数回答>



■ 男性(N=490) □ 女性(N=712)

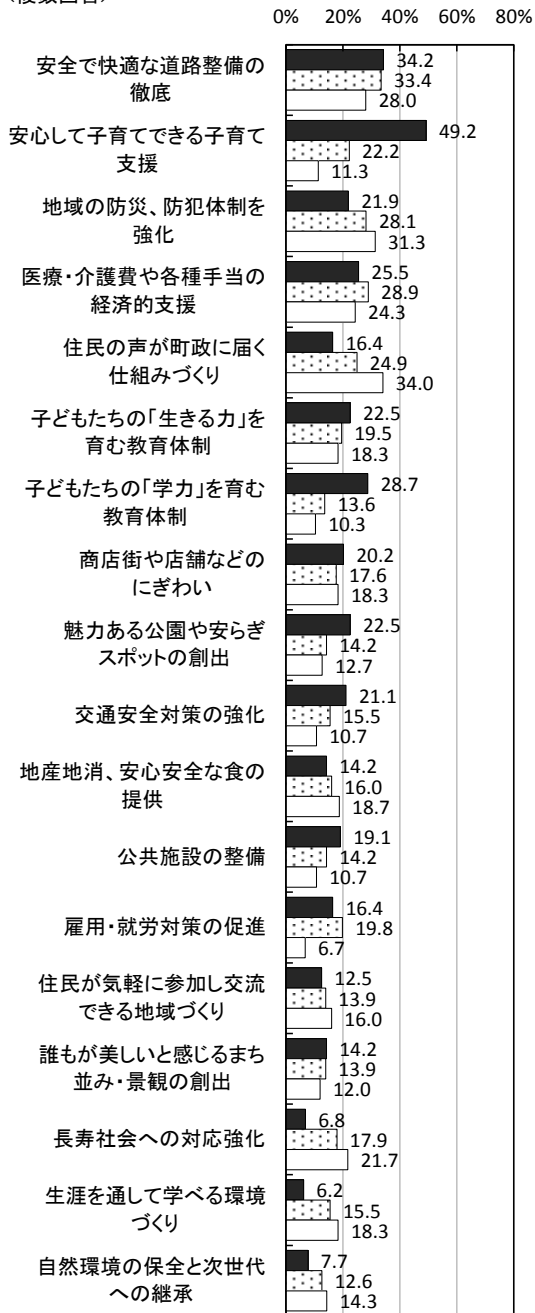
性別でみると、男性では「安全で快適な道路整備の徹底」「地域の防災、防犯体制を強化」等が女性と比較して高くなっています。

一方、女性では「安心して子育てできる子育て支援」「医療・介護費や各種手当の経済的支援」等が男性と比較して高くなっています。

4. 今後のまちづくりの重点課題について

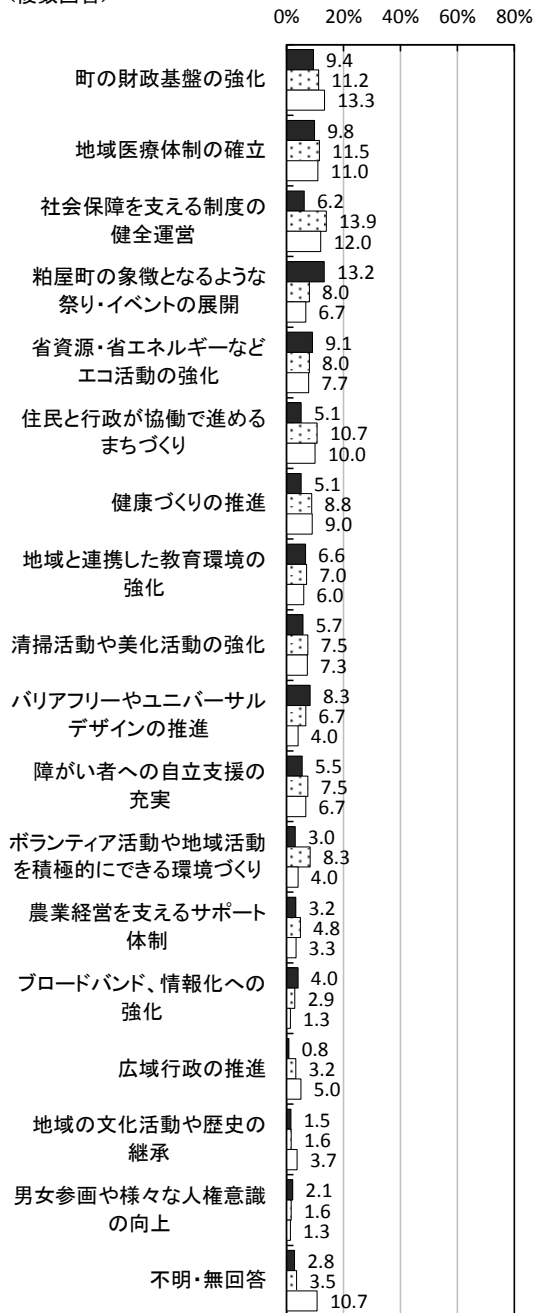
【年齢別グラフ】

〈複数回答〉



■ 20～44歳(N=530) □ 45～64歳(N=374) □ 65歳以上(N=300)

〈複数回答〉

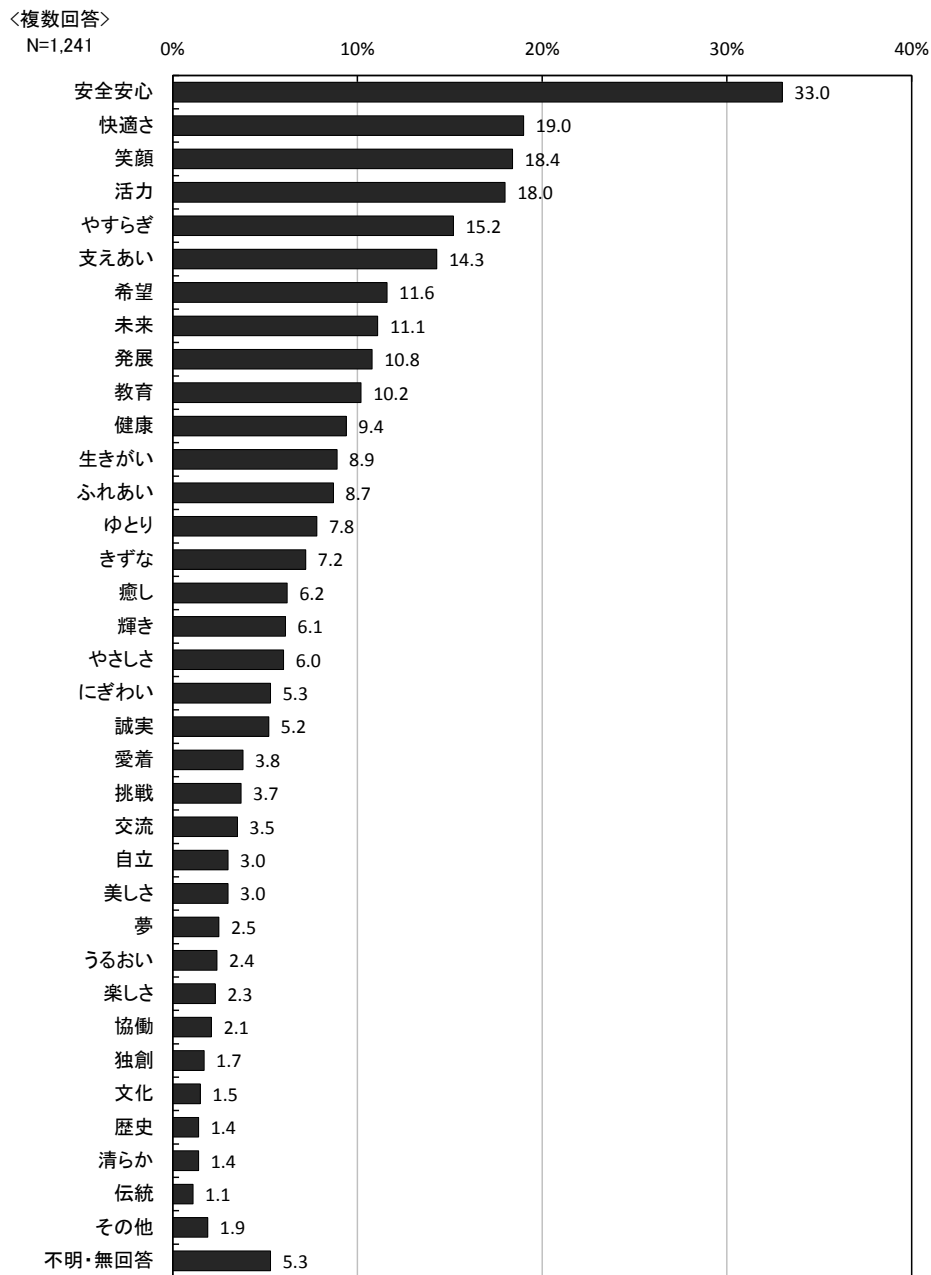


■ 20～44歳(N=530) □ 45～64歳(N=374) □ 65歳以上(N=300)

年齢別でみると、年齢が下がるほど「安全で快適な道路整備の徹底」「安心して子育てできる子育て支援」「子どもたちの「学力」を育む教育体制」等の割合が高くなる傾向が見られます。

一方、年齢が上がるほど「地域の防災、防犯体制を強化」「住民の声が行政に届く仕組みづくり」等の割合が高くなる傾向が見られます。

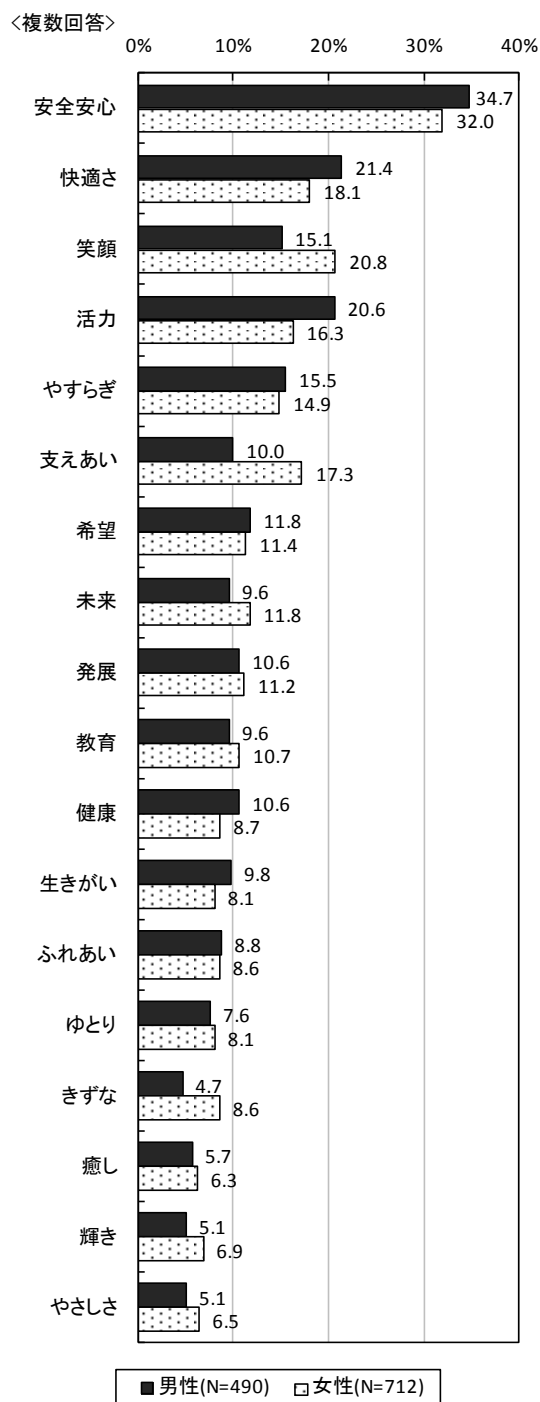
問22 今後、粕屋町がめざすべき将来像として、どのような「言葉（キーワード）」がふさわしいと思いますか。（3つまでに○）



今後、粕屋町がめざすべき将来像についてみると、「安全安心」が33.0%と最も高く、次いで、「快適さ」が19.0%、「笑顔」が18.4%となっています。

4. 今後のまちづくりの重点課題について

【性別グラフ】

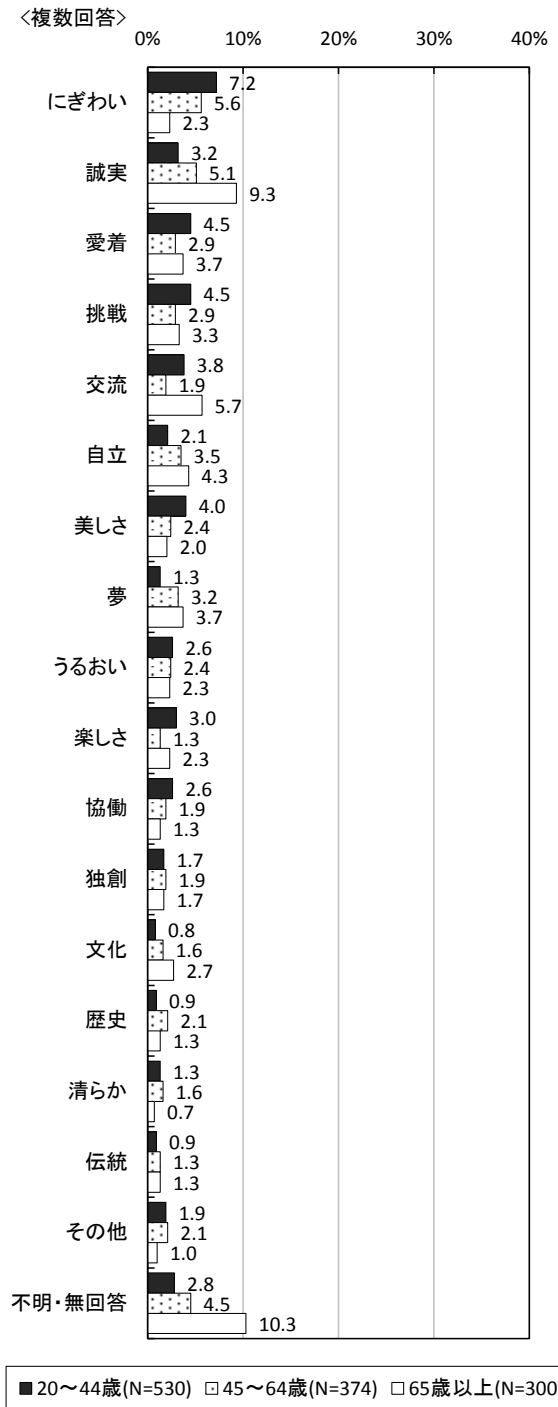
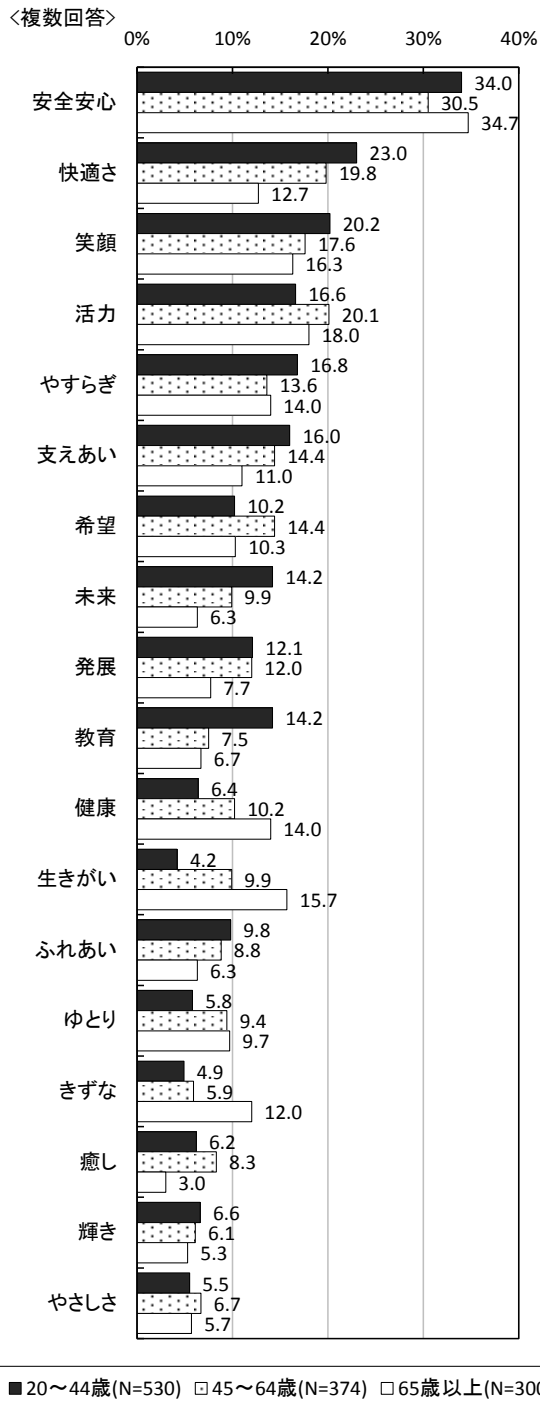


性別でみると、男性では「安全安心」「快適さ」「活力」等が女性と比較して高くなっています。

一方、女性では「笑顔」「支えあい」等が男性と比較して高くなっています。

4. 今後のまちづくりの重点課題について

【年齢別グラフ】

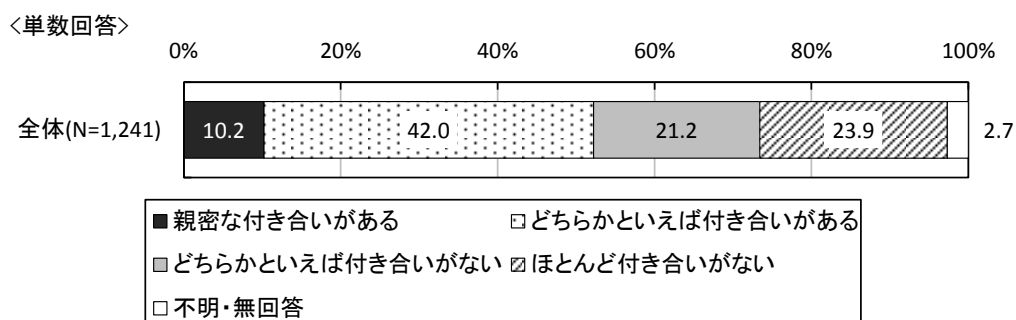


年齢別でみると、年齢が下がるほど「快適さ」「笑顔」「支えあい」等の割合が高くなる傾向が見られます。

一方、年齢が上がるほど「健康」「生きがい」等の割合が高くなる傾向が見られます。

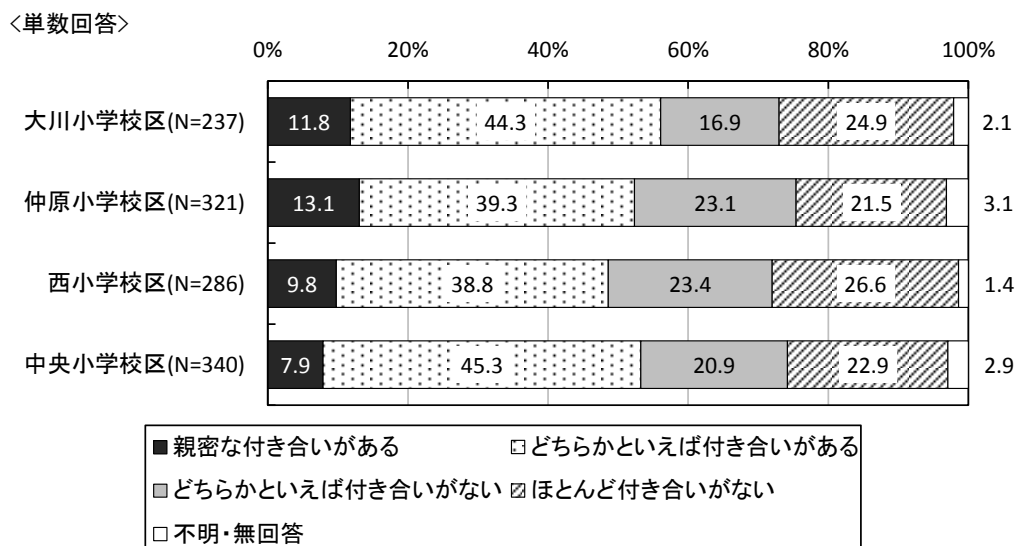
5. 協働のまちづくりについて

問23 隣近所とはどの程度のお付き合いをされていますか。(1つに〇)



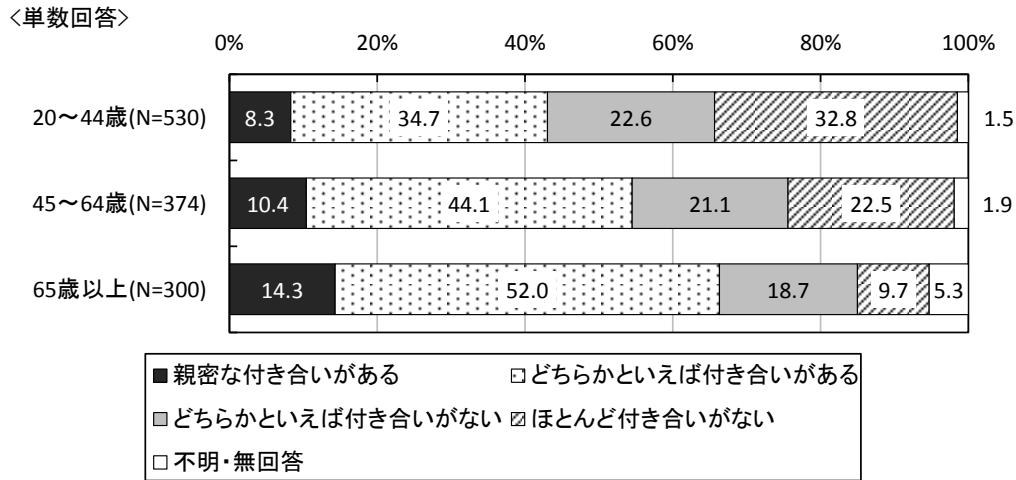
隣近所との付き合いの程度についてみると、「どちらかといえば付き合いがある」が42.0%と最も高く、次いで、「ほとんど付き合いがない」が23.9%、「どちらかといえば付き合いがない」が21.2%となっています。

【小学校区別グラフ】



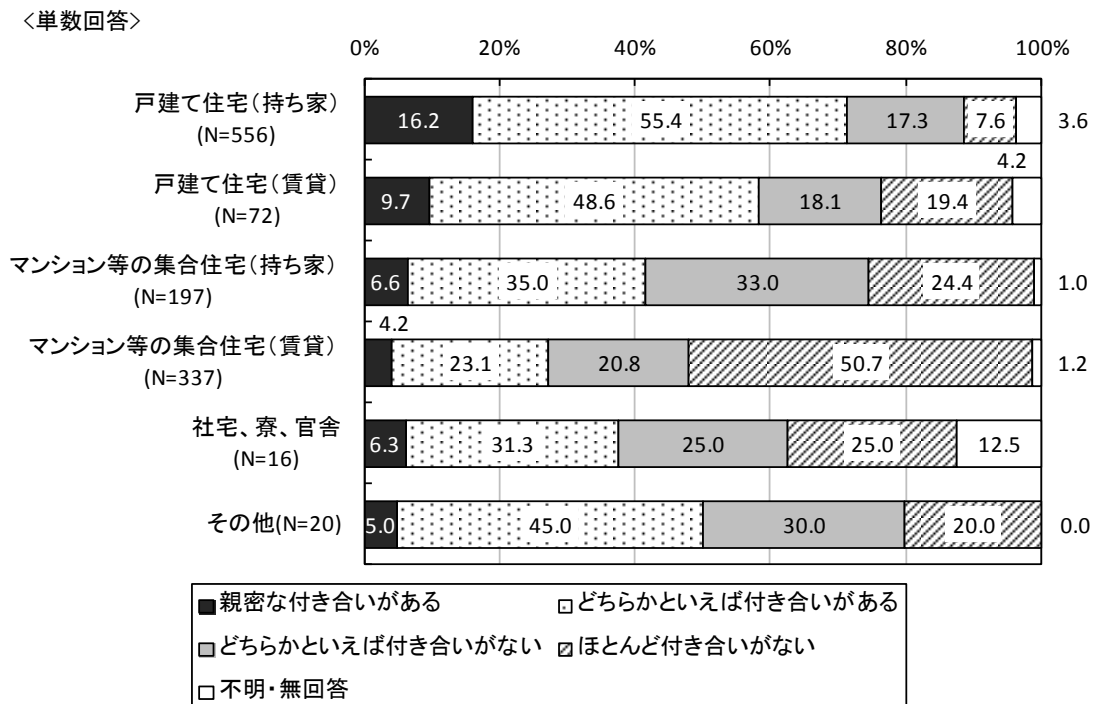
小学校区別でみると、西小学校区では「ほとんど付き合いがない」「どちらかといえば付き合いがない」が他の小学校区と比較して高くなっています。

【年齢別グラフ】



年齢別でみると、年齢が上がるほど「親密な付き合いがある」「どちらかといえば付き合いがある」の割合が高くなる傾向が見られます。

【住居別グラフ】



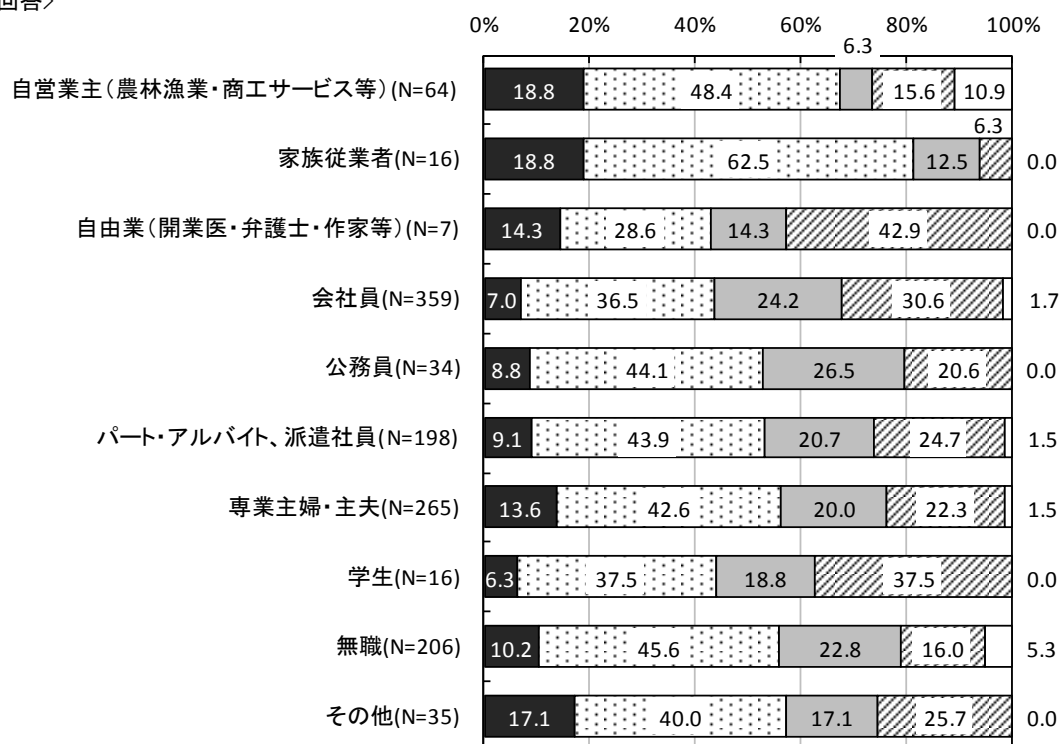
住居別でみると、戸建て住宅（持ち家）では「親密な付き合いがある」「どちらかといえば付き合いがある」が他の住居と比較して高くなっています。

一方、マンション等の集合住宅（賃貸）では「ほとんど付き合いがない」が他の住居と比較して高くなっています。

5. 協働のまちづくりについて

【職業別グラフ】

<単数回答>

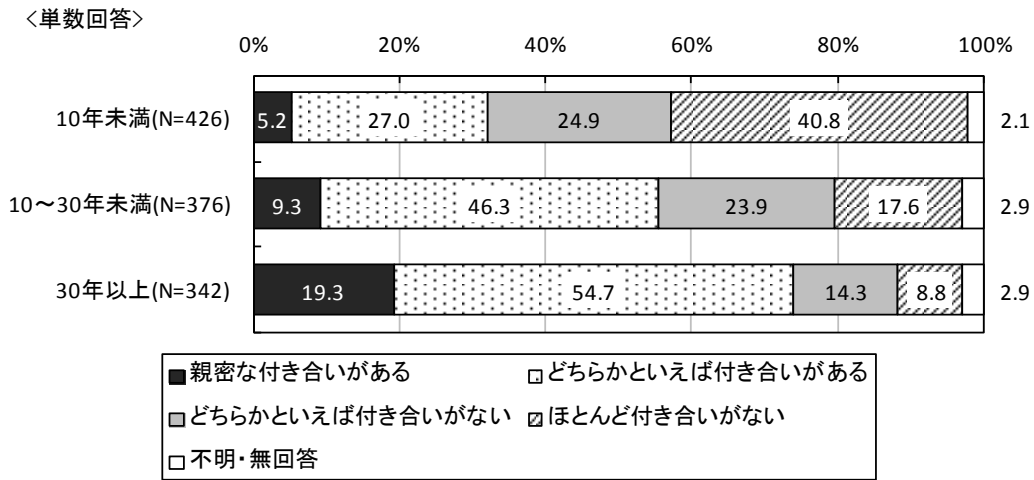


- | | |
|-------------------|-------------------|
| ■ 親密な付き合いがある | □ どちらかといえば付き合いがある |
| □ どちらかといえば付き合いがない | ▨ ほとんど付き合いがない |
| □ 不明・無回答 | |

職業別でみると、自営業主（農林漁業・商工サービス業）、家族従事者では「親密な付き合いがある」が他の職業と比較して高くなっています。

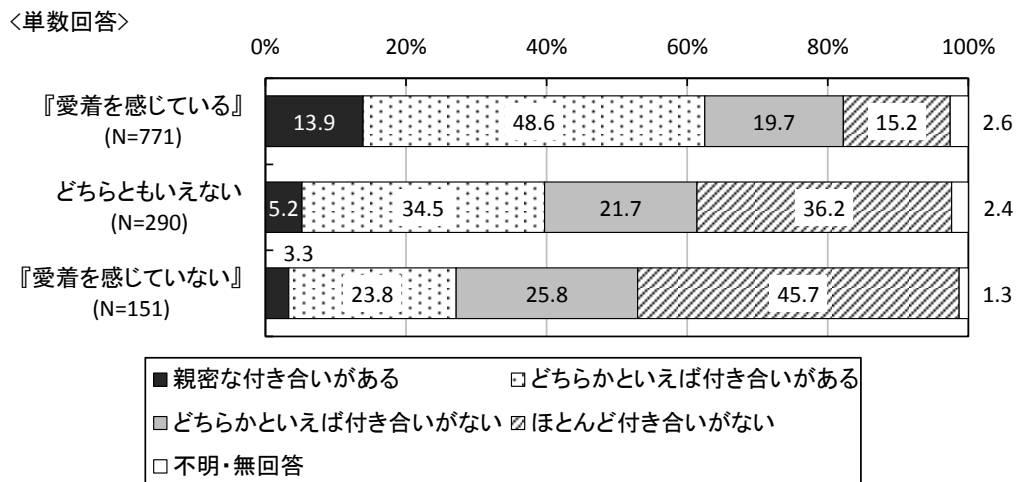
一方、会社員、学生、自由業（開業医・弁護士・作家等）では「ほとんど付き合いがない」が他の職業と比較して高くなっています。

【居住年数別グラフ】



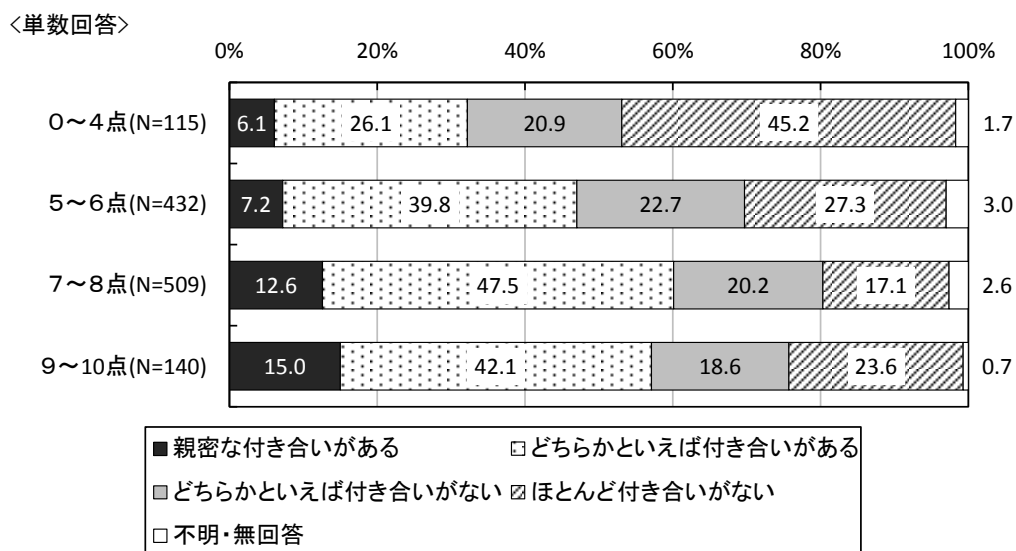
居住年数別でみると、年数が上がるほど「親密な付き合いがある」「どちらかといえば付き合いがある」の割合が高くなる傾向が見られます。

【町への愛着度別グラフ】



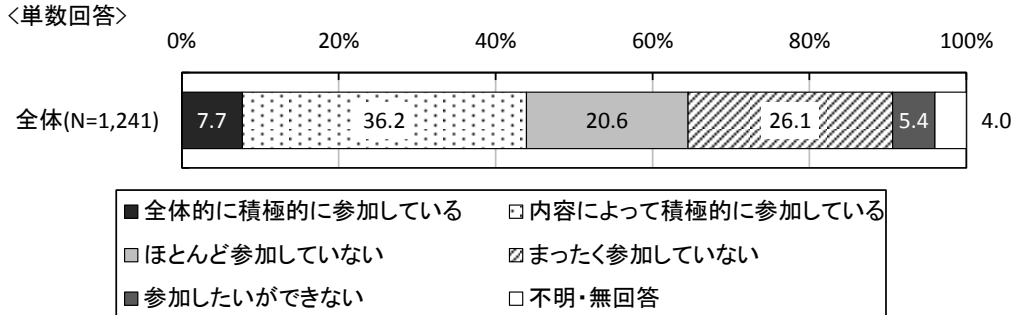
町への愛着度別でみると、粕屋町に愛着を感じている人ほど「親密な付き合いがある」「どちらかといえば付き合いがある」の割合が高くなる傾向が見られます。

【幸福度別グラフ】



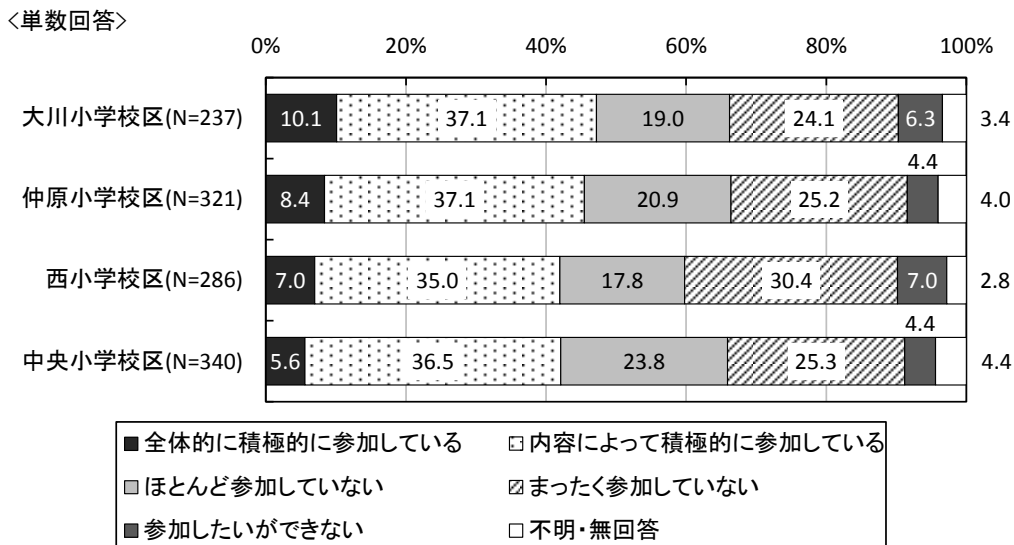
幸福度別でみると、点数が上がるほど「親密な付き合いがある」「どちらかといえば付き合いがある」の割合がおおむね高くなる傾向が見られます。

問24 町内や地区、グループなどで行われているコミュニティ活動（地域活動）は、これからのまちづくりを進めるうえで、大きな原動力となるものです。あなたは、コミュニティ活動（地域活動）にどの程度参加していますか。（1つに○）



コミュニティ活動（地域活動）への参加状況についてみると、「内容によって積極的に参加している」が36.2%と最も高く、次いで、「まったく参加していない」が26.1%、「ほとんど参加していない」が20.6%となっています。

【小学校区別グラフ】

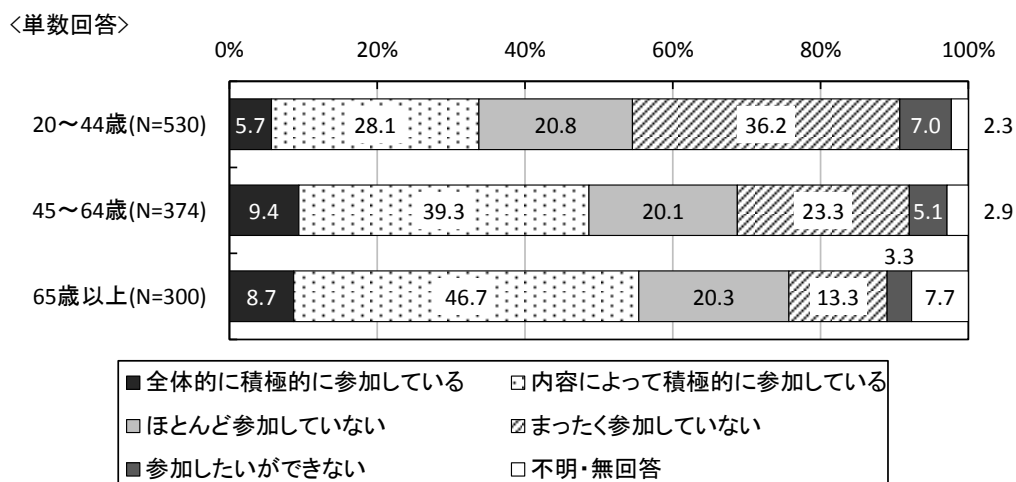


小学校区別でみると、大川小学校区では「全体的に積極的に参加している」「内容によって積極的に参加している」が他の小学校区と比較して高くなっています。

一方、西小学校区では「まったく参加していない」が他の小学校区と比較して高くなっています。

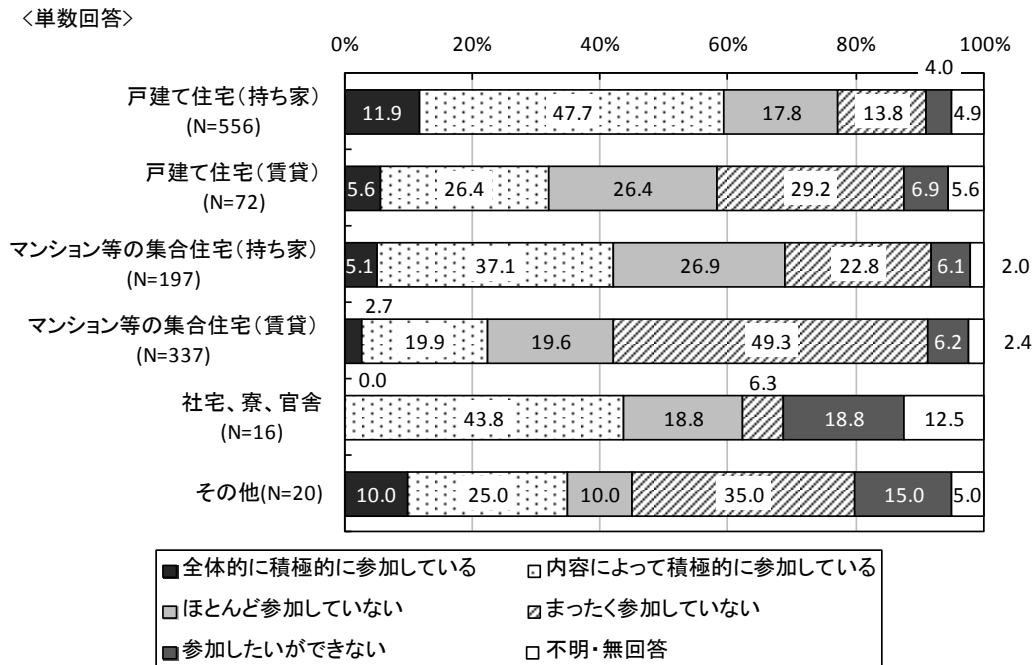
5. 協働のまちづくりについて

【年齢別グラフ】



年齢別でみると、年齢が上がるほど「内容によって積極的に参加している」の割合が高くなる傾向が見られます。

【住居別グラフ】

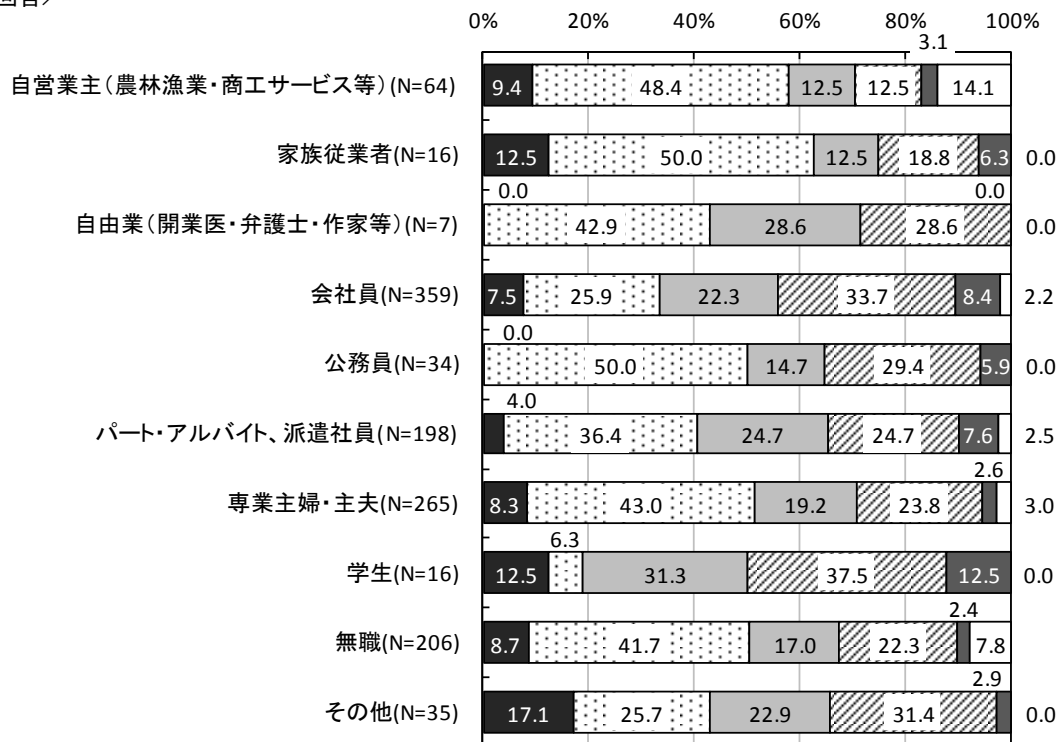


住居別でみると、戸建て住宅(持ち家)では「全体的に積極的に参加している」「内容によって積極的に参加している」が他の住居と比較して高くなっています。

一方、マンション等の集合住宅(賃貸)では「まったく参加していない」が他の住居と比較して高くなっています。

【職業別グラフ】

<単数回答>

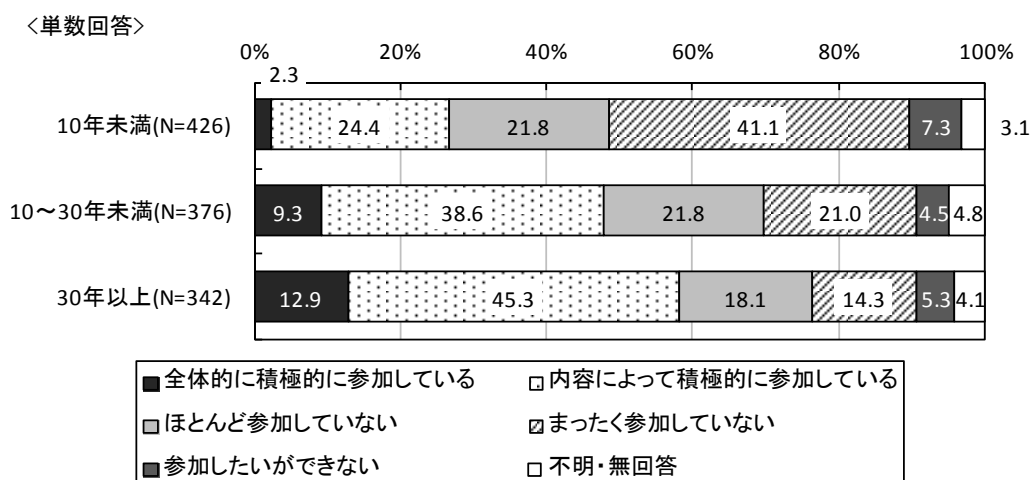


- 全体的に積極的に参加している
- 内容によって積極的に参加している
- ほとんど参加していない
- ▨ まったく参加していない
- 参加したいができない
- 不明・無回答

職業別でみると、会社員、学生では「ほとんど参加していない」「まったく参加していない」が他の職業と比較して高くなっています。

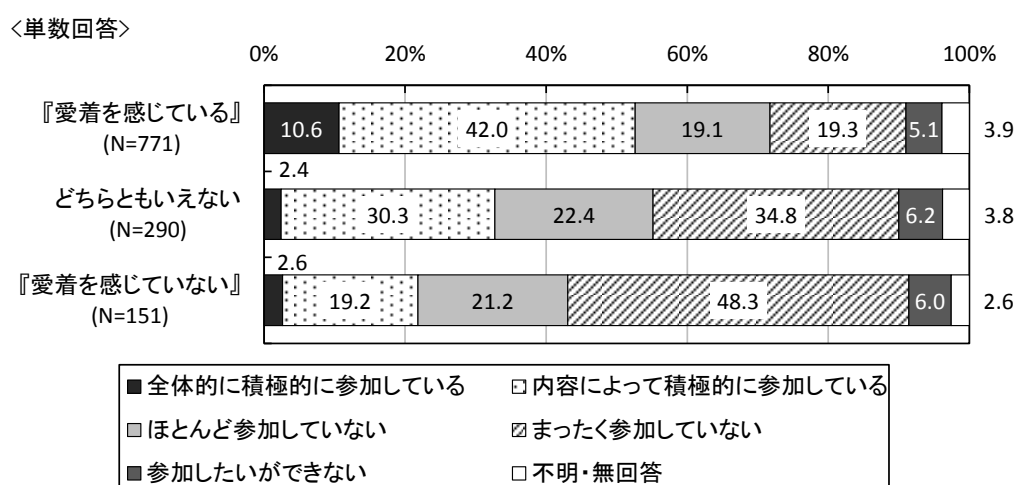
5. 協働のまちづくりについて

【居住年数別グラフ】



居住年数別で見ると、年数が増えるほど「全体的に積極的に参加している」「内容によって積極的に参加している」の割合が高くなる傾向が見られます。

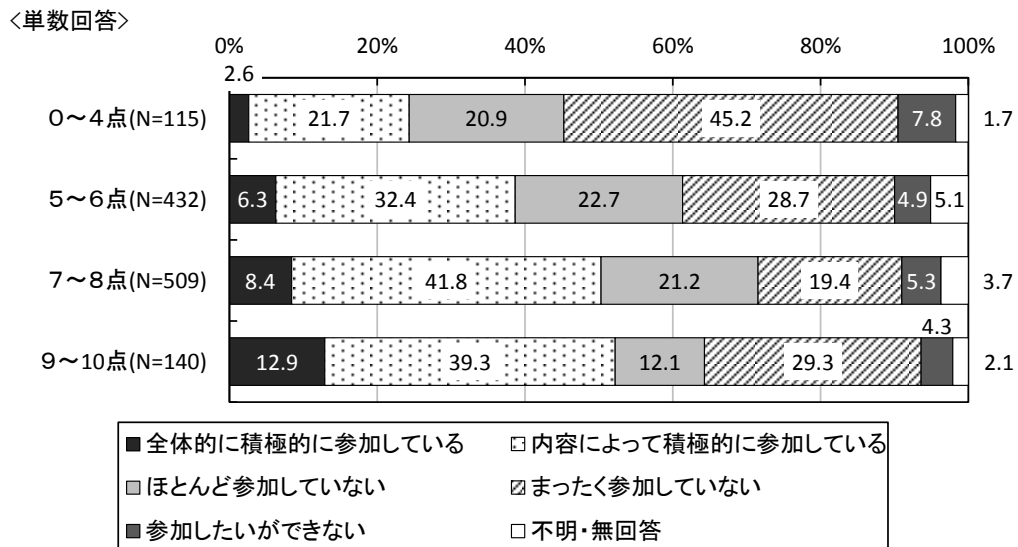
【町への愛着度別グラフ】



町への愛着度別で見ると、粕屋町に愛着を感じていない人ほど「まったく参加していない」の割合が高くなる傾向が見られます。

一方、粕屋町に愛着を感じている人ほど「全体的に積極的に参加している」「内容によって積極的に参加している」の割合がおおむね高くなる傾向が見られます。

【幸福度別グラフ】



幸福度別でみると、点数が上がるほど「全体的に積極的に参加している」「内容によって積極的に参加している」の割合がおおむね高くなる傾向が見られます。

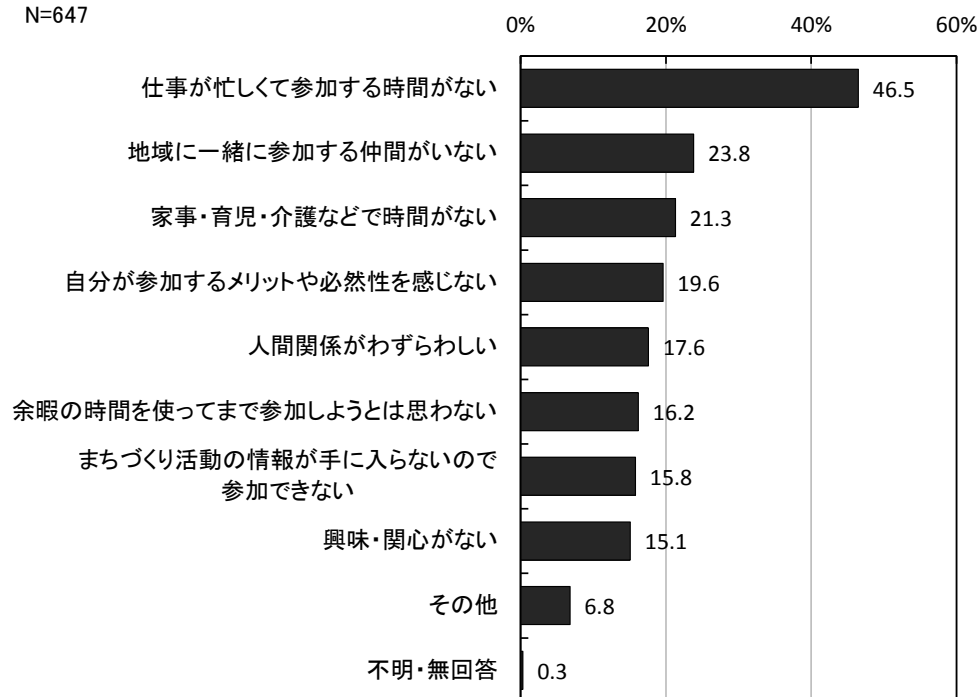
5. 協働のまちづくりについて

(問24で「3. ほとんど参加していない」「4. まったく参加していない」「5. 参加したいができない」と回答した方のみ)

問25 まちづくり活動への参加を妨げる要因はどのようなことだと思いますか。
(あてはまるものすべてに○)

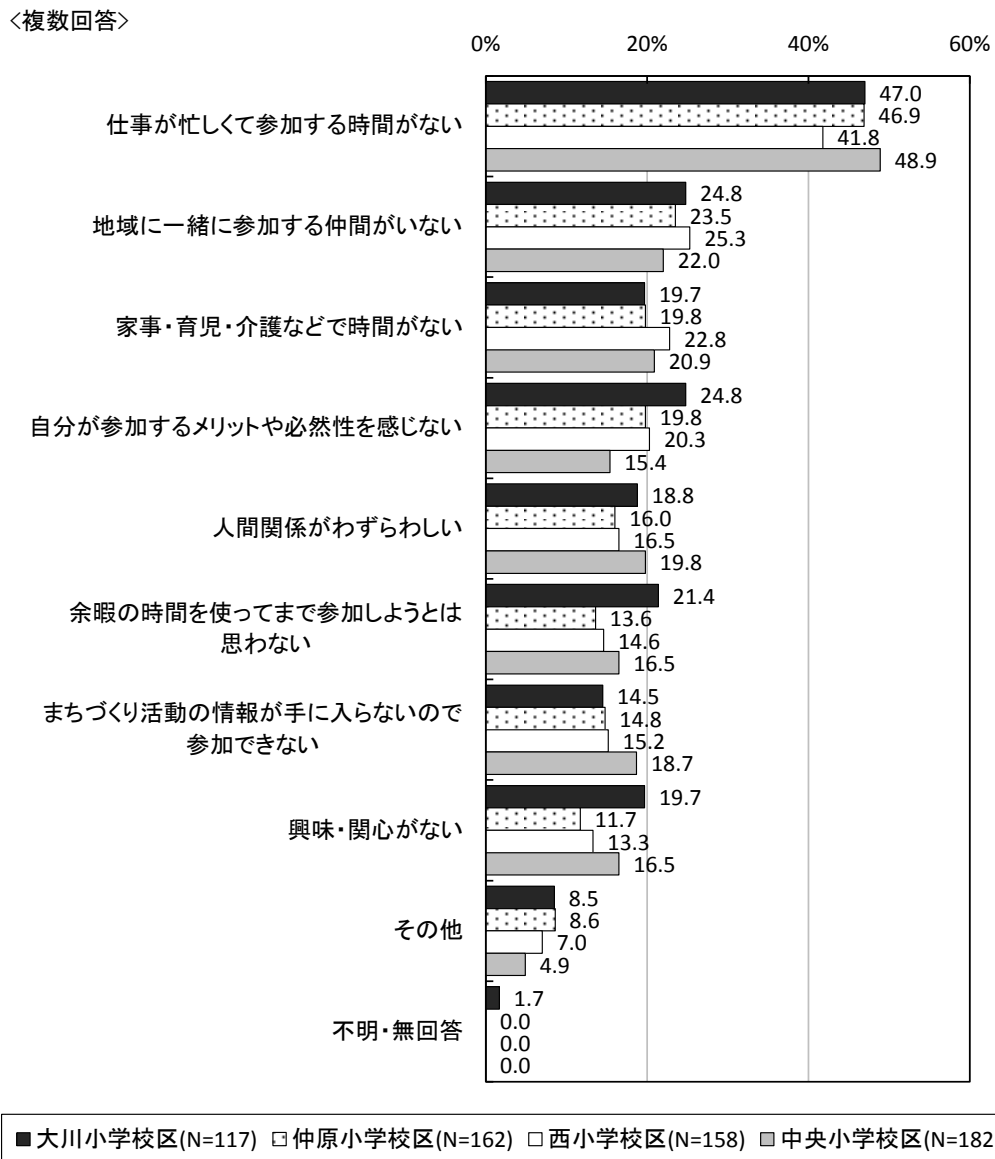
<複数回答>

N=647



まちづくり活動への参加を妨げる要因についてみると、「仕事が忙しくて参加する時間がない」が46.5%と最も高く、次いで、「地域と一緒に参加する仲間がない」が23.8%、「家事・育児・介護などで時間がない」が21.3%となっています。

【小学校区別グラフ】

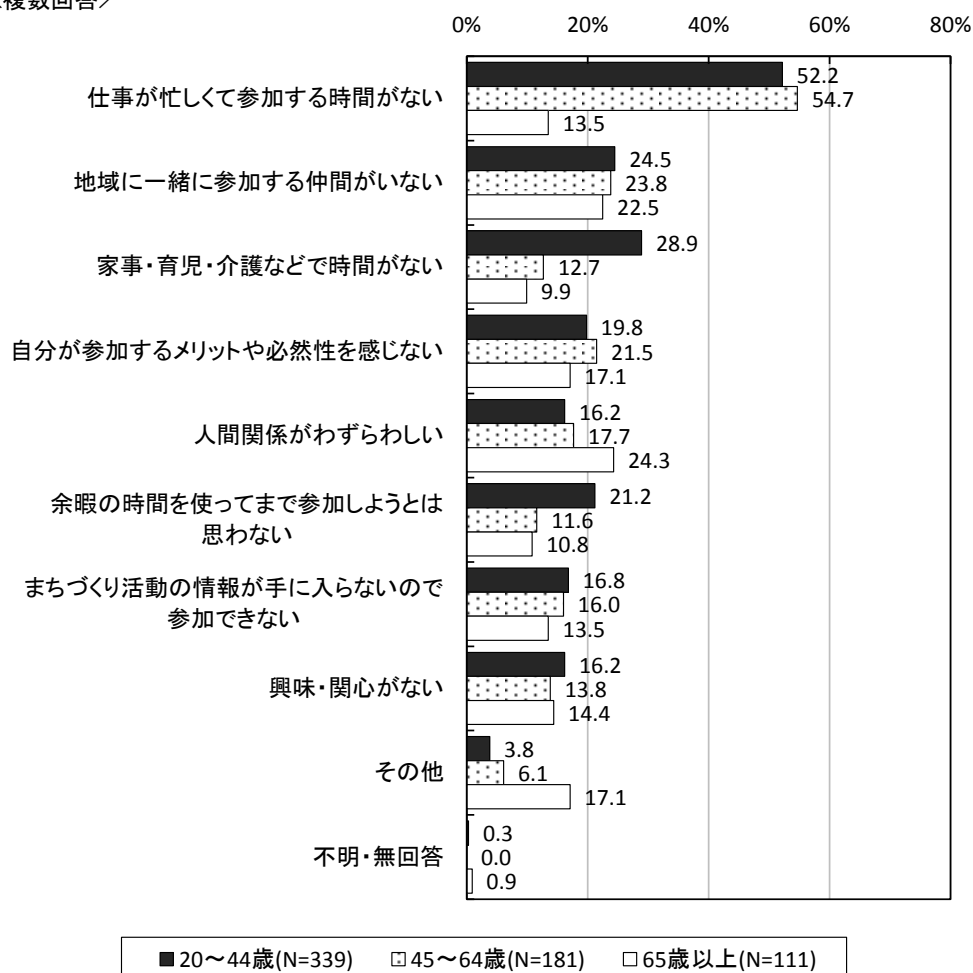


小学校区別でみると、大川小学校区では「自分が参加するメリットや必然性を感じない」「余暇の時間を使ってまで参加しようとは思わない」等が他の小学校区と比較して高くなっています。

5. 協働のまちづくりについて

【年齢別グラフ】

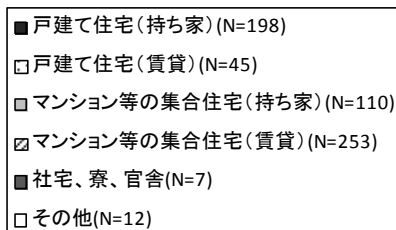
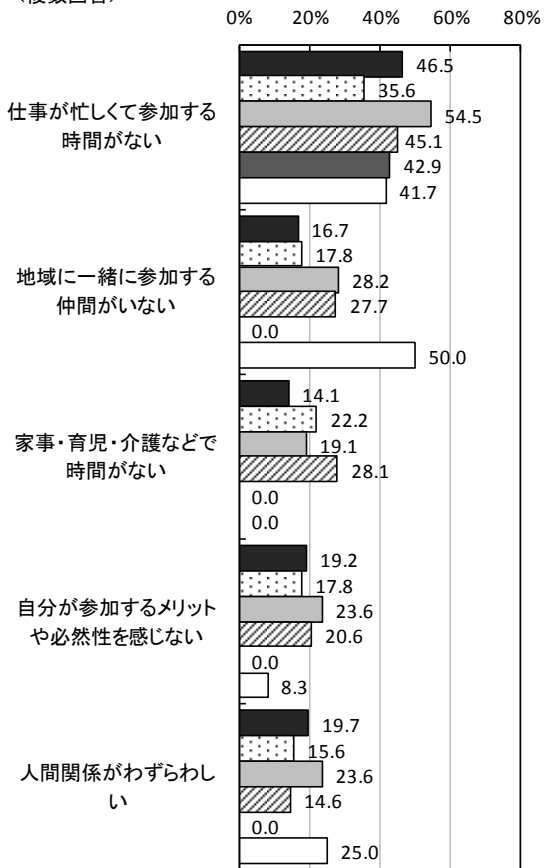
〈複数回答〉



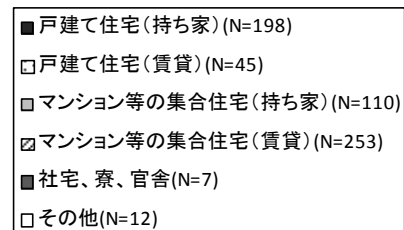
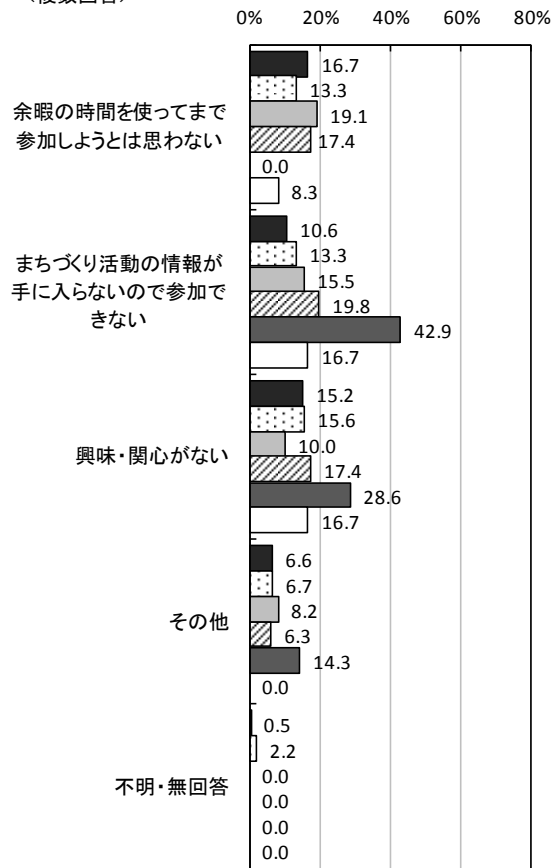
年齢別でみると、年齢が下がるほど「仕事が忙しくて参加する時間がない」「地域と一緒に参加する仲間がない」「家事・育児・介護などで時間がない」等の割合がおおむね高くなる傾向が見られます。

【住居別グラフ】

〈複数回答〉



〈複数回答〉



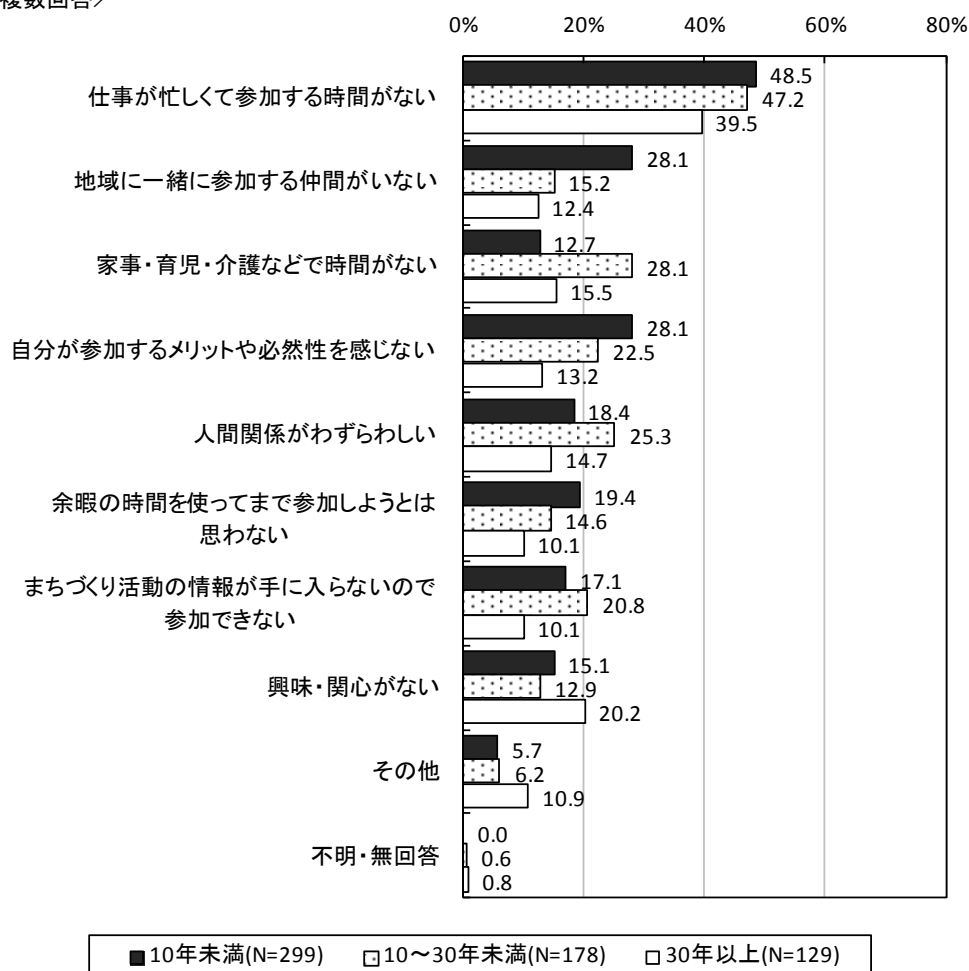
住居別でみると、マンション等の集合住宅（持ち家）では「仕事で忙しくて参加する時間がない」等が他の住居と比較して高くなっています。

マンション等の集合住宅（持ち家）（賃貸）では「地域と一緒に参加する仲間がいない」が他の住居と比較して高くなっています。

5. 協働のまちづくりについて

【居住年数別グラフ】

〈複数回答〉

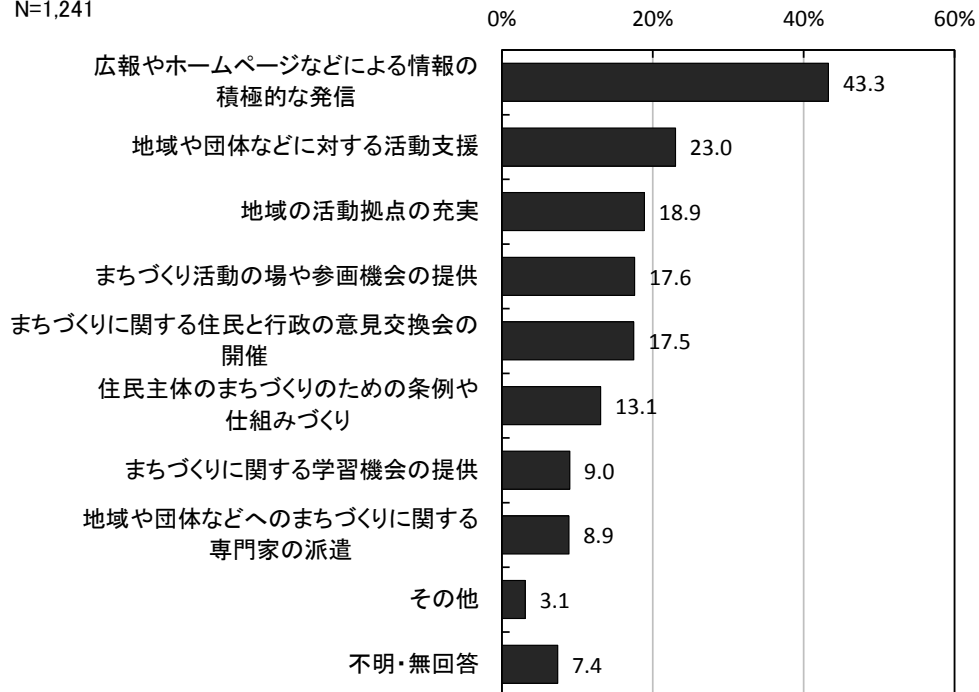


居住年数別でみると、年数が下がるほど「仕事が忙しくて参加する時間がない」「地域と一緒に参加する仲間がない」「自分が参加するメリットや必然性を感じない」等の割合が高くなる傾向が見られます。

問26 住民の皆さまが積極的にまちづくりにかかわれるようにするために、行政はどのようなことをすべきと思いますか。(2つまでに〇)

〈複数回答〉

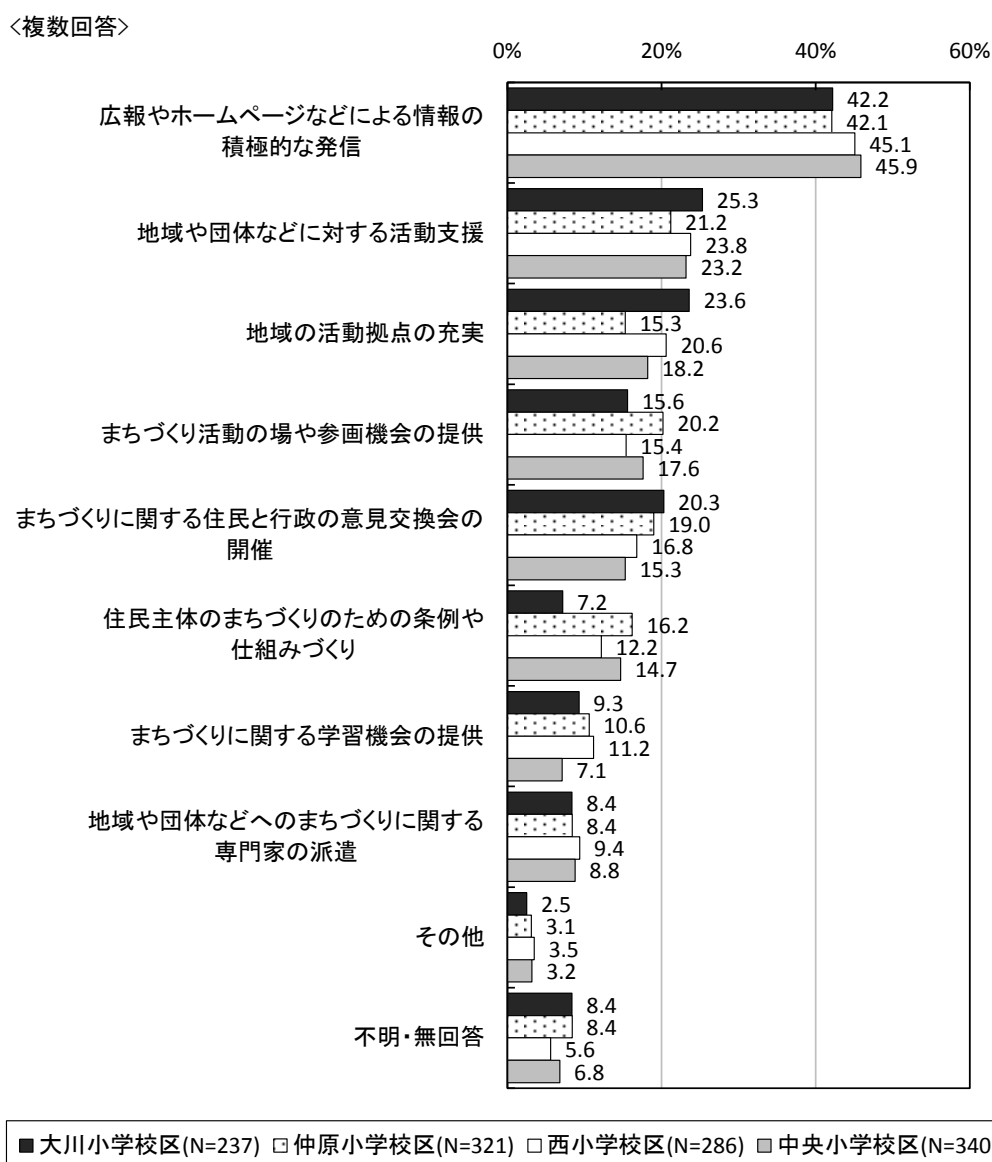
N=1,241



住民が積極的にまちづくりにかかわれるようにするために行政がすべきと思うことについてみると、「広報やホームページなどによる情報の積極的な発信」が43.3%と最も高く、次いで、「地域や団体などに対する活動支援」が23.0%、「地域の活動拠点の充実」が18.9%となっており、情報提供や活動の支援をもとめる回答が多くなっています。

5. 協働のまちづくりについて

【小学校区別グラフ】

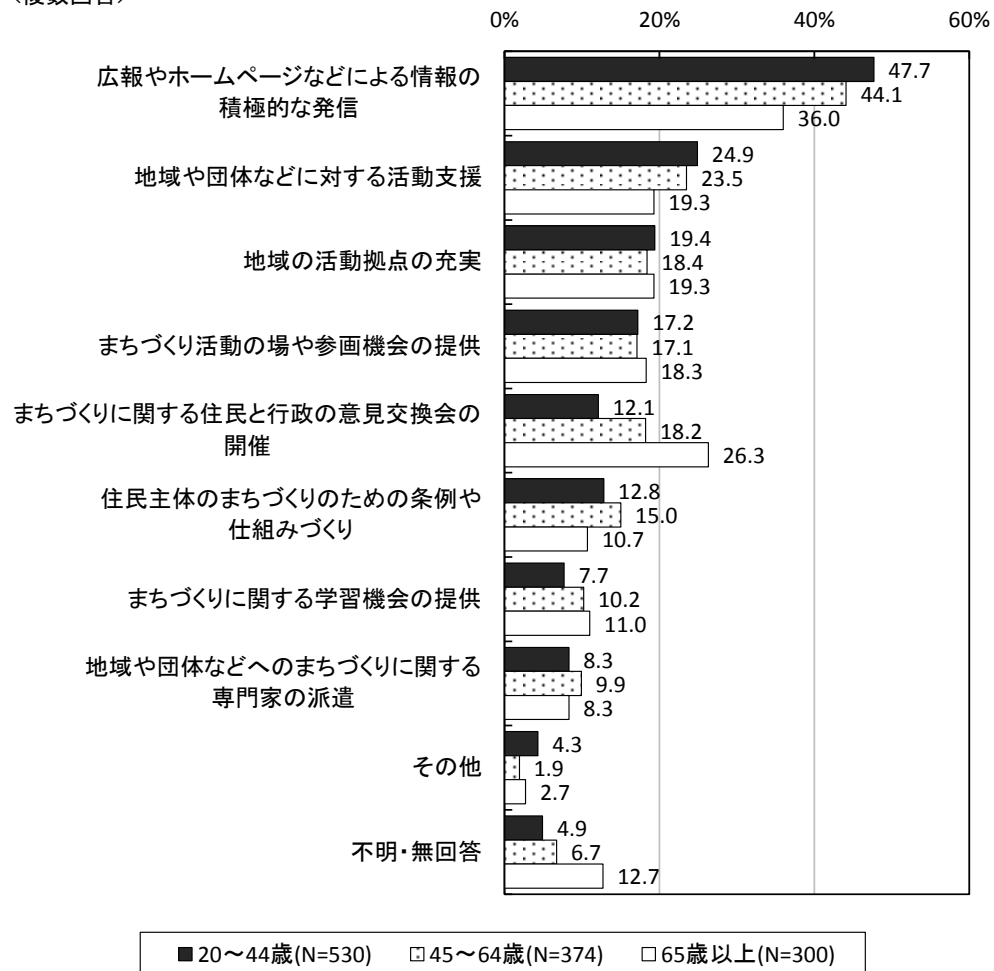


小学校区別でみると、中央小学校区では「広報やホームページなどによる情報の積極的な発信」が他の小学校区と比較して高くなっています。

一方、大川小学校区では「地域や団体などに対する活動支援」「地域の活動拠点の充実」等が他の小学校区と比較して高くなっています。

【年齢別グラフ】

<複数回答>



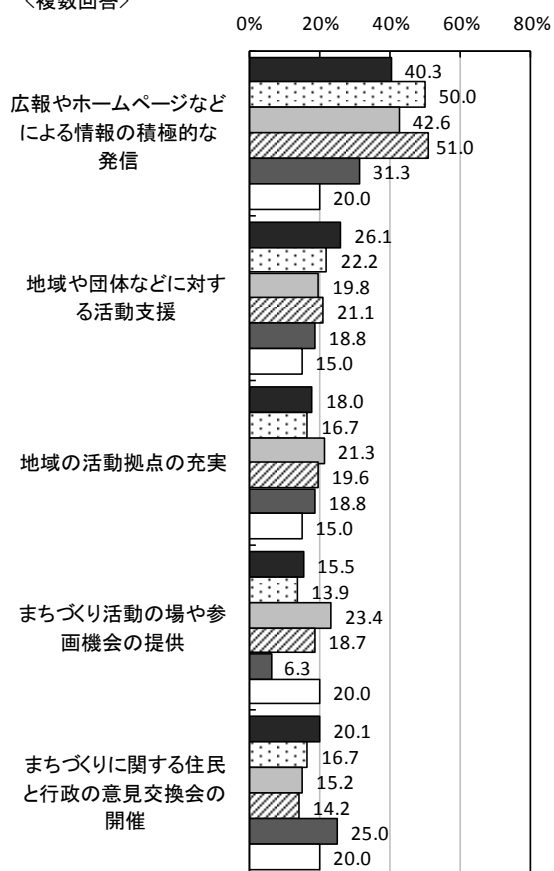
年齢別でみると、年齢が下がるほど「広報やホームページなどによる情報の積極的な発信」「地域や団体などに対する活動支援」等の割合が高くなる傾向が見られます。

一方、年齢が上がるほど「まちづくりに関する住民と行政の意見交換会の開催」等の割合が高くなる傾向が見られます。

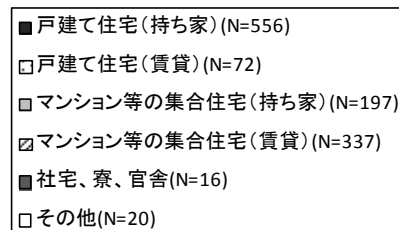
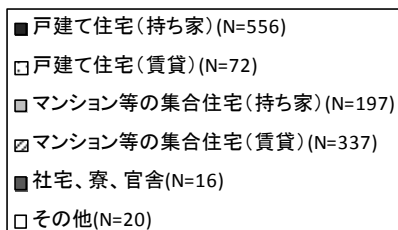
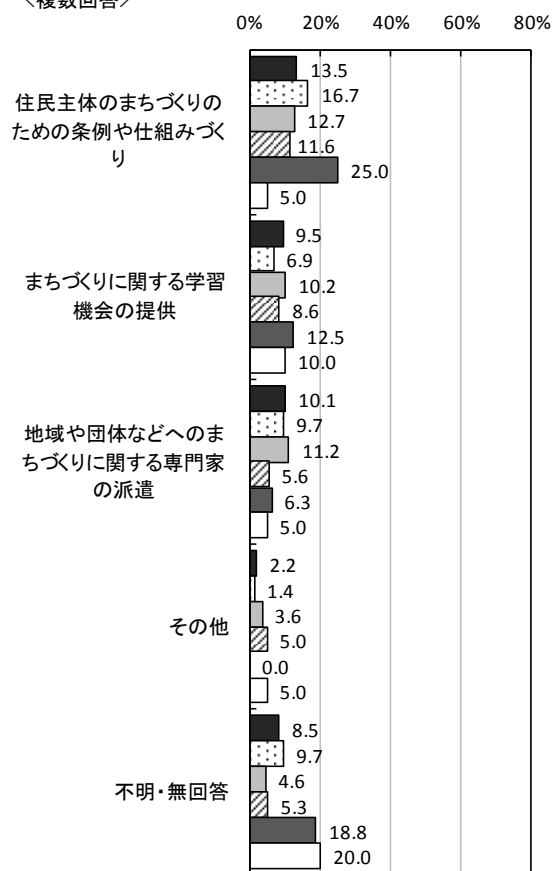
5. 協働のまちづくりについて

【住居別グラフ】

〈複数回答〉



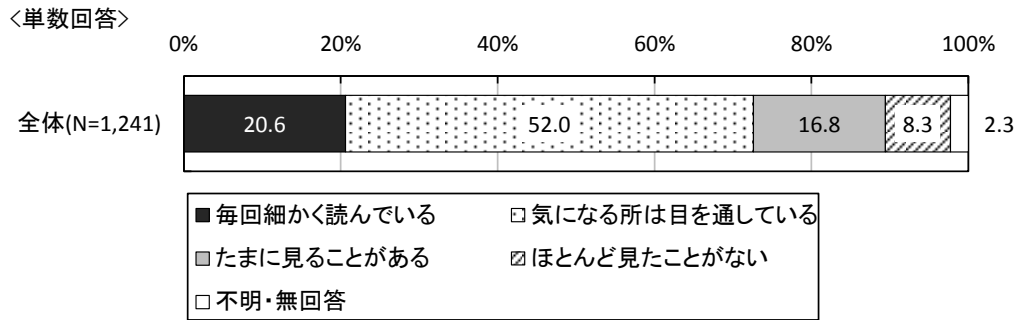
〈複数回答〉



住居別で見ると、戸建て住宅（賃貸）、マンション等の集合住宅（賃貸）では「広報やホームページなどによる情報の積極的な発信」が他の住居と比較して高くなっています。

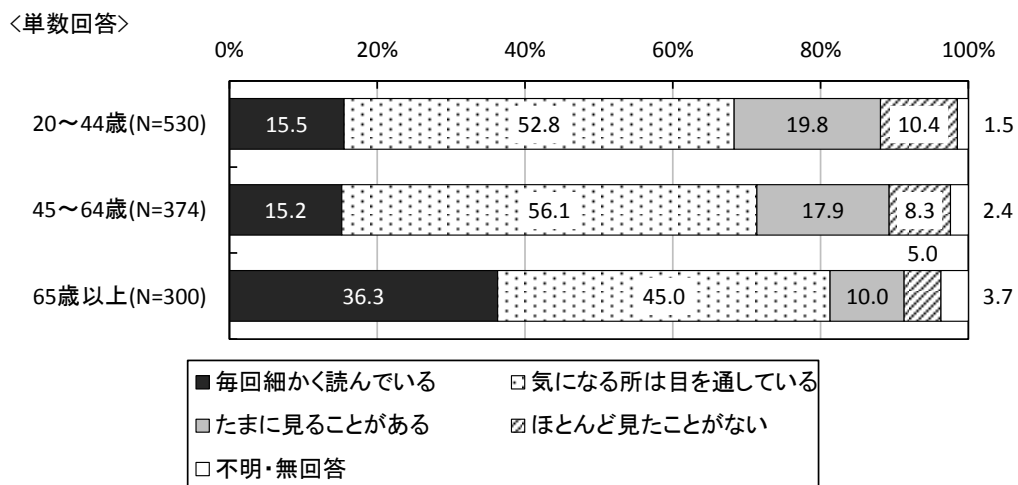
問27 粕屋町から情報発信を行っていますが、あなたはどの程度活用されていますか。
 (それぞれ1つに○)

① 広報誌



広報誌についてみると、「気になる所は目を通している」が52.0%と最も高く、次いで、「毎回細かく読んでいる」が20.6%、「たまに見ることがある」が16.8%となっています。

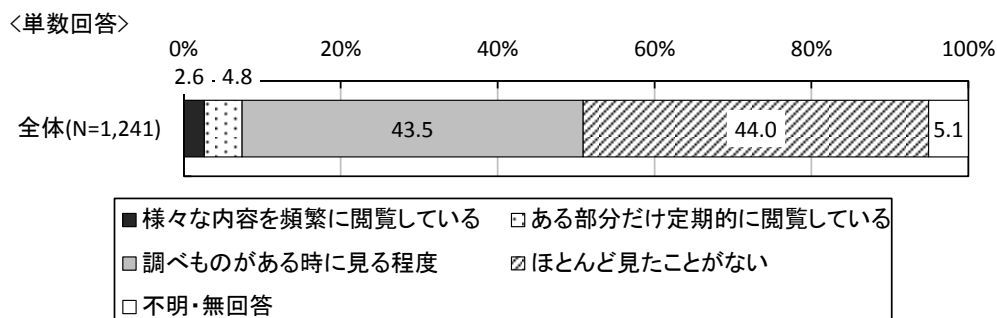
【年齢別グラフ】



年齢別でみると、年齢が上がるほど「毎回細かく読んでいる」の割合がおおむね高くなる傾向が見られます。

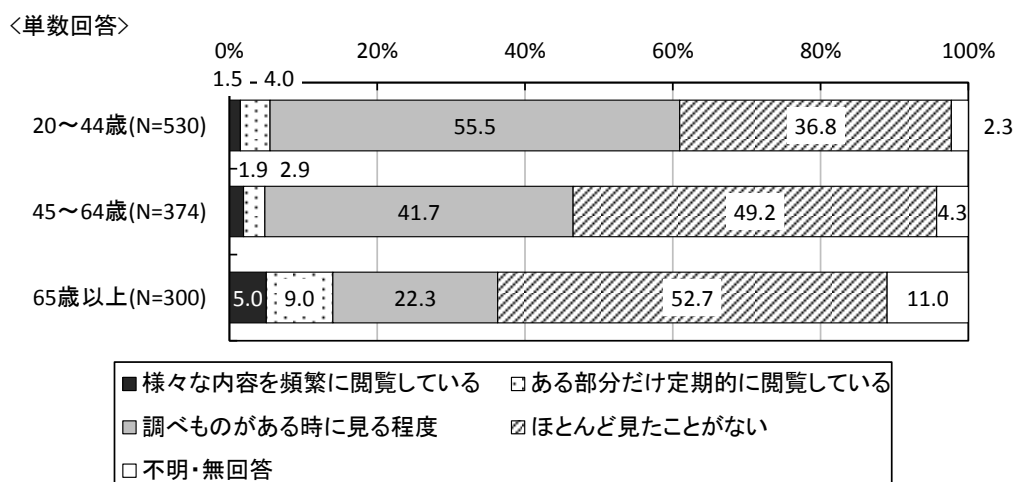
5. 協働のまちづくりについて

② 粕屋町ホームページ



粕屋町ホームページについてみると、「ほとんど見たことがない」が44.0%と最も高く、次いで、「調べものがある時に見る程度」が43.5%、「ある部分だけ定期的に関覧している」が4.8%となっています。

【年齢別グラフ】

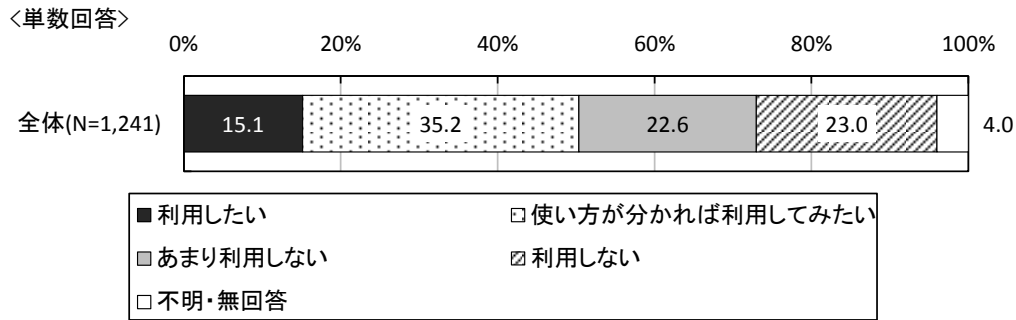


年齢別でみると、年齢が下がるほど「調べものがある時に見る程度」の割合が高くなる傾向が見られます。

一方、年齢が上がるほど「ほとんど見たことがない」の割合が高くなる傾向が見られます。

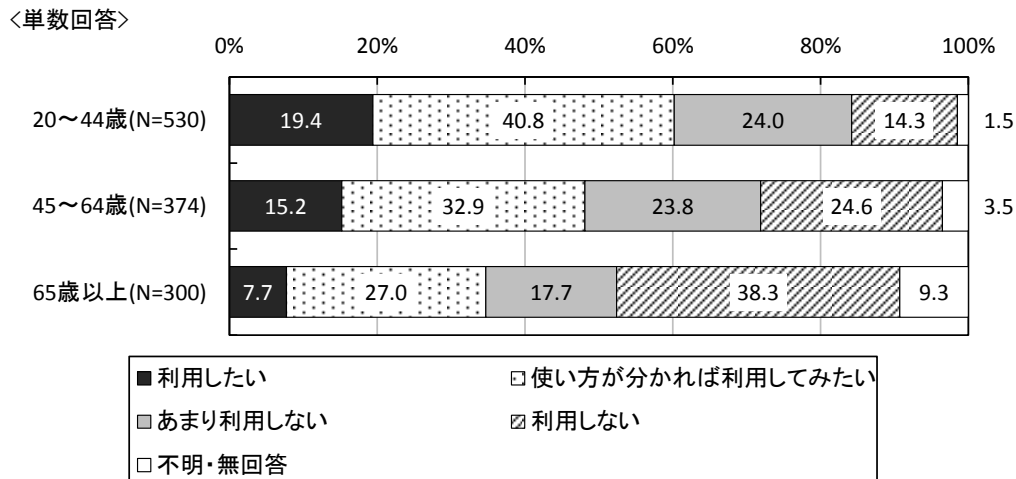
問28 粕屋町においても、※ソーシャルメディアを有効的に活用した情報発信や情報共有を検討していますが、今後、利用したいと思いますか。(1つに○)

※ソーシャルメディア…ツイッターなどインターネットを利用して情報を発信し、あるいは相互に情報をやりとりする情報伝達の手段のこと



ソーシャルメディアを活用した情報発信や情報共有を今後利用したいかについてみると、「使い方が分かれば利用してみたい」が35.2%と最も高く、次いで、「利用しない」が23.0%、「あまり利用しない」が22.6%となっています。

【年齢別グラフ】

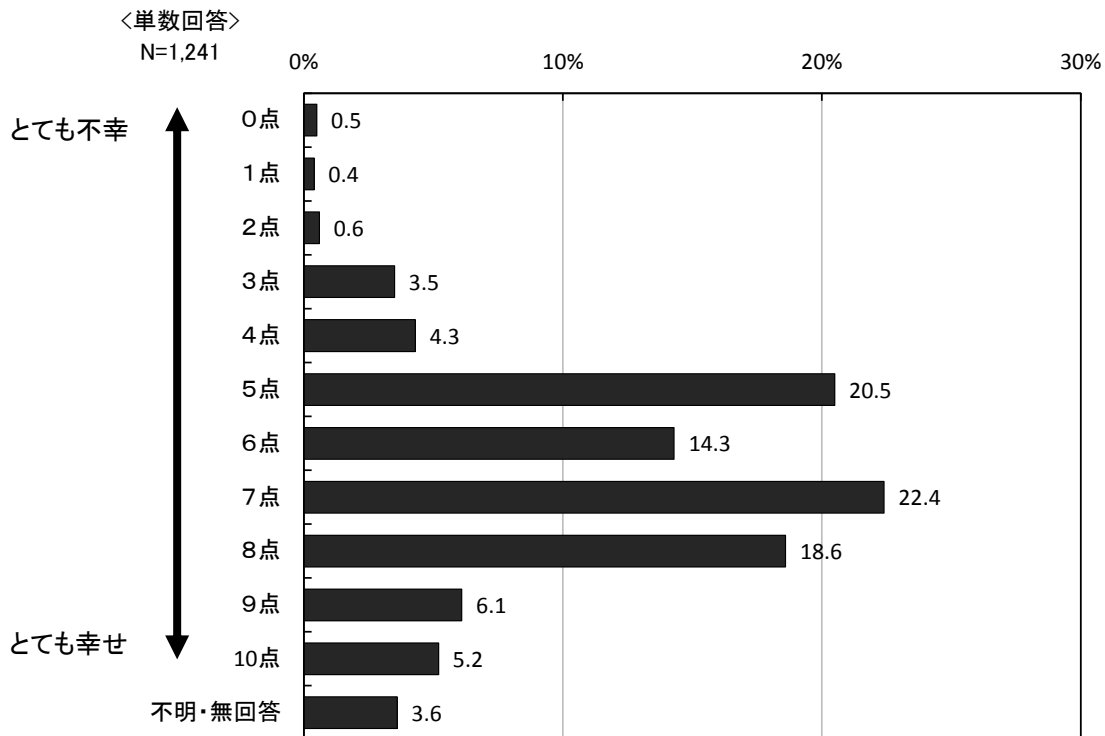


年齢別でみると、年齢が下がるほど「利用したい」「使い方が分かれば利用してみたい」の割合が高くなる傾向が見られます。

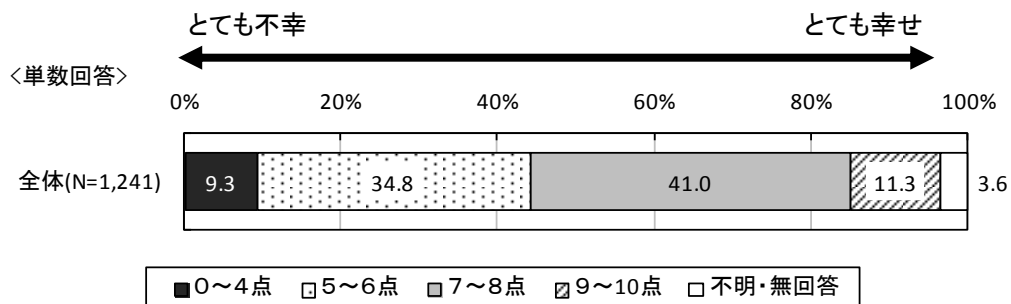
一方、年齢が上がるほど「利用しない」の割合が高くなる傾向が見られます。

6. 回答者の幸福感について

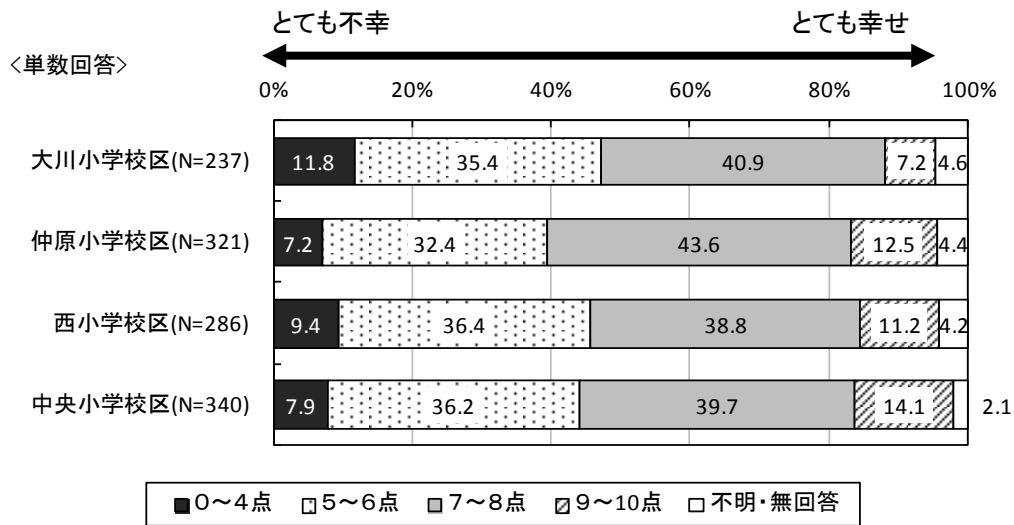
問29 現在、あなたは粕屋町で暮らしてどの程度幸せですか。「とても幸せ」を10点、「とても不幸」を0点として、何点くらいになると思いますか。
(0～10点までの間で、1つに〇)



粕屋町で暮らしてどの程度幸せかについてみると、「7点」が22.4%と最も高く、次いで、「5点」が20.5%、「8点」が18.6%となっており、全体的にやや幸せと感じている人が多い状況となっています。



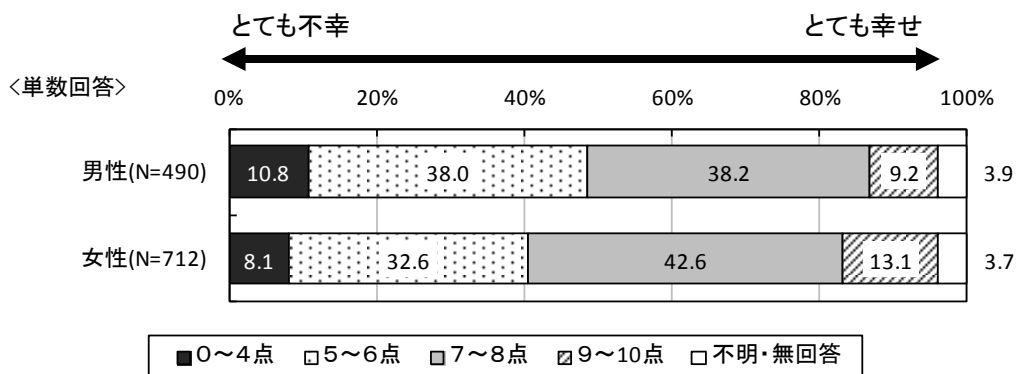
【小学校区別グラフ】



小学校区別でみると、大川小学校区では「0~4点」が他の小学校区と比較して高くなっています。

一方、中央小学校区では「9~10点」が他の小学校区と比較して高くなっています。

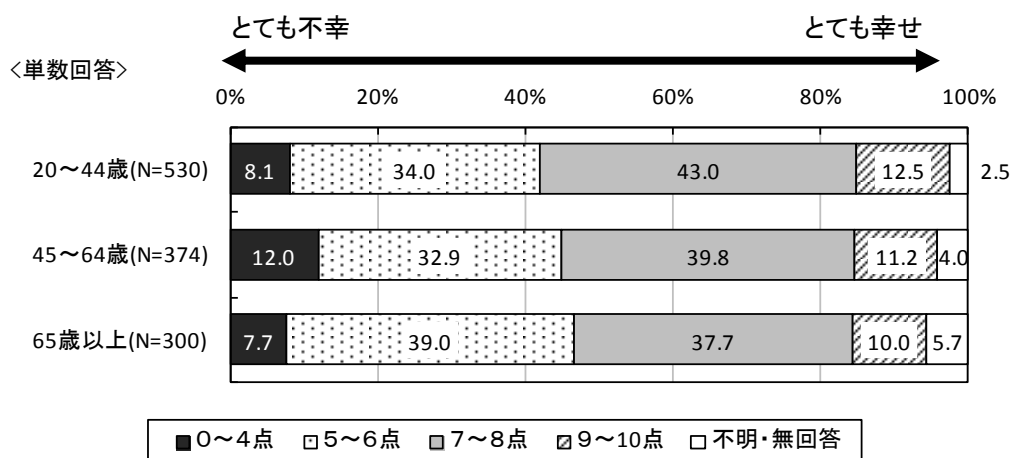
【性別グラフ】



性別でみると、女性では「7~8点」「9~10点」が男性と比較して高くなっています。

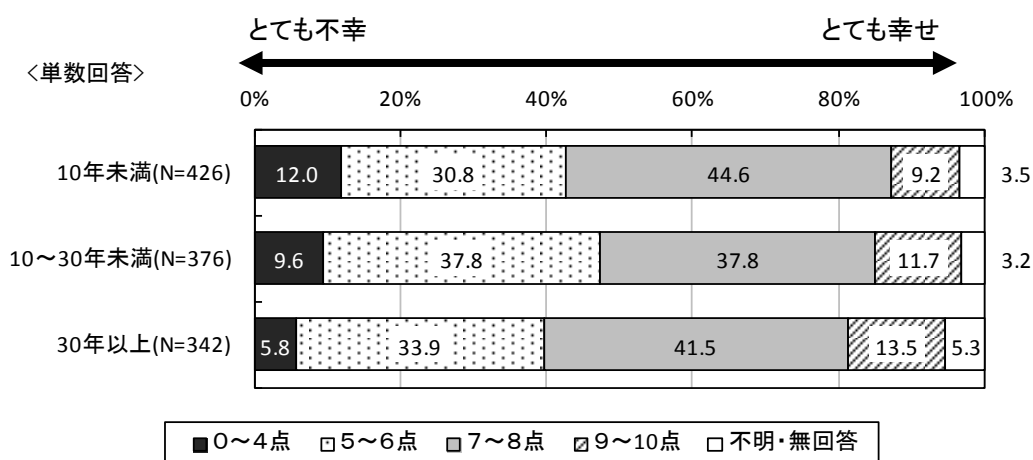
6. 回答者の幸福感について

【年齢別グラフ】



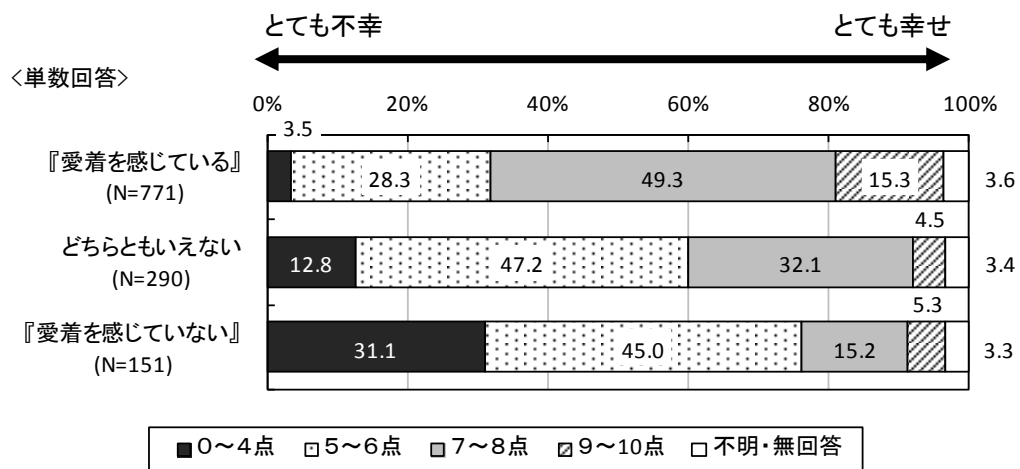
年齢別でみると、年齢が下がるほど「7~8点」「9~10点」の割合が高くなる傾向が見られます。

【居住年数別グラフ】



居住年数別でみると、年数が下がるほど「0~4点」の割合が高くなる傾向が見られます。一方、年数が上がるほど「9~10点」の割合が高くなる傾向が見られます。

【町への愛着度別グラフ】



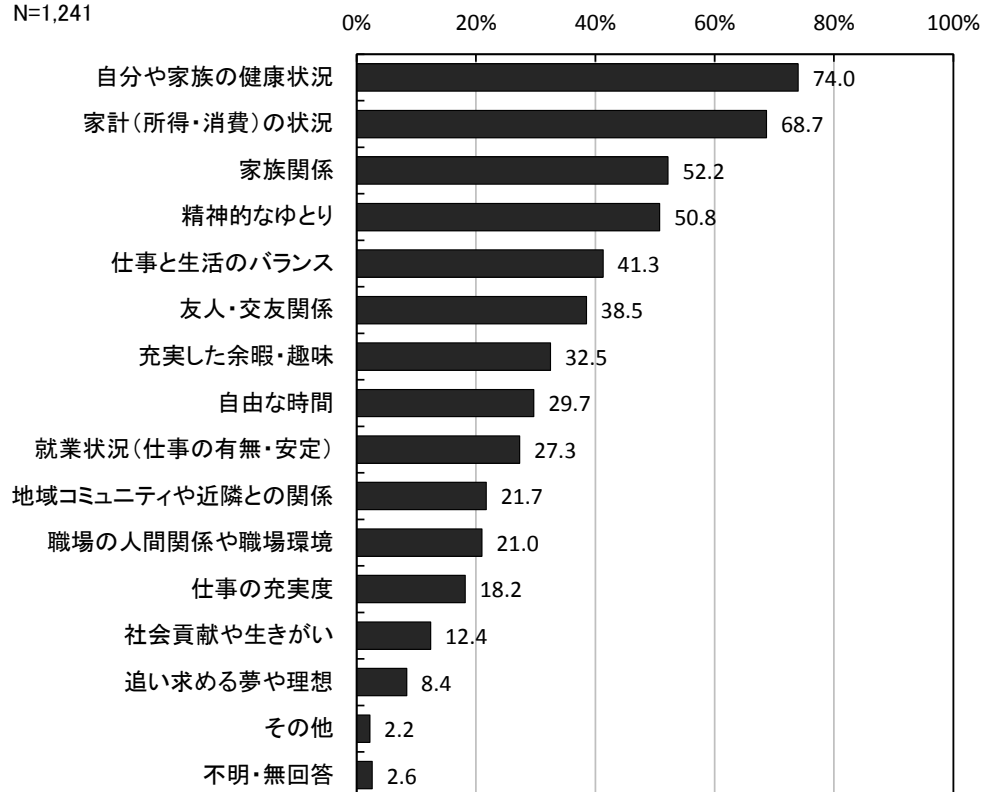
町への愛着度別で見ると、粕屋町に愛着を感じていない人ほど「0~4点」の割合が高くなる傾向が見られます。

一方、粕屋町に愛着を感じている人ほど「7~8点」の割合が高くなる傾向が見られます。

問30 あなたが幸せであるために重要だと思うことは何ですか。
(あてはまるものすべてに○)

<複数回答>

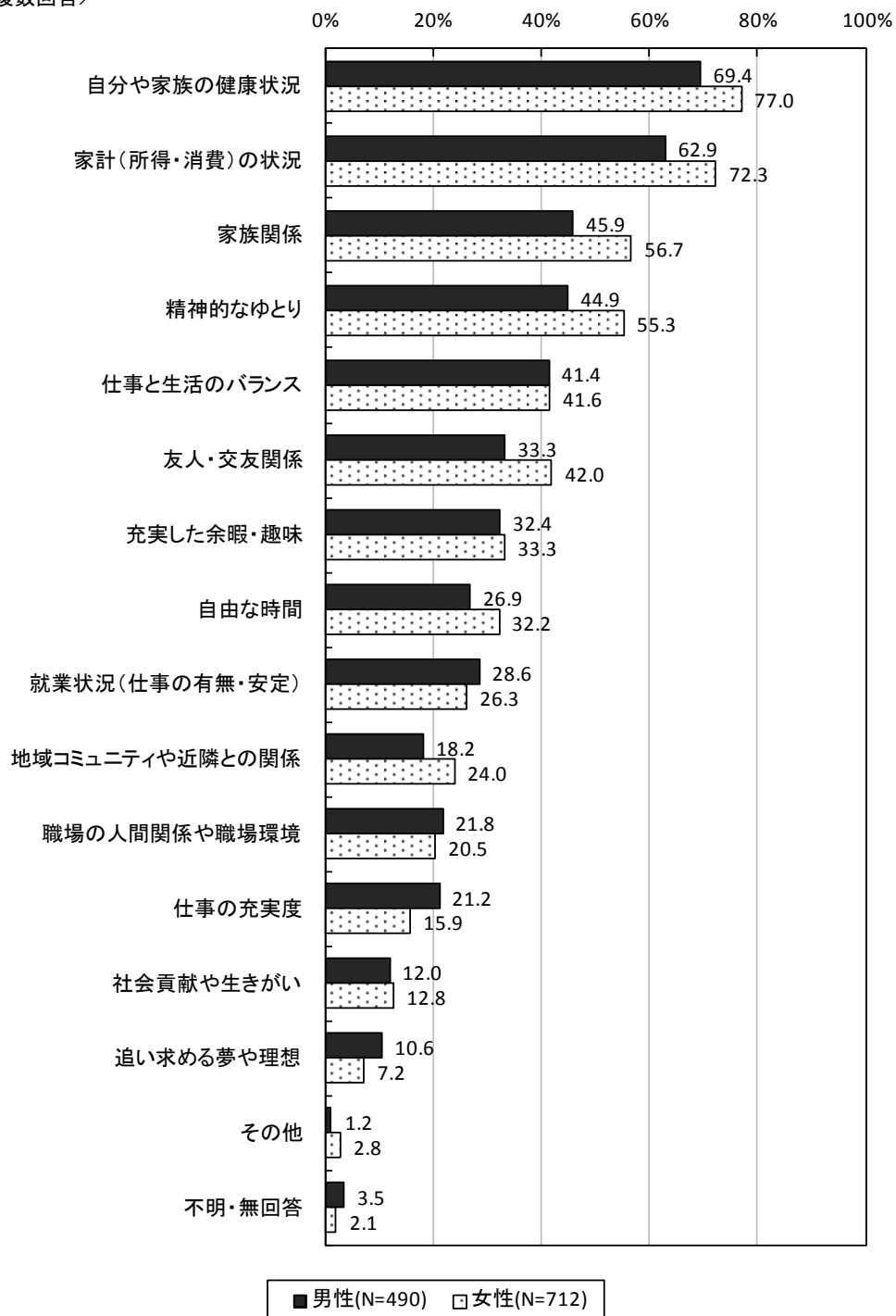
N=1,241



幸せであるために重要だと思うことについてみると、「自分や家族の健康状況」が74.0%と最も高く、次いで、「家計(所得・消費)の状況」が68.7%、「家族関係」が52.2%となっています。

【性別グラフ】

〈複数回答〉



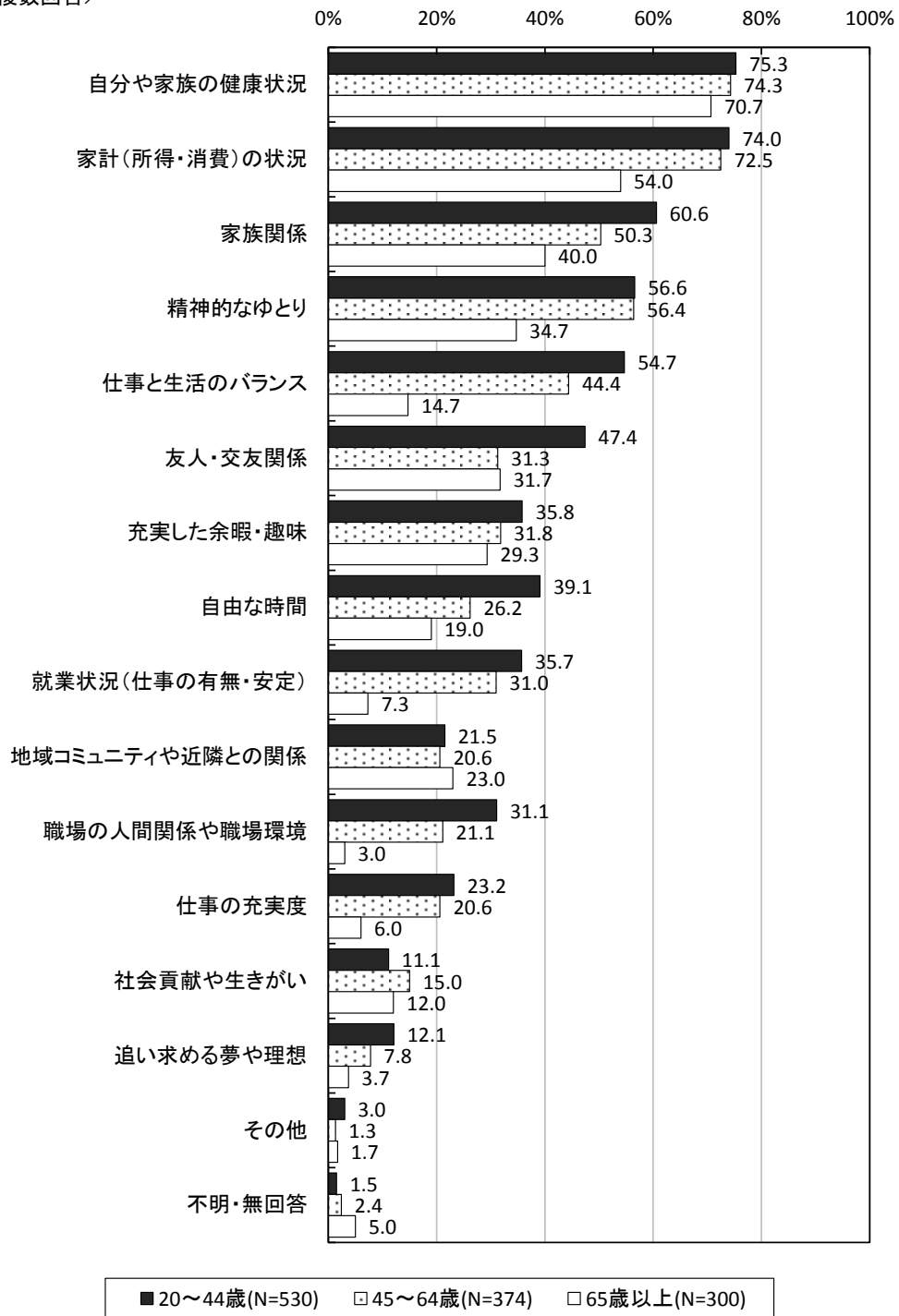
性別でみると、男性では「就業状況（仕事の有無・安定）」「職場の人間関係や職場環境」「仕事の充実度」等が女性と比較して高くなっています。

一方、女性では「自分や家族の健康状況」「家計（所得・消費）の状況」「家族関係」「精神的なゆとり」等が男性と比較して高くなっています。

6. 回答者の幸福感について

【年齢別グラフ】

<複数回答>

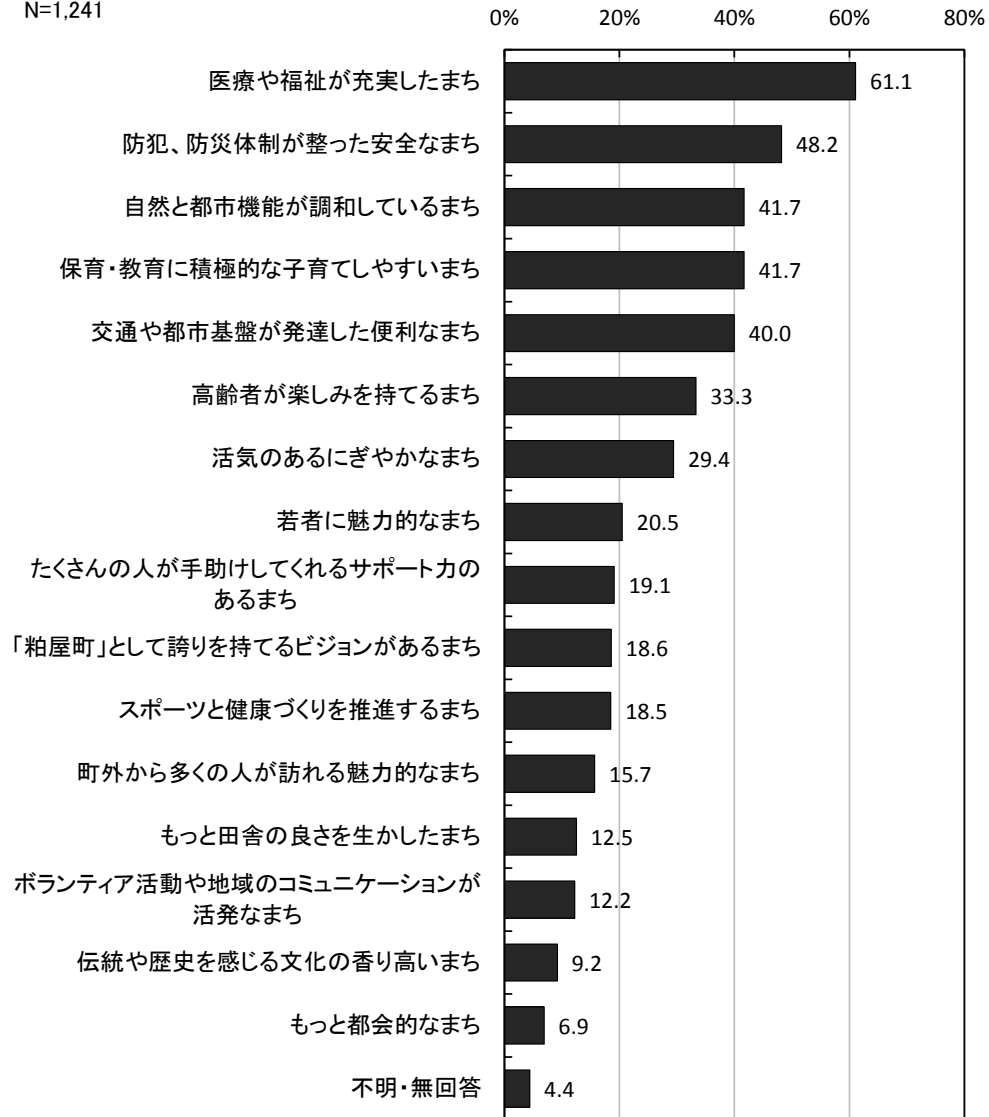


年齢別でみると、年齢が下がるほど「自分や家族の健康状況」「家計(所得・消費)の状況」「家族関係」「精神的なゆとり」「仕事と生活のバランス」等の割合が高くなる傾向が見られます。

問31 粕屋町がどのようなまちであればあなたの幸福度を上げることができますか。
(あてはまるものすべてに○)

<複数回答>

N=1,241

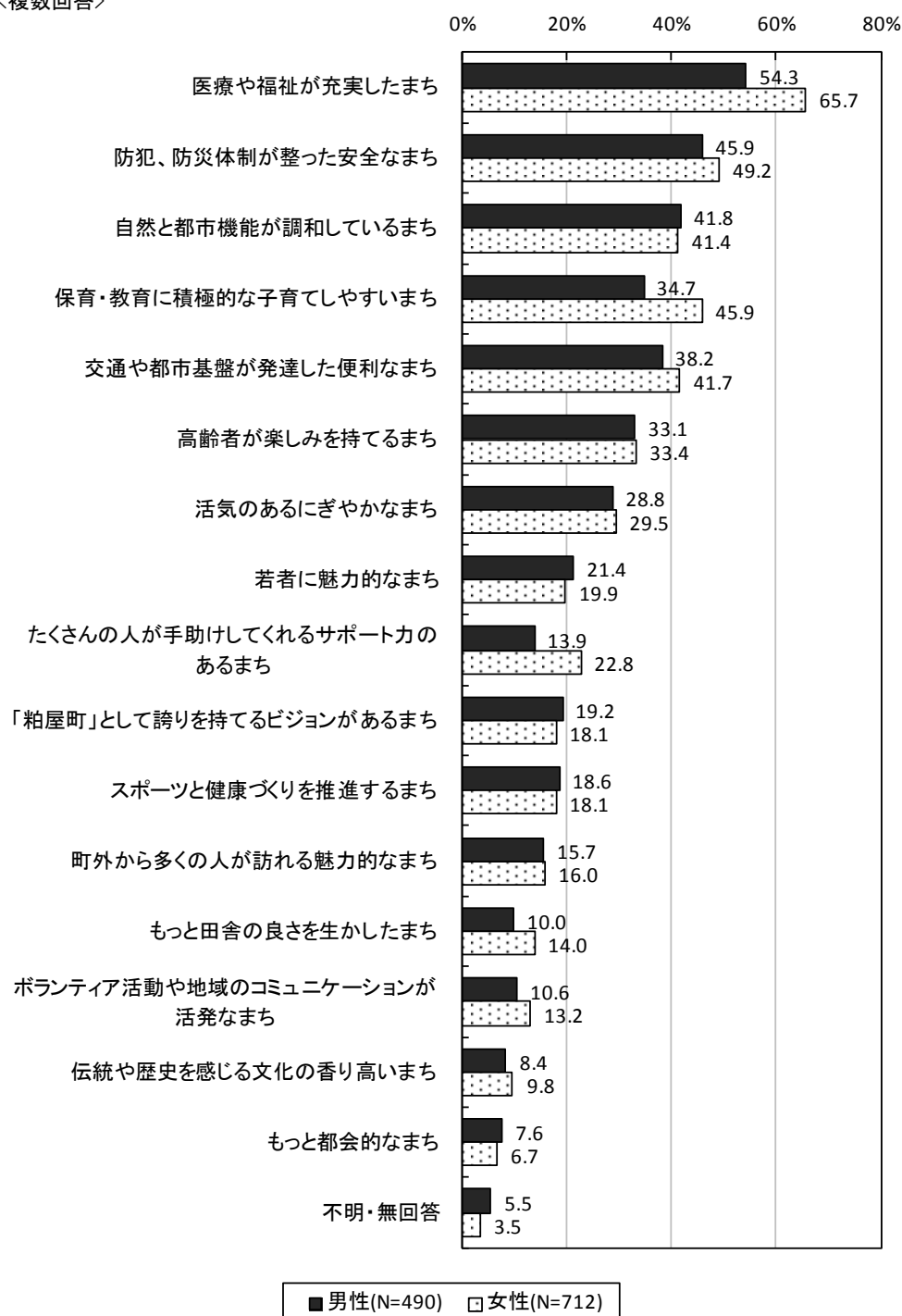


粕屋町がどのようなまちであればあなたの幸福度を上げることができるかについてみると、「医療や福祉が充実したまち」が61.1%と最も高く、次いで、「防犯、防災体制が整った安全なまち」が48.2%、「自然と都市機能が調和しているまち」、「保育・教育に積極的な子育てしやすいまち」が41.7%となっています。

6. 回答者の幸福感について

【性別グラフ】

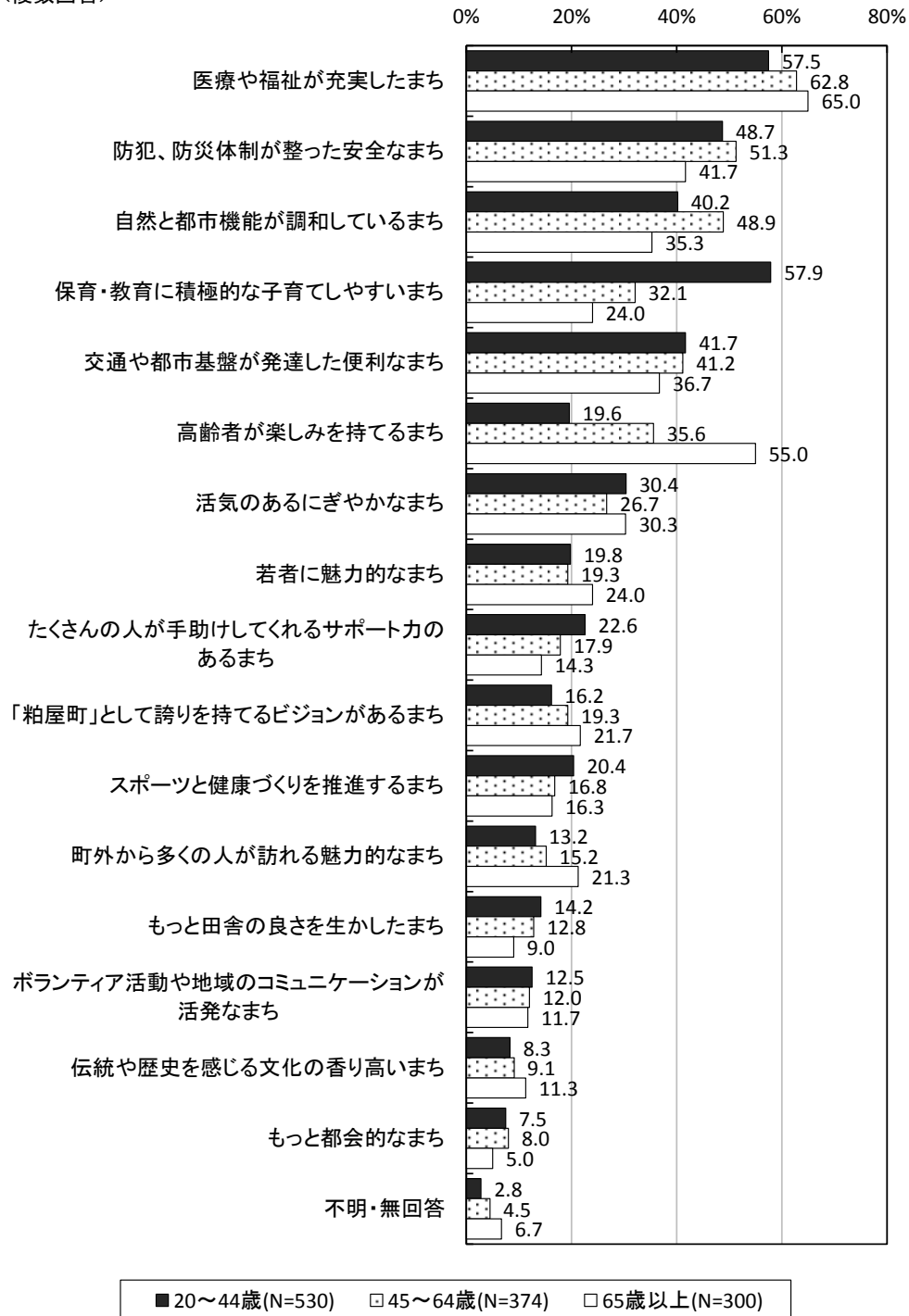
〈複数回答〉



性別でみると、女性では「医療や福祉が充実したまち」「保育・教育に積極的な子育てしやすいまち」等が男性と比較して高くなっています。

【年齢別グラフ】

〈複数回答〉



年齢別でみると、年齢が下がるほど「防犯、防災体制が整った安全なまち」「保育・教育に積極的な子育てしやすいまち」等の割合がおおむね高くなる傾向が見られます。

一方、年齢が上がるほど「医療や福祉が充実したまち」「高齢者が楽しみを持てるまち」等の割合が高くなる傾向が見られます。